

2.2. 児童生徒対象の調査結果について（クロス集計）

次に、属性以外の問いについて、基本属性を中心に、クロス集計を行った結果を記す。なお、クロス集計の結果分析については、学識経験者2名により実施し、検討の結果、地域施設や学校について特定可能な項目であったり、児童生徒の心情を問う質問については児童生徒の属性のみをクロス集計の対象とし、報告書への掲載を行うこととした。以下の記載では、統計処理上の一定の差異を示したものについて特徴的に取り上げることとする。

なお、本県は、南北600キロメートルに及ぶ広大な県土の中に、多くの離島も存在しており、地域ごとに集計・分析する必要があることから、圏域とのクロス集計も実施することとする。

問2-1「あなたが学校に行けなくなった(行かなくなった)とき、どんなところなら行きたいと思われましたか」について

校種とのクロス集計の結果、児童生徒の対象年齢が高くなる校種の順に、「何時に行ってもいい」であったり、「何もしなくていい」、「ゆっくりと休めるスペースがある」や「一人きりになれるスペースがある」が増えていく傾向が伺える。「好きなペースで勉強できる」も一定の割合を持つことから、学年が上がるにつれて、より自分自身の主体的な判断で自分自身の生活を送りたいという傾向が見える。

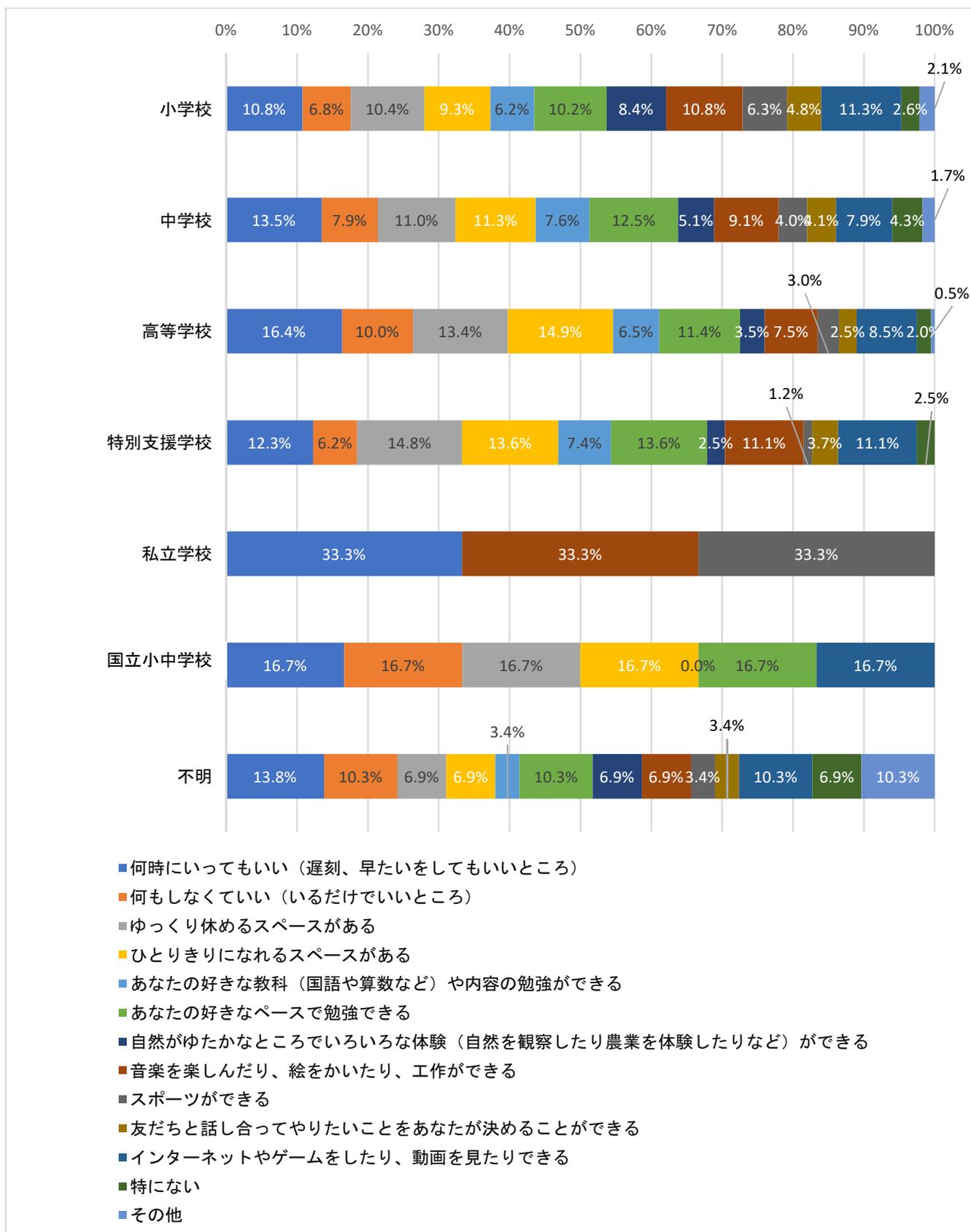


図 2-2-1 「学校に行けなくなった際に、行きたいと思った場所」と校種との関係

学年で細かく見ていくと、より、年代ごとにこの傾向が高くなる様子が伺える。

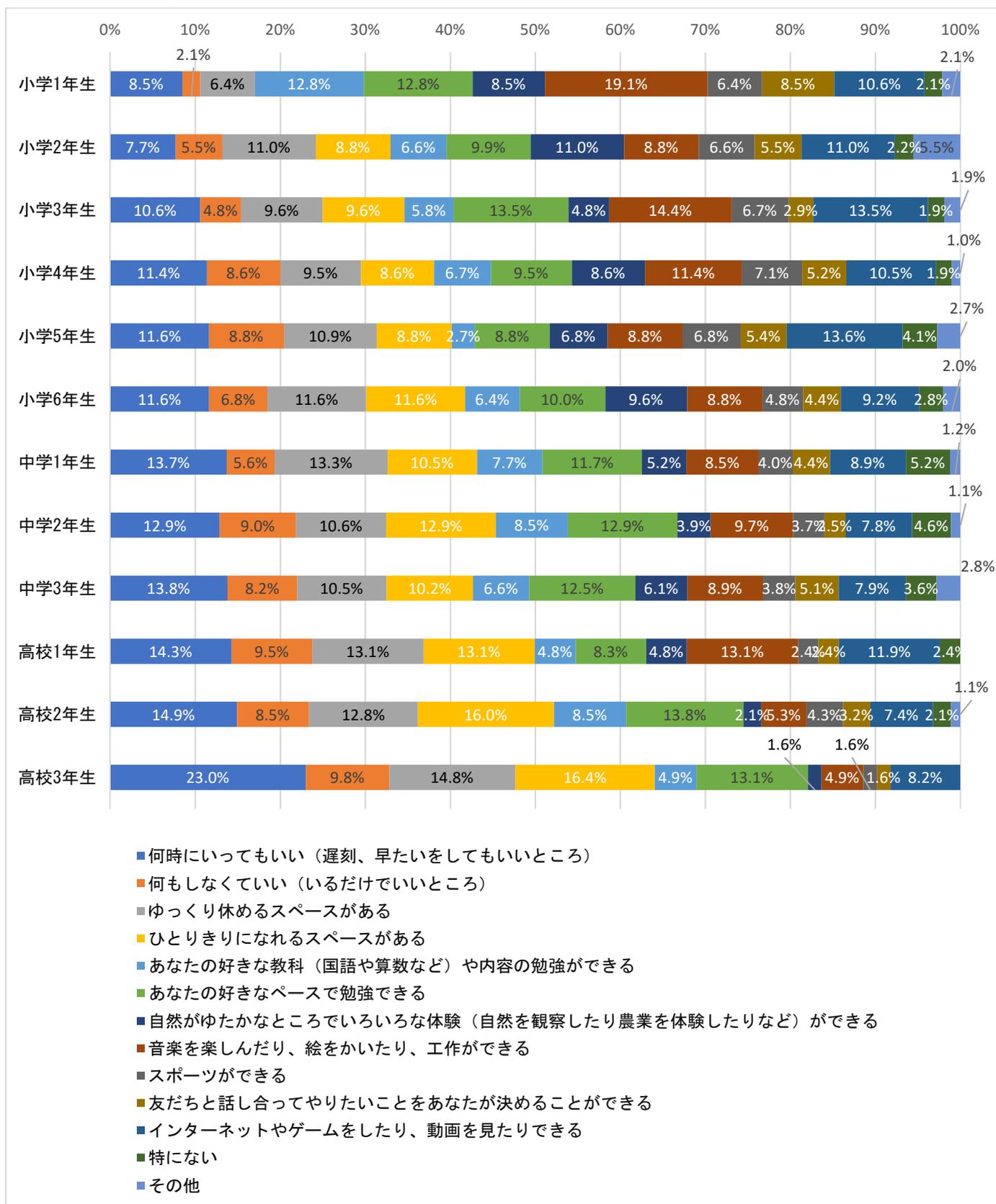


図 2-2-2 「学校に行けなくなった際に、行きたいと思った場所」と学年との関係

男女比については、特に顕著な違いは見えなかった。

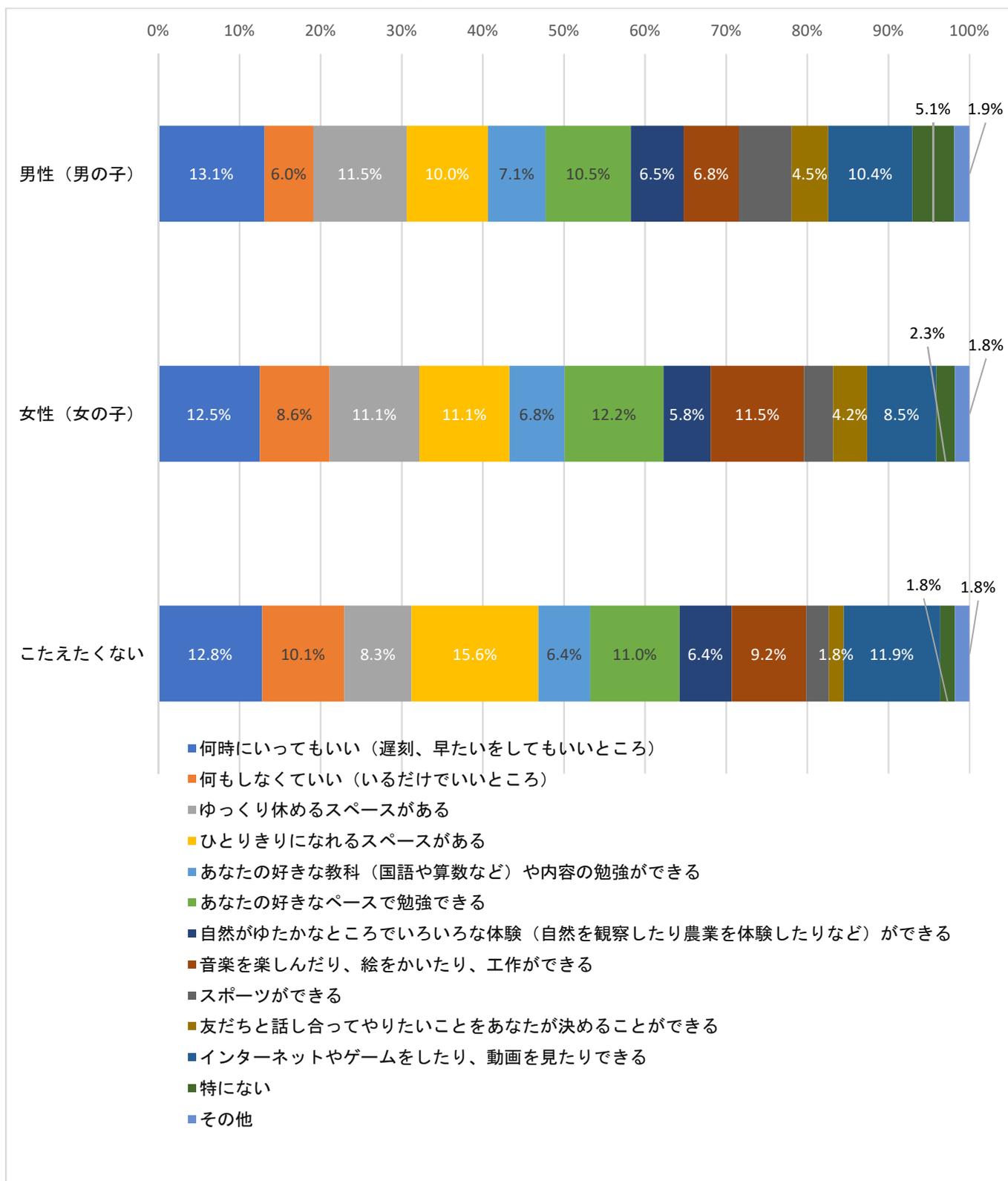


図 2-2-3 「学校に行けなくなった際に、行きたいと思った場所」と性別との関係

問 2-2 「あなたが学校に行けなくなった(行かなくなった)とき、どんなことをして過ごしていましたか」について

ここでは、質問紙のアからセまでの個別の項目を基本属性ごとにクロス集計を行った。

ア「友達に連絡する」について

圏域とのクロス集計を確認すると、概ねどの圏域においても友人との連絡は取っていない傾向がみられた。他方、熊毛地域については、「ときどき連絡を取っている」が高い値を示している。

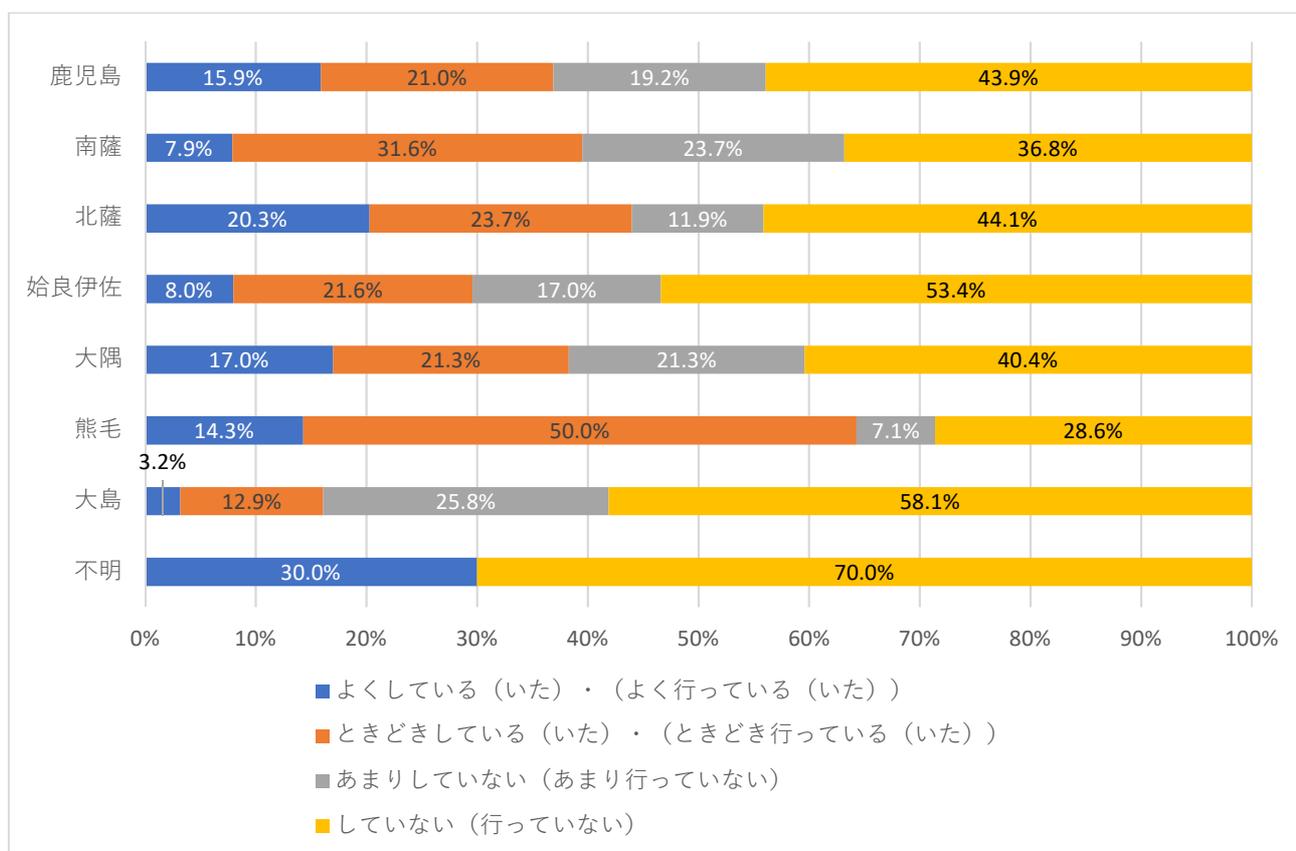


図 2-2-4 「友達に連絡する」と圏域との関係

校種とのクロス集計を確認すると、小学生においては顕著に友人との連絡を取らず、高校、特別支援学校についてもその傾向がみられている。中学生においては、半数以上が小学生、高校生と同様に友人との連絡はあまり取っていないが、友人へ連絡を取っている層があることが伺える。学年別についてもこの傾向が伺える。

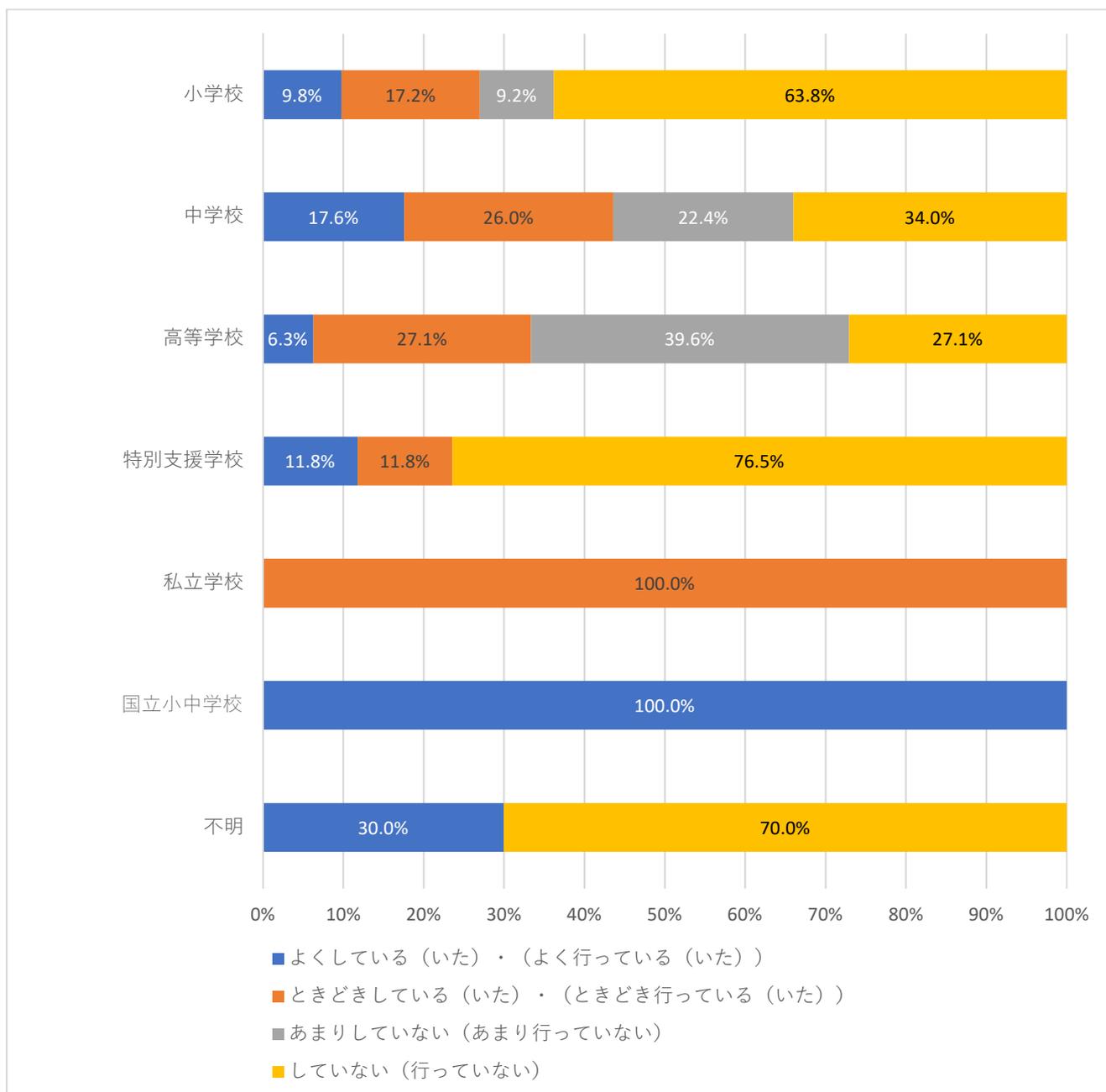


図 2-2-5 「友達に連絡する」と校種との関係

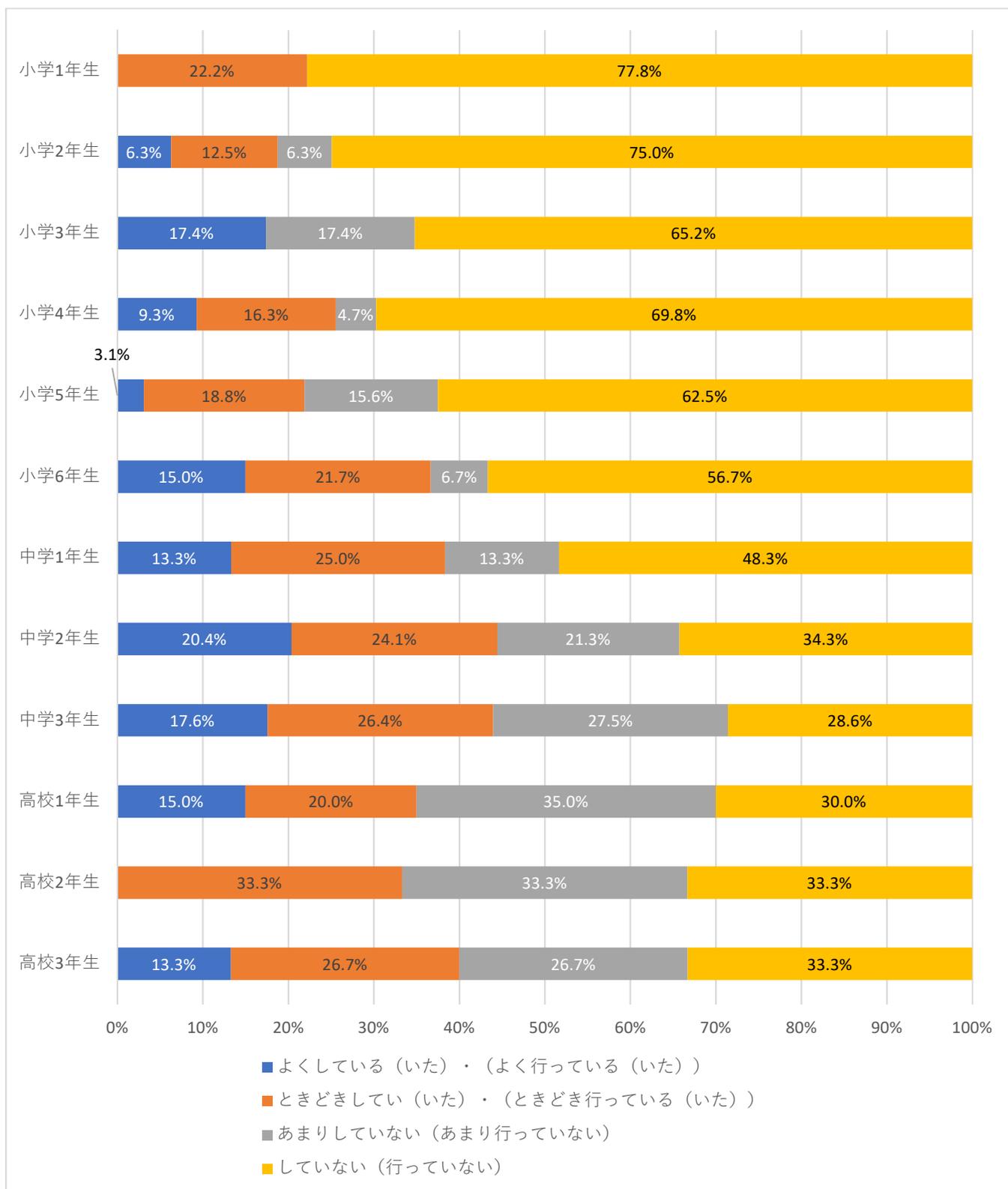


図 2-2-6 「友達に連絡する」と学年との関係

性別とのクロス集計を確認すると、男子児童生徒は顕著に友人との連絡を取らず、女子児童生徒については、おおよそ4分の1が時折連絡をしている状況にあった。

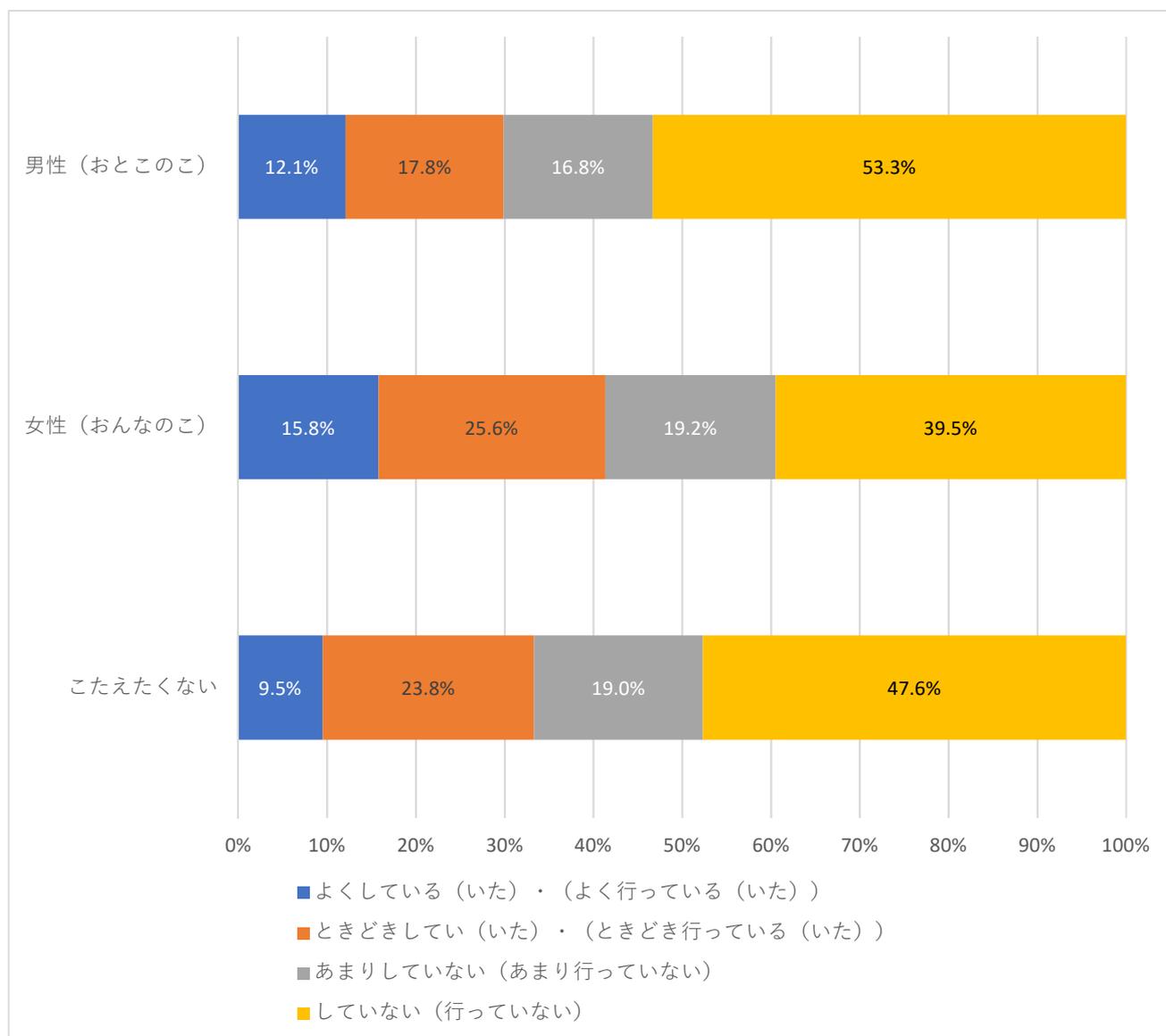


図 2-2-7 「友達に連絡する」と性別との関係

イ「SNSを見る」について

圏域とのクロス集計を確認すると、始良伊佐圏域と熊毛圏域において、「SNSを見る」の値が低い傾向がみられた。

校種とのクロス集計を確認すると、小学生においては顕著にSNSを見る値が低く、中学生以降は高い値を示している。特に中学生は残差の値も含めて優位に高い。これは学年で見てもほぼ同じ傾向にある。

性別とのクロス集計を確認すると、男子児童生徒は顕著に活用せず、女子児童生徒については、顕著に活用している状況にあった。

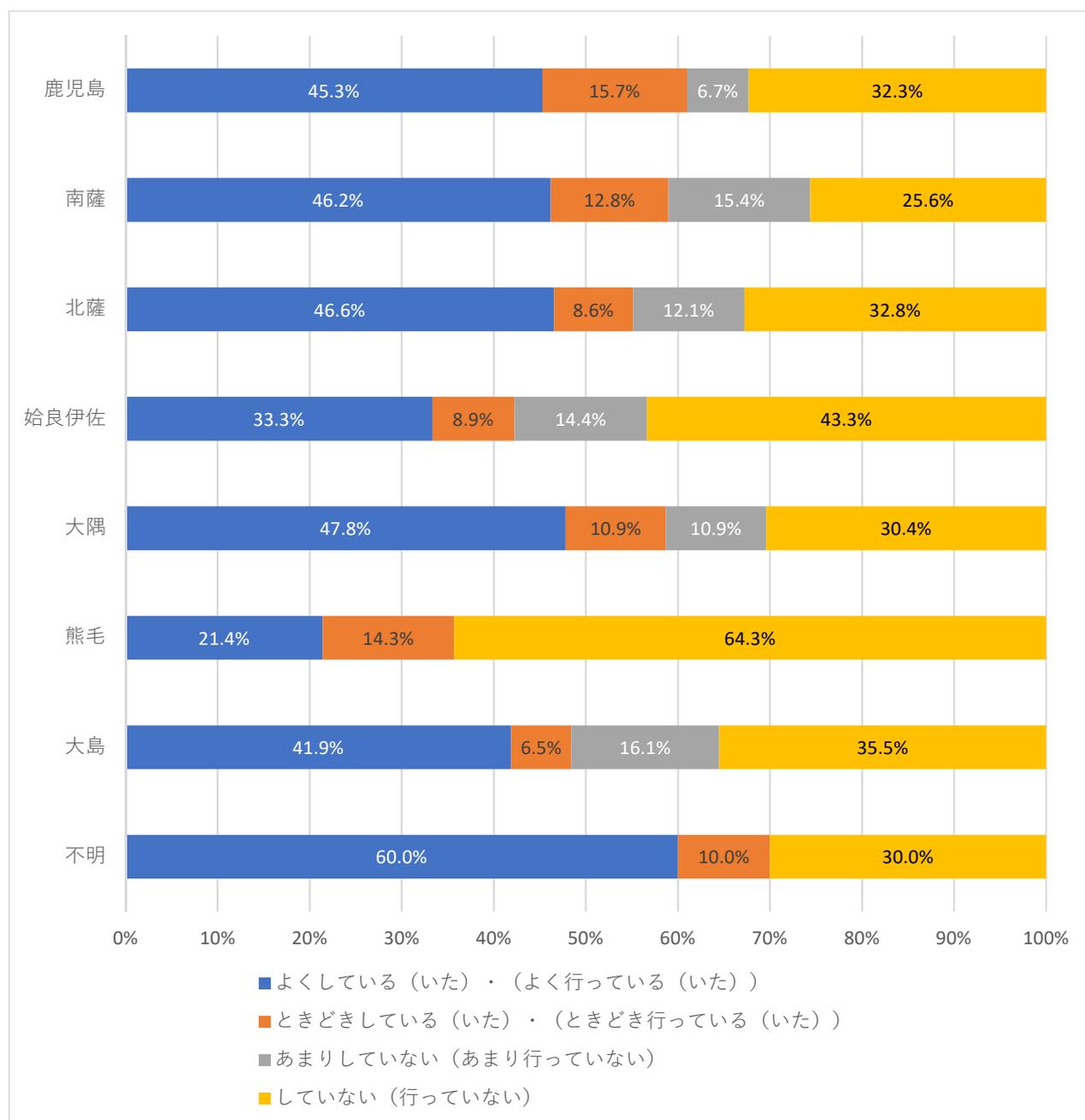


図 2-2-8 「SNSを見る」と圏域との関係

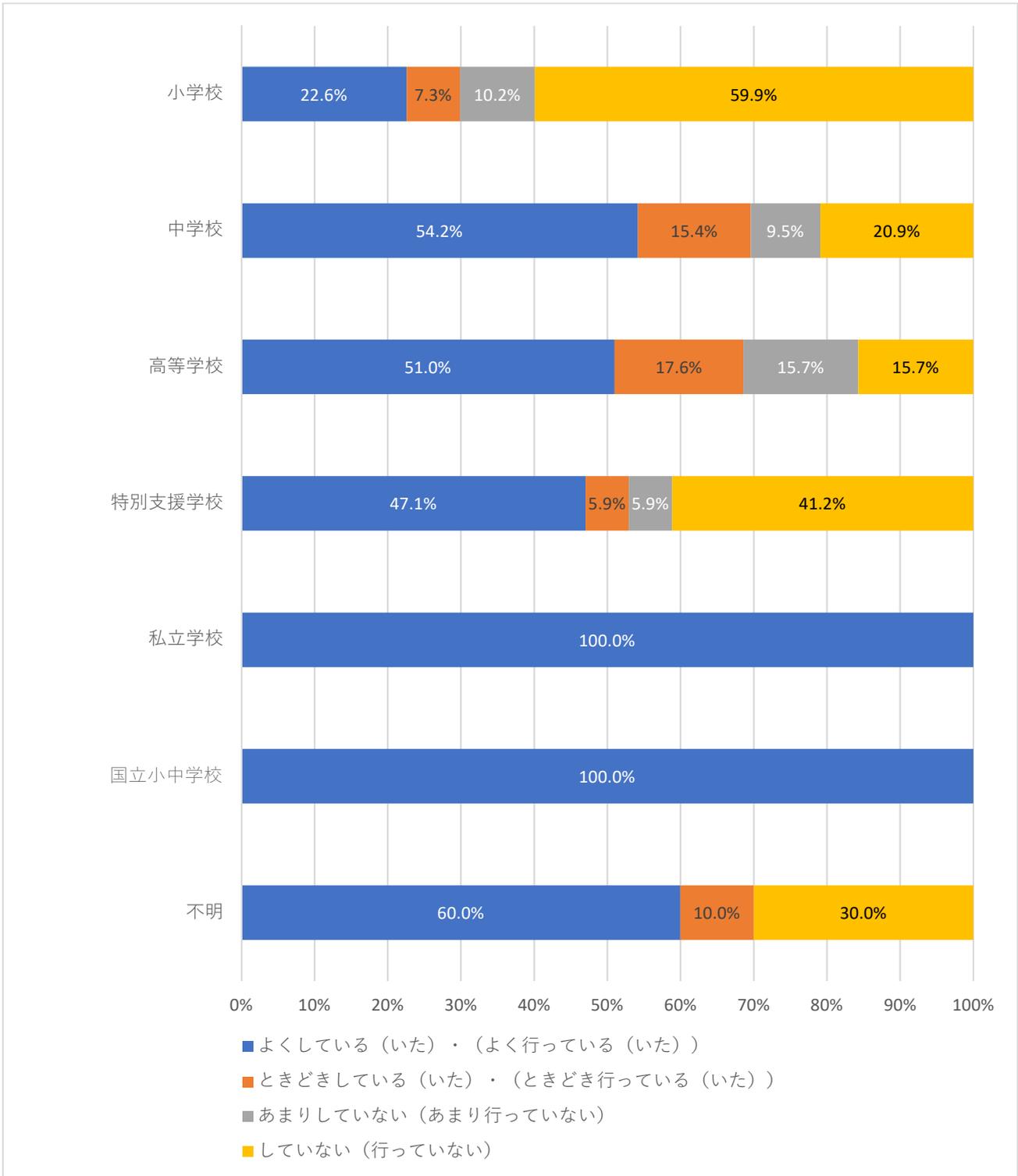


図 2-2-9 「SNS を見る」と校種との関係

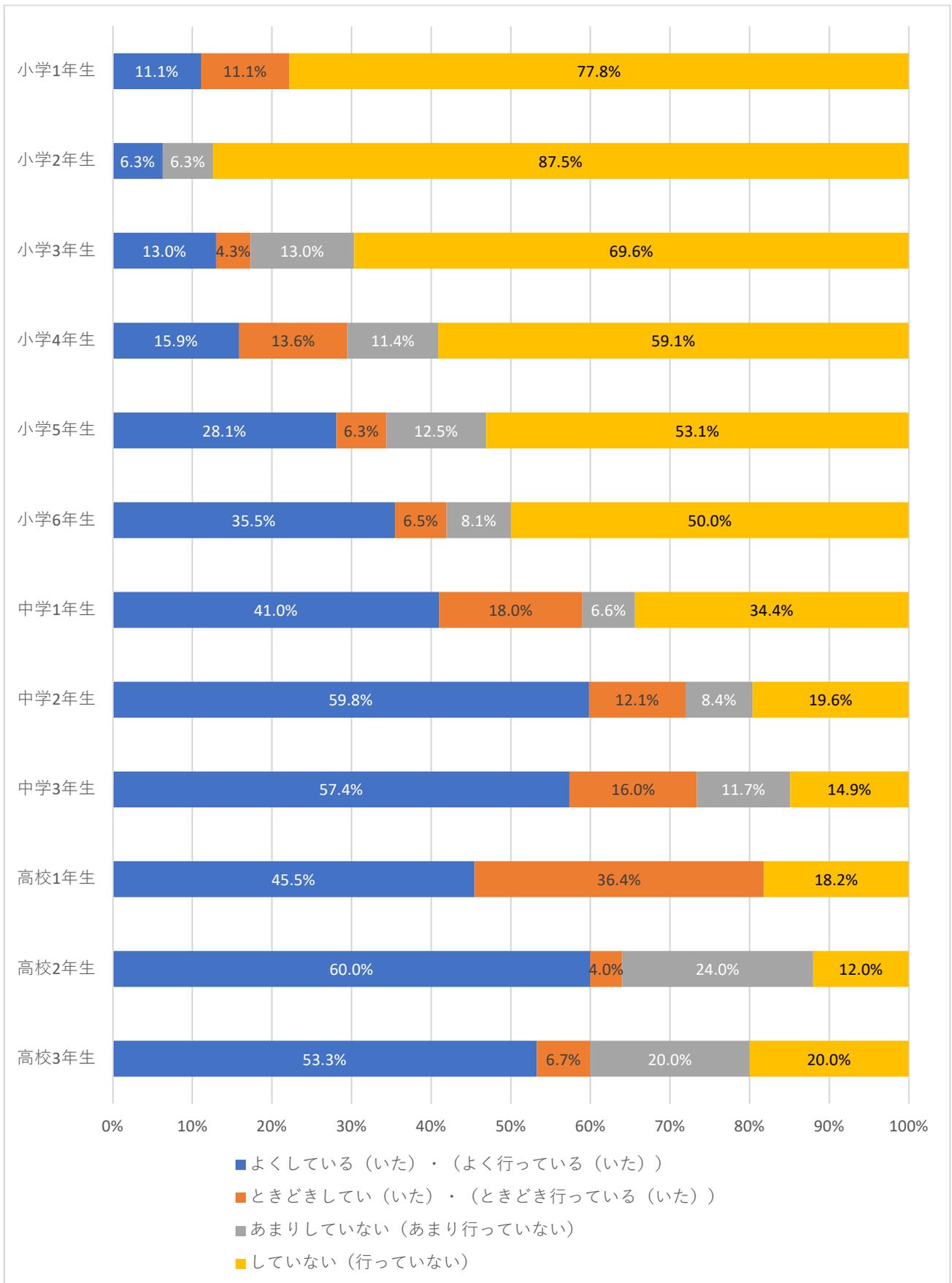


図 2-2-10 「SNS を見る」と学年との関係

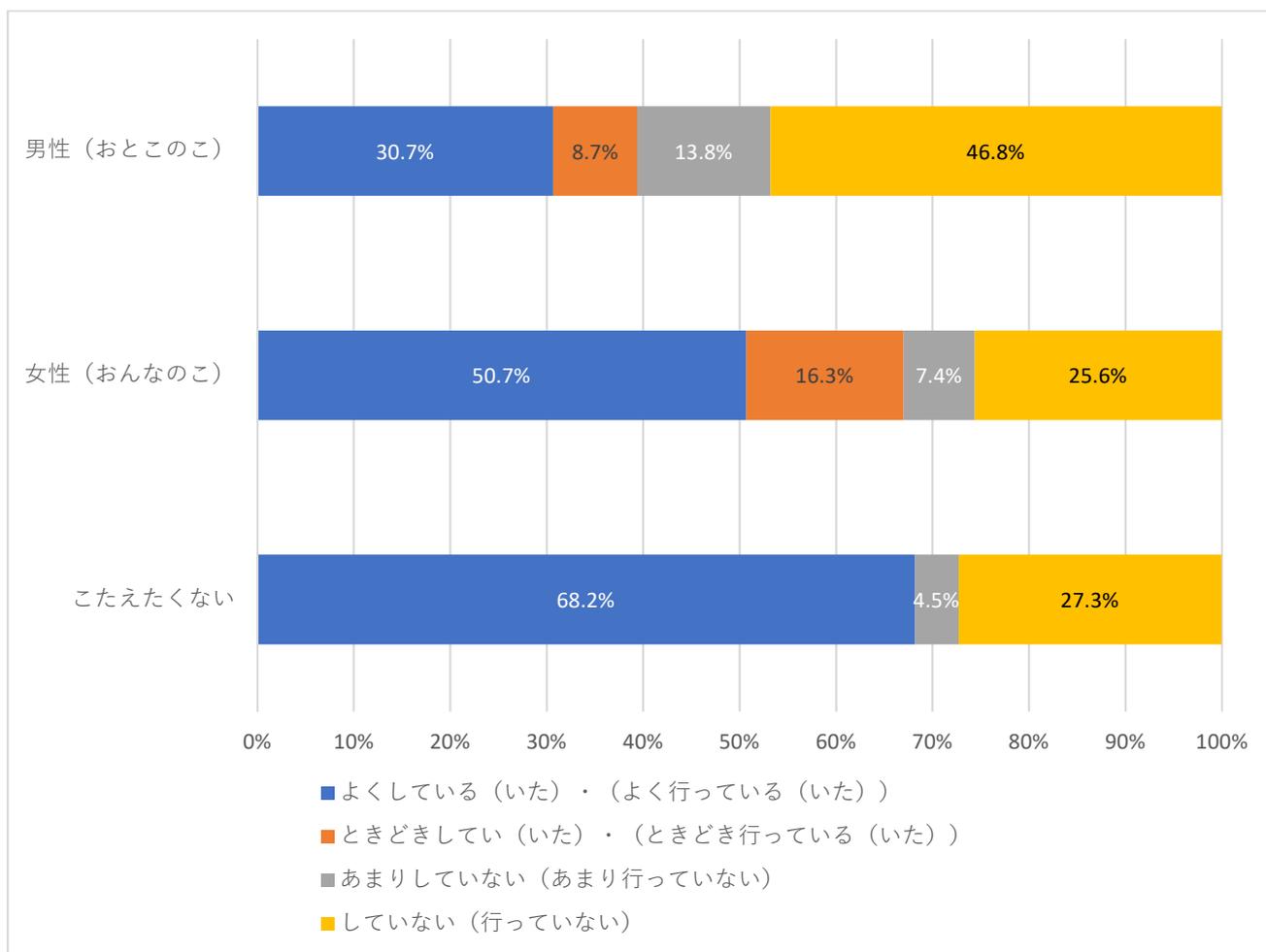


図 2-2-11 「SNS を見る」と性別との関係

ウ「動画サイトで動画を見る」について

圏域、校種、学年、性別、全てのクロス集計の値で、動画の閲覧を行っていた様子が伺える。特に中学生においては顕著に閲覧の様子が伺えた。

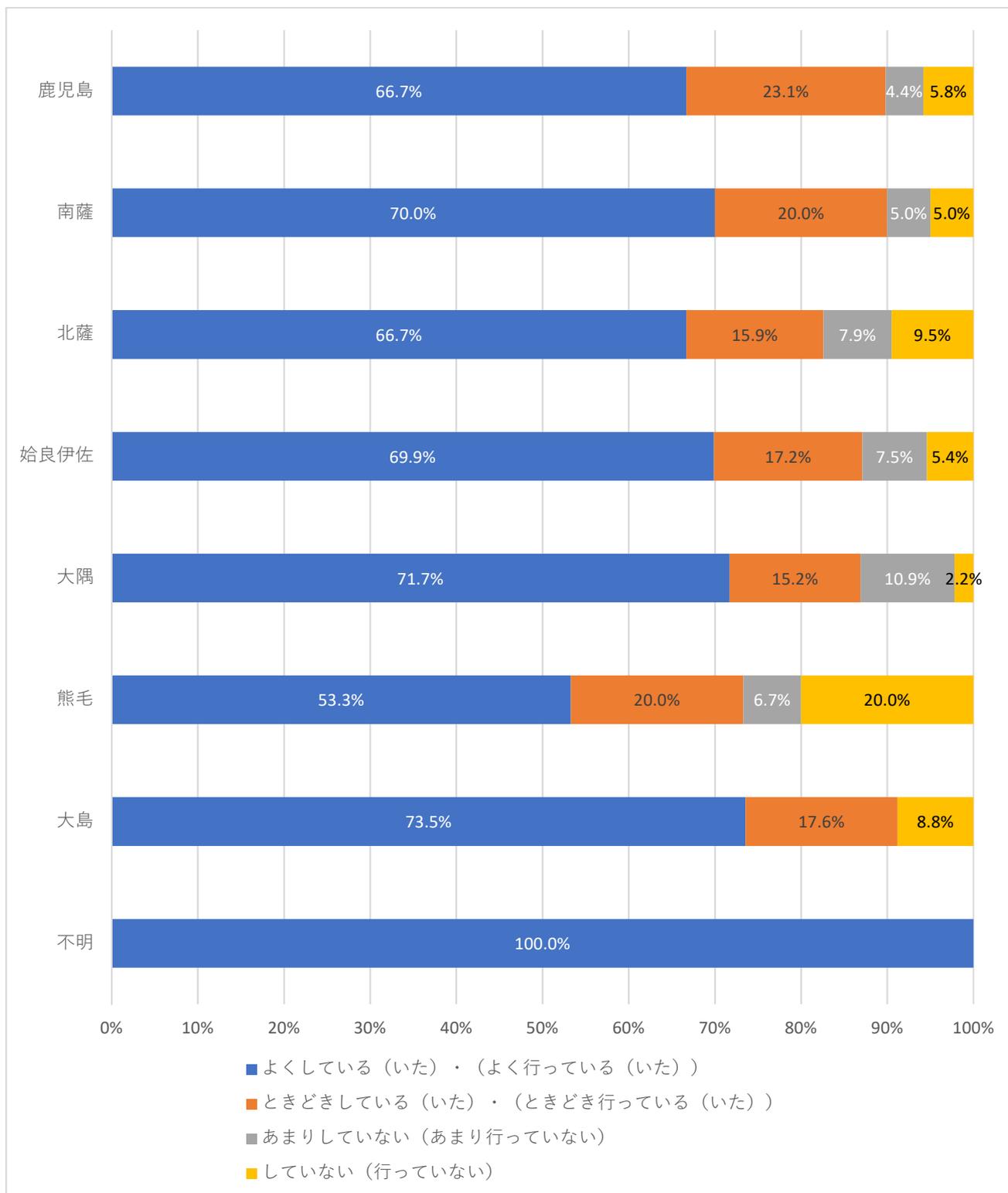


図 2-2-12 「動画サイトで動画を見る」と圏域との関係

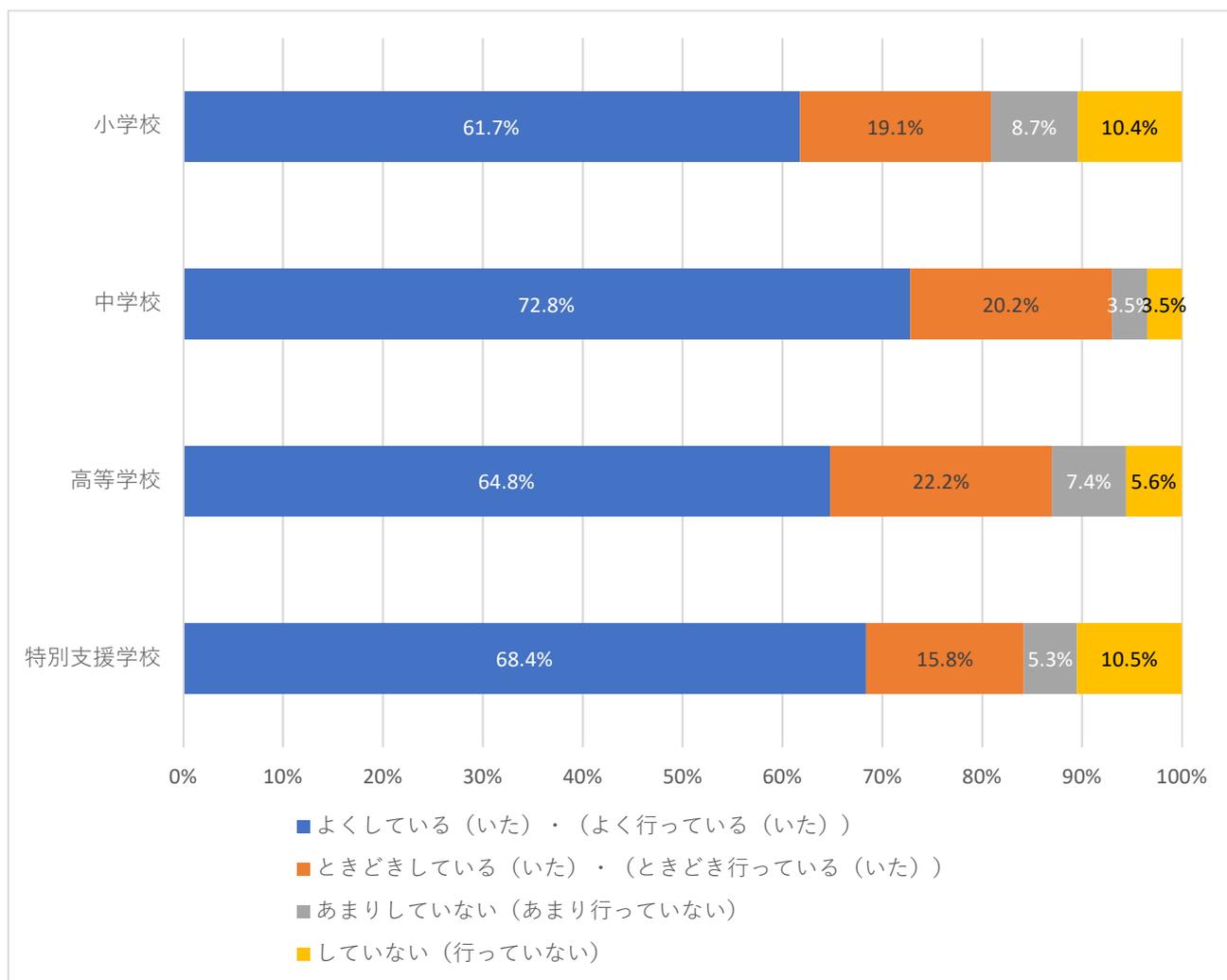


図 2-2-13 「動画サイトで動画を見る」と校種との関係

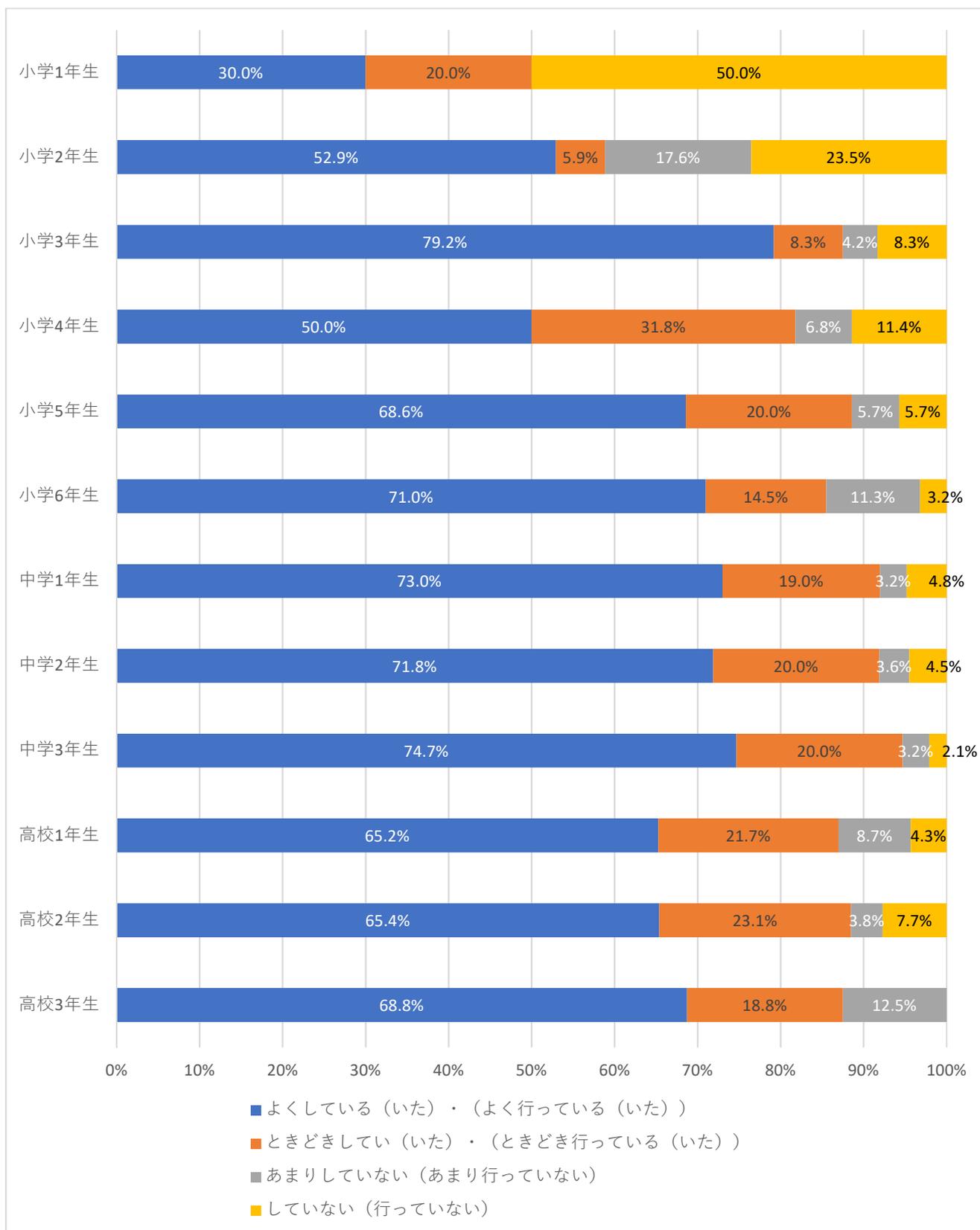


図 2-2-14 「動画サイトで動画を見る」と学年との関係

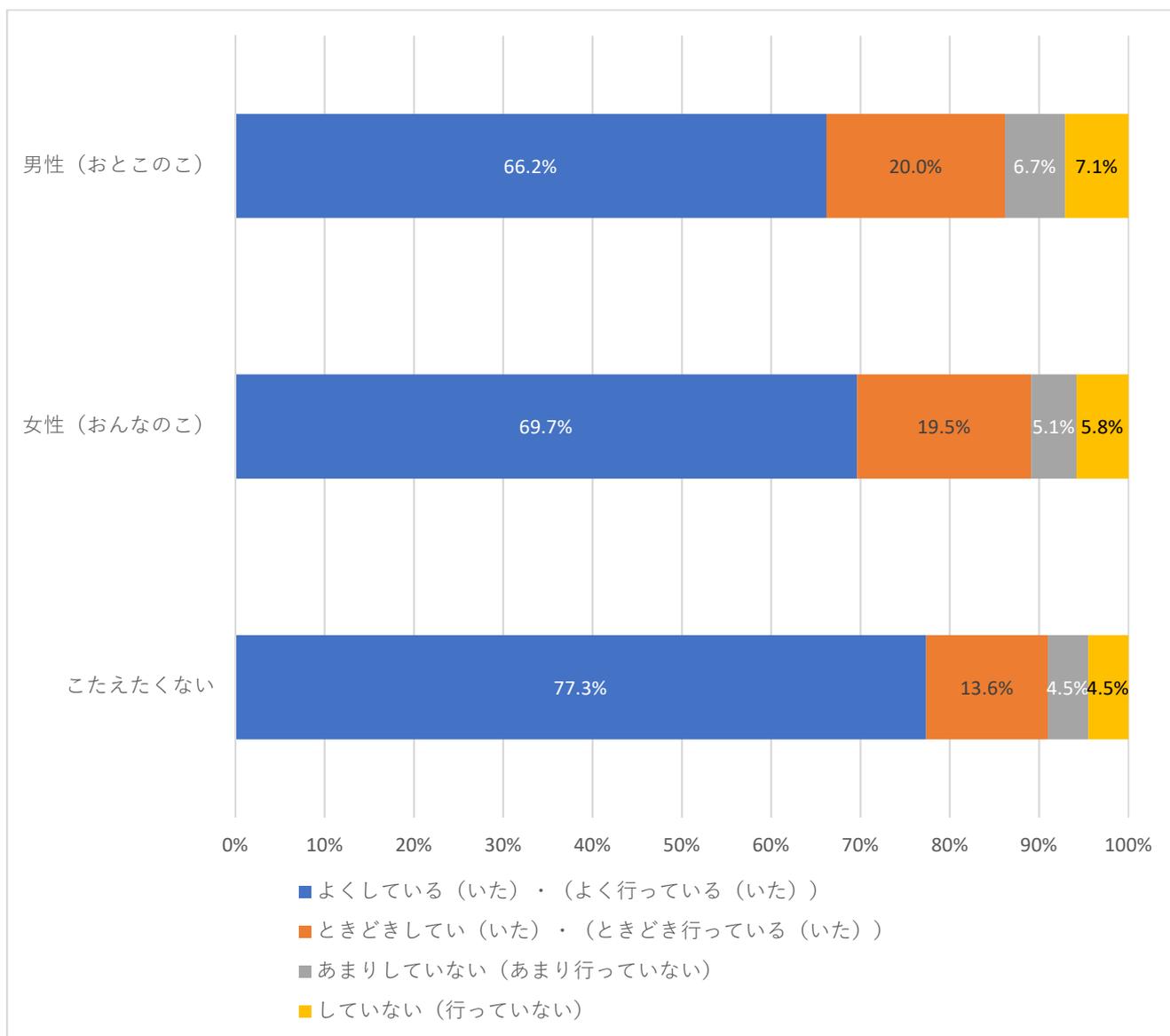


図 2-2-15 「動画サイトで動画を見る」と性別との関係

エ「TV などを見て過ごす」について

圏域、校種、学年、性別、全てのクロス集計の値で、概ね高い割合で TV を見て過ごしている様子が伺えた。

圏域とのクロス集計を確認すると、熊毛圏域において、「TV を見て過ごす」の値が低い傾向がみられた。

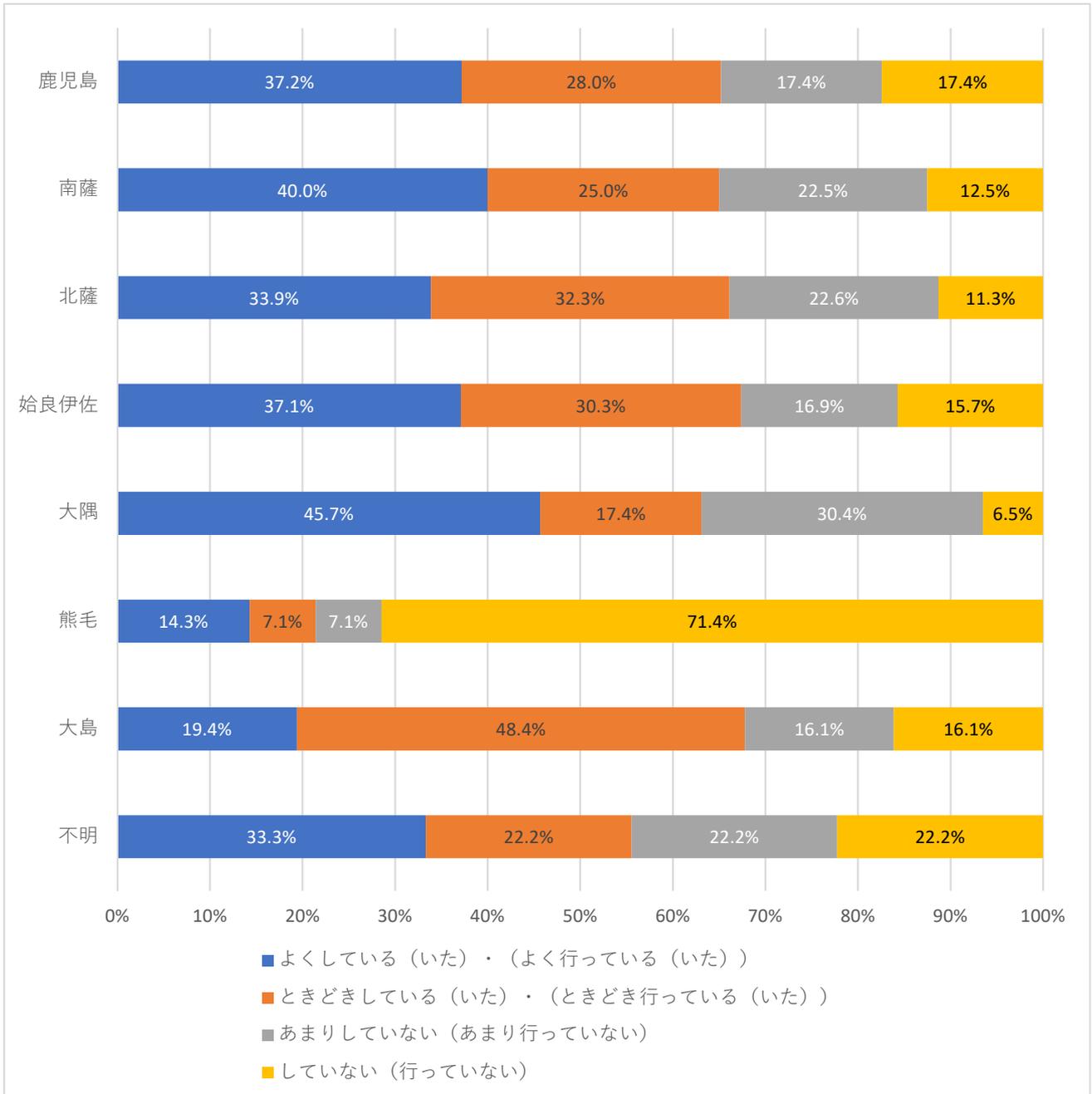


図 2-2-16 「TV を見て過ごす」と圏域との関係

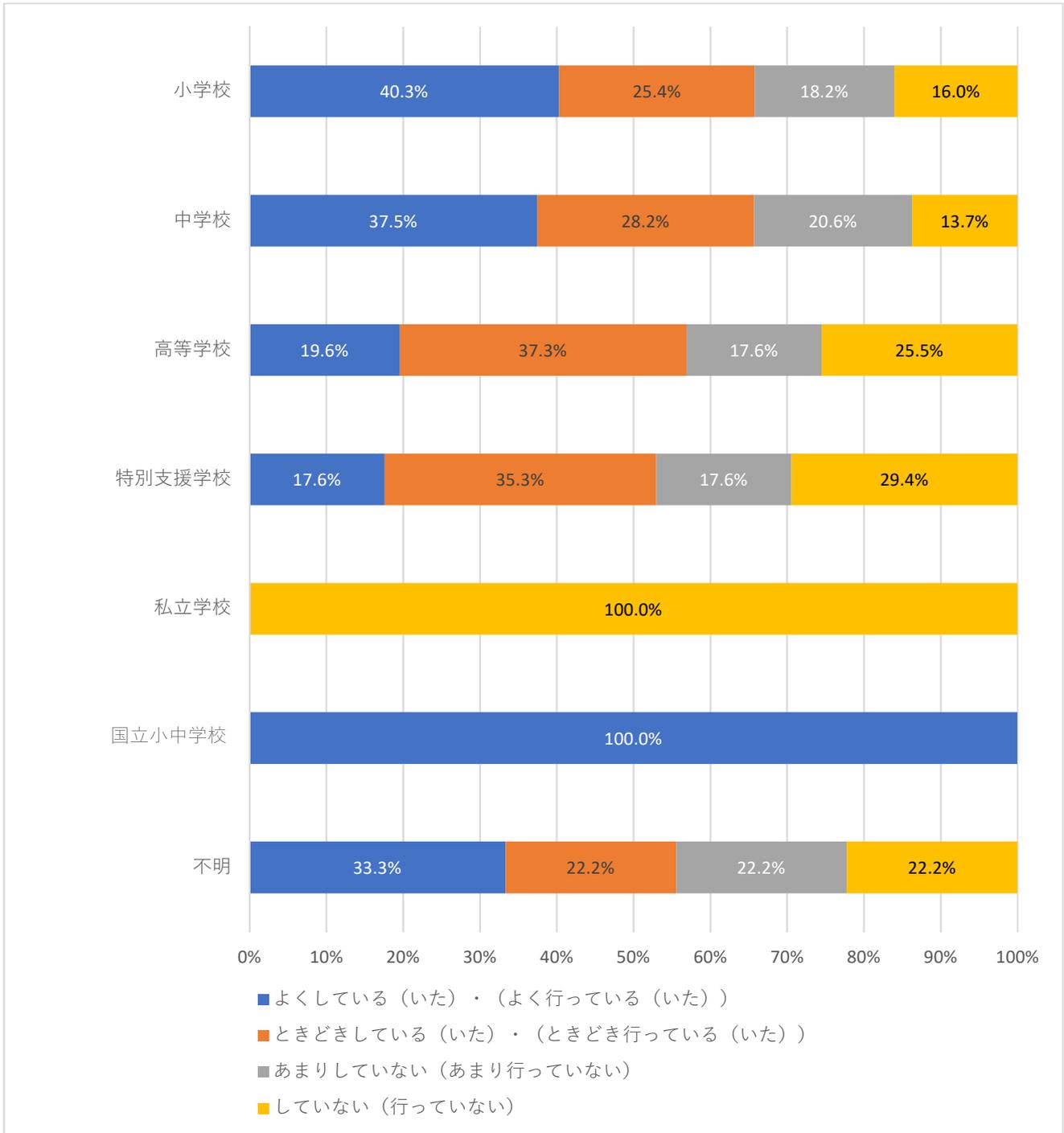


図 2-2-17 「TV を見て過ごす」と校種との関係

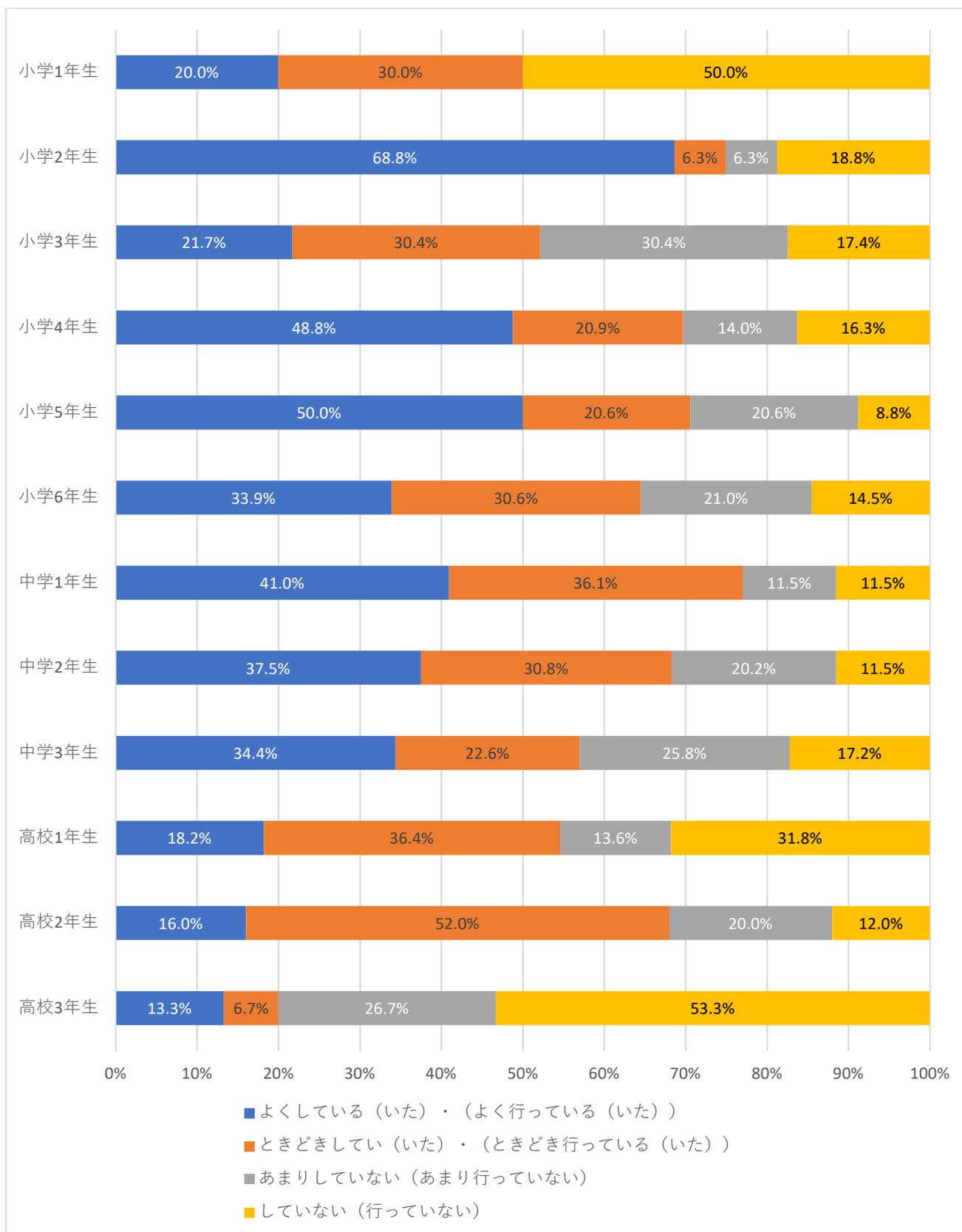


図 2-2-18 「TV を見て過ごす」と学年との関係

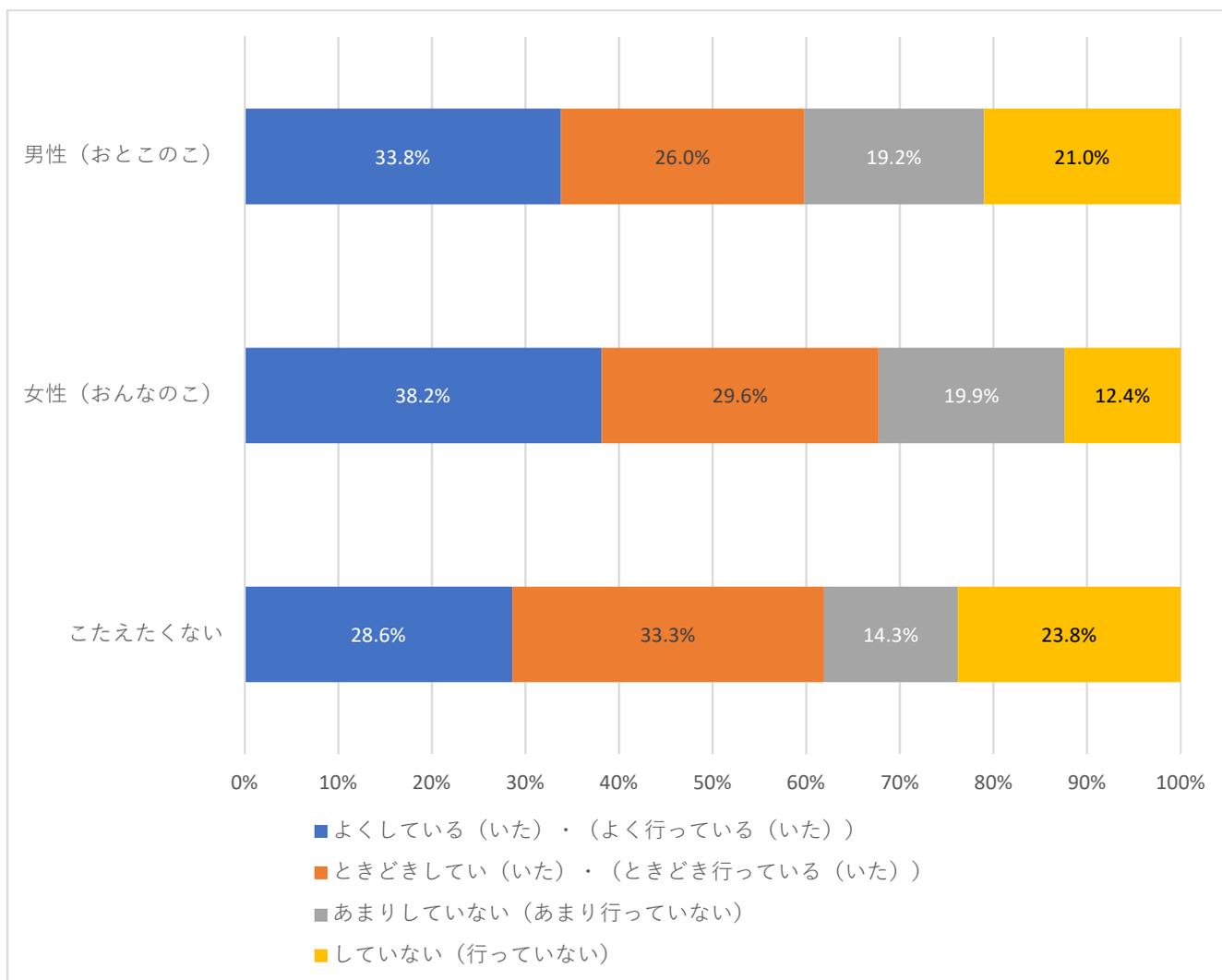


図 2-2-19 「TV を見て過ごす」と性別との関係

オ「ゲームをする」について

圏域、校種、学年、性別、全てのクロス集計の値で、概ね高い割合でゲームをして過ごしている様子が伺えた。

ただし、圏域とのクロス集計を確認すると、熊毛圏域において、ゲームをして過ごす傾向が低い様子がみられた。

性別とのクロス集計を確認すると、男子児童生徒が顕著に活用している状況にあった。

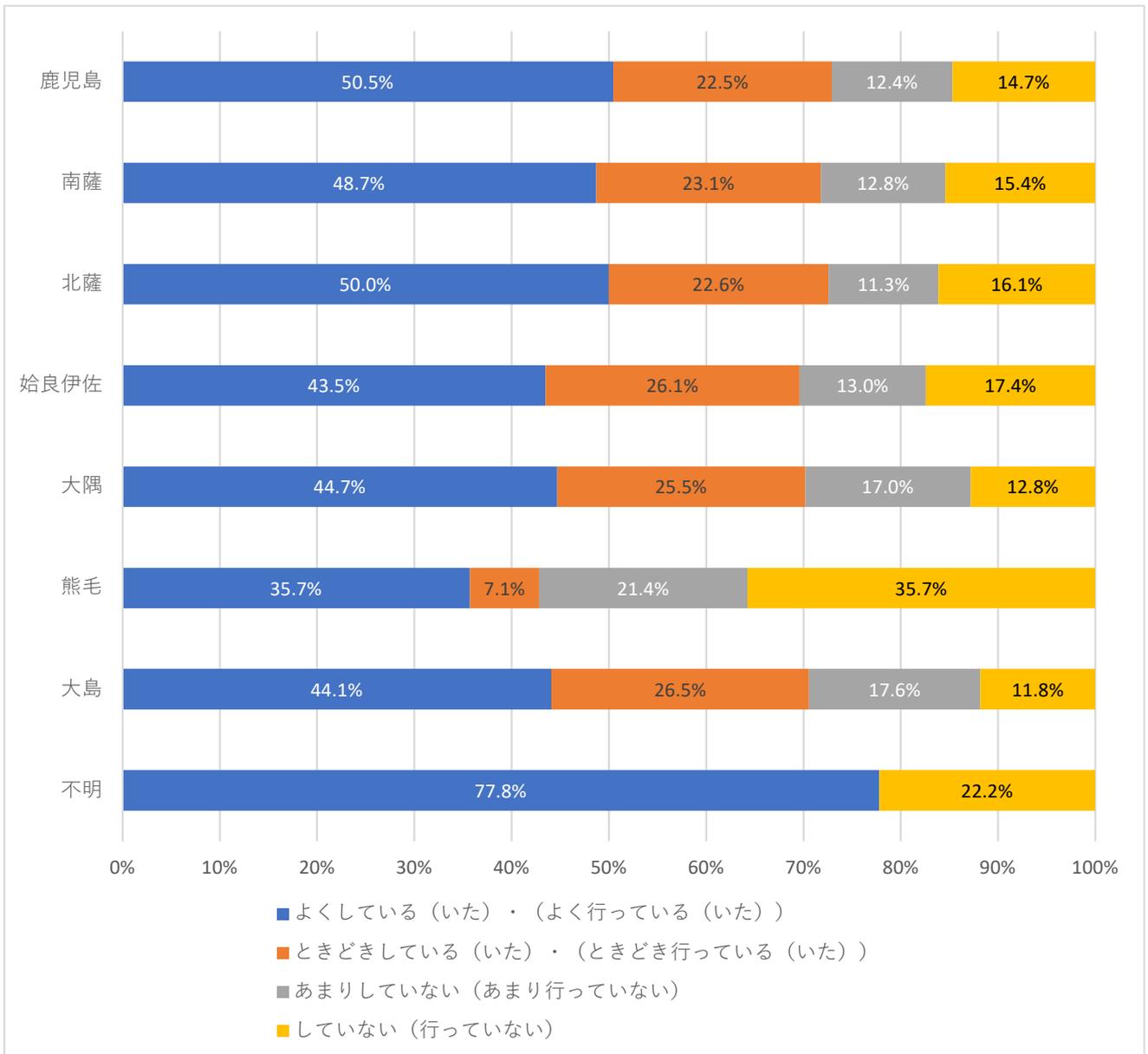


図 2-2-20 「ゲームをする」と圏域との関係

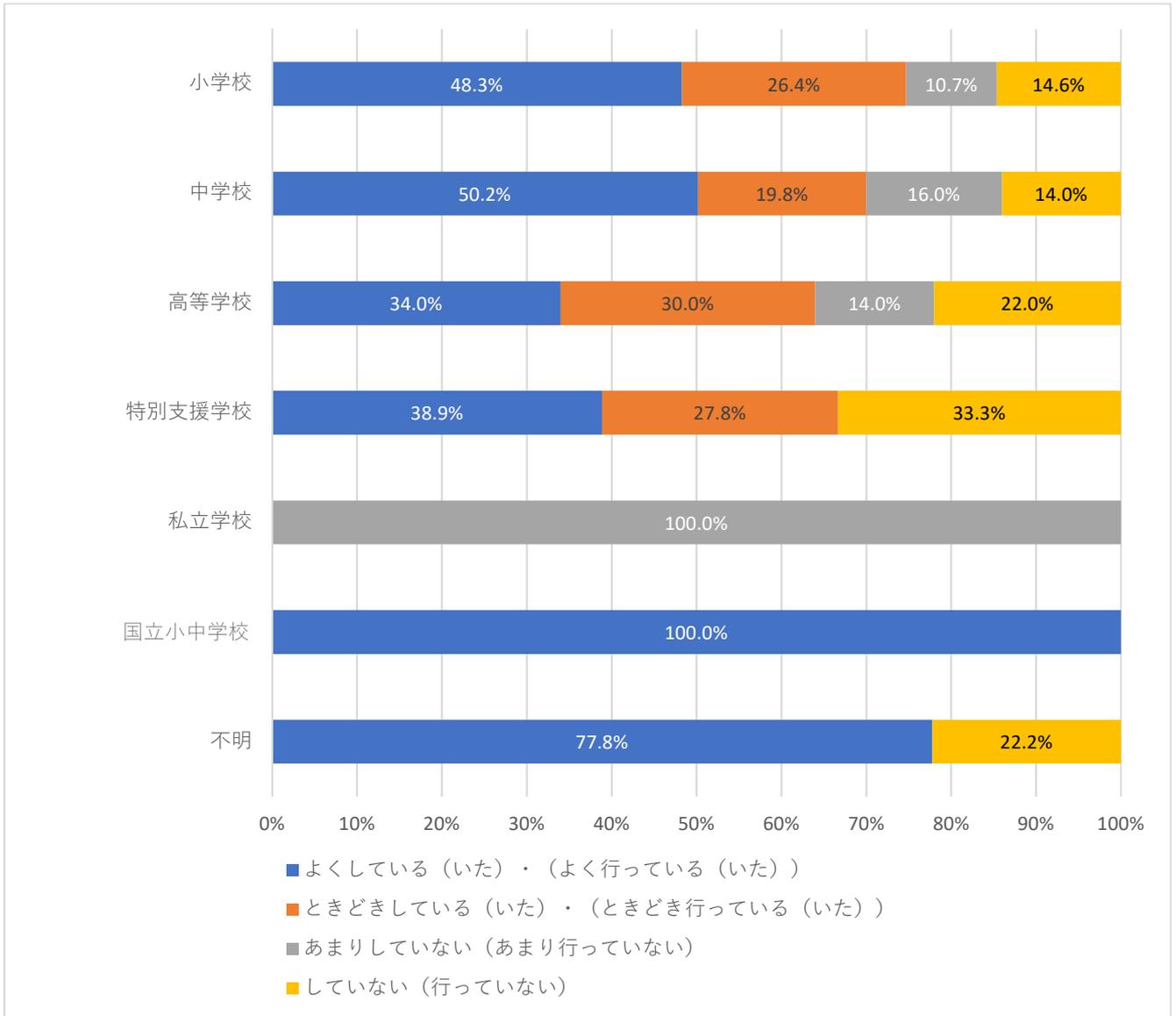


図 2-2-21 「ゲームをする」と校種との関係

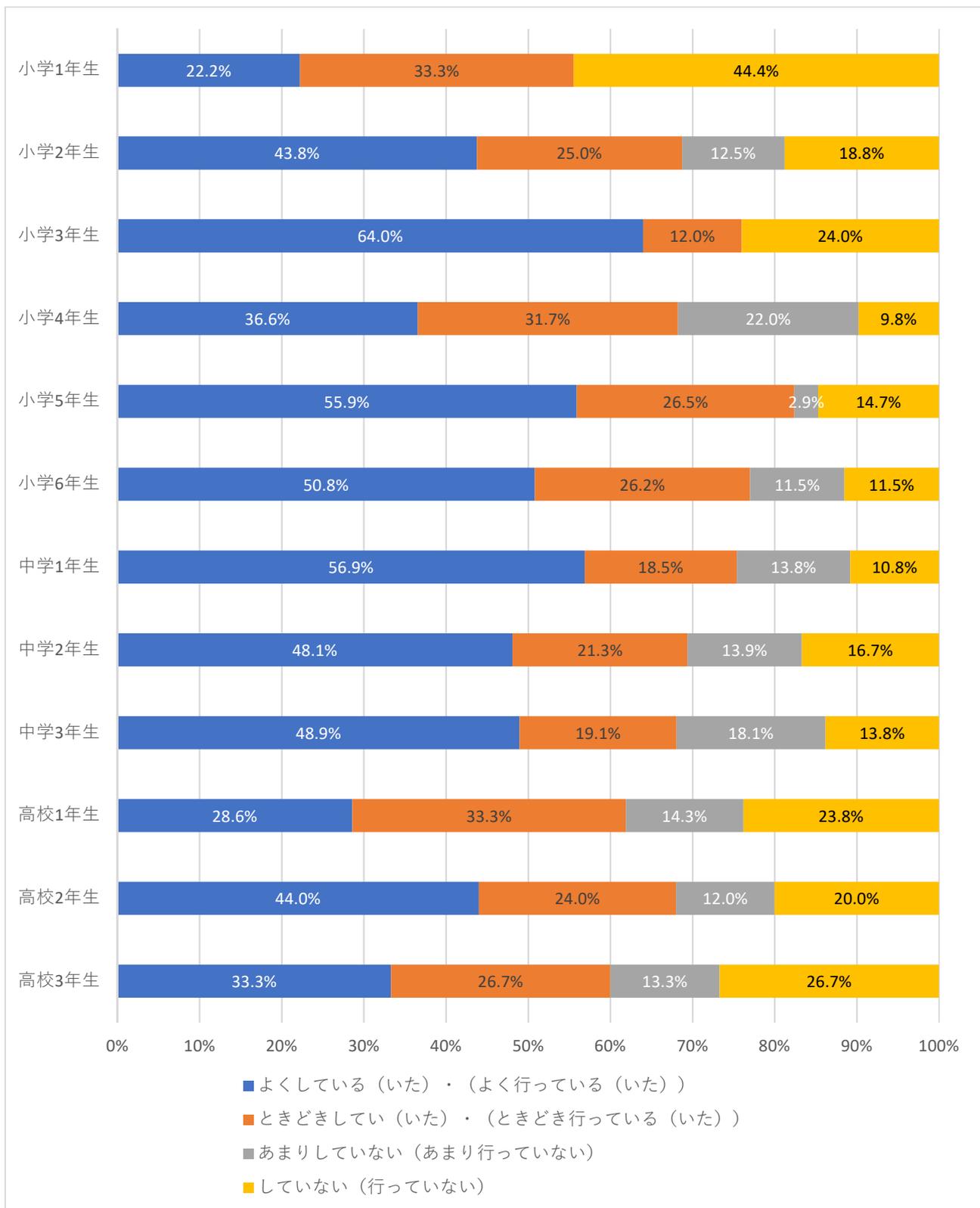


図 2-2-22 「ゲームをする」と学年との関係

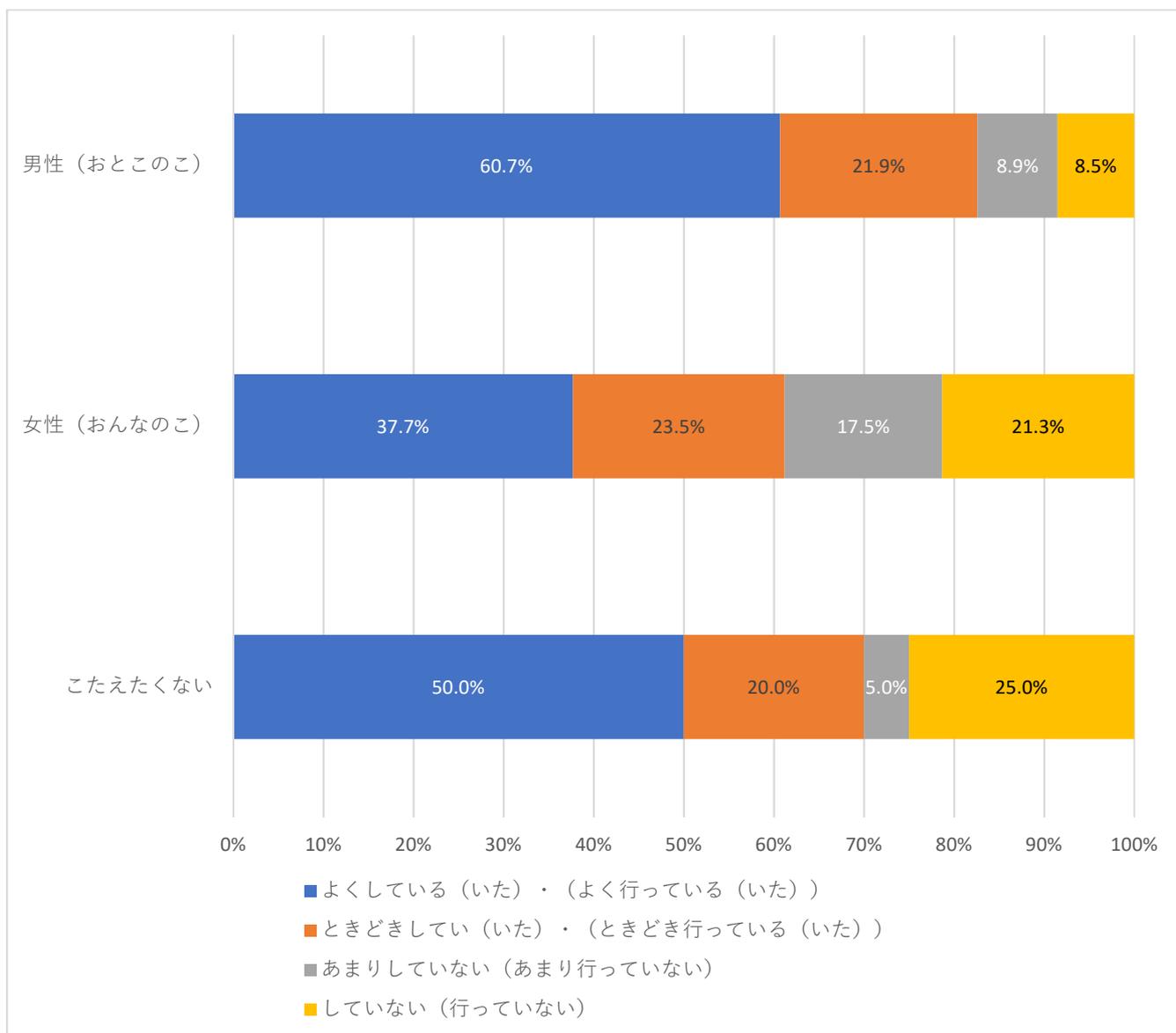


図 2-2-23 「ゲームをする」と性別との関係

カ「家で勉強する」について

圏域、校種、学年、性別、全てのクロス集計の値で、大きな差はない様子が伺えた。

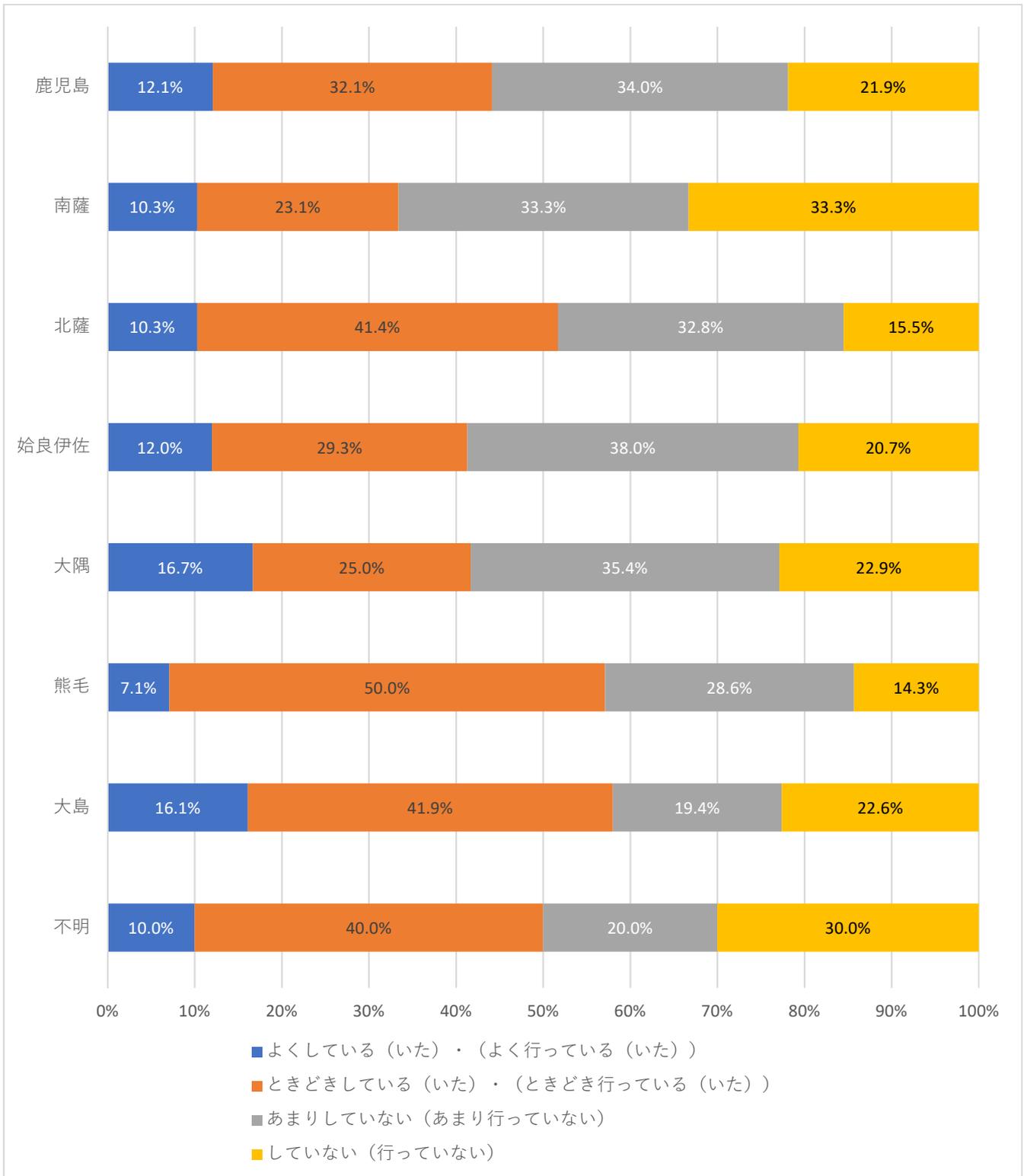


図 2-2-24 「家で勉強をする」と圏域との関係

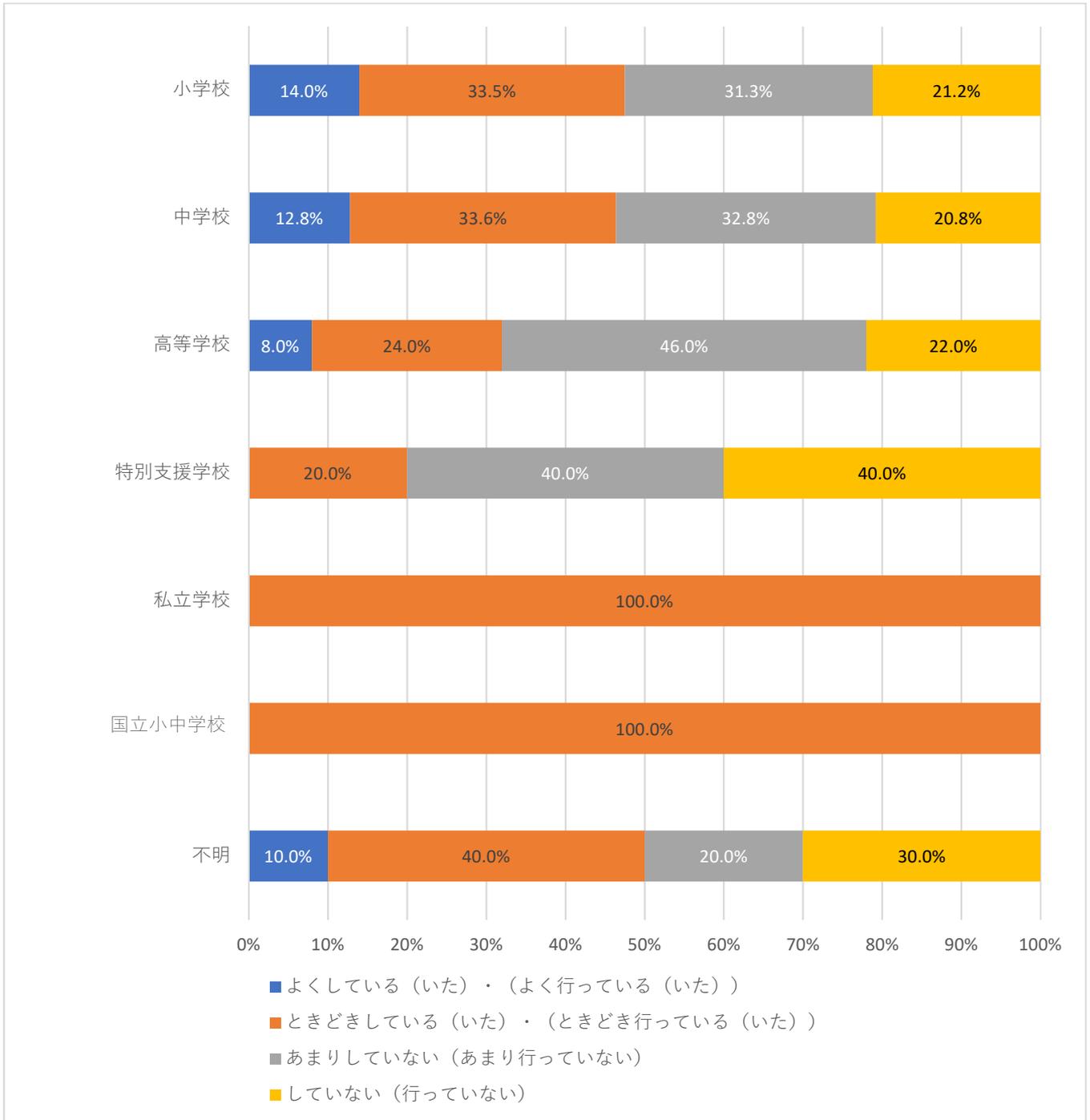


図 2-2-25 「家で勉強をする」と校種との関係

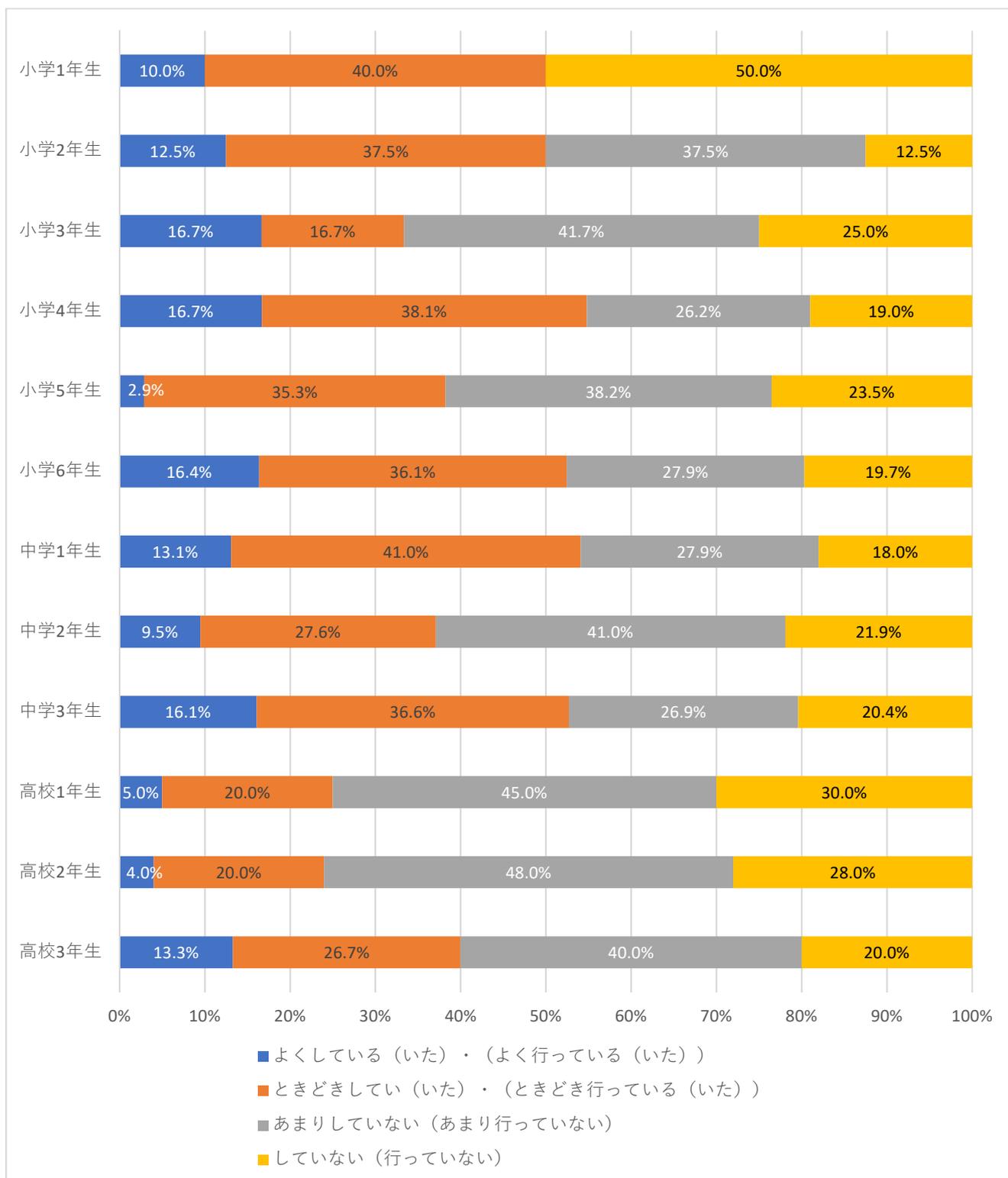


図 2-2-26 「家で勉強をする」と学年との関係

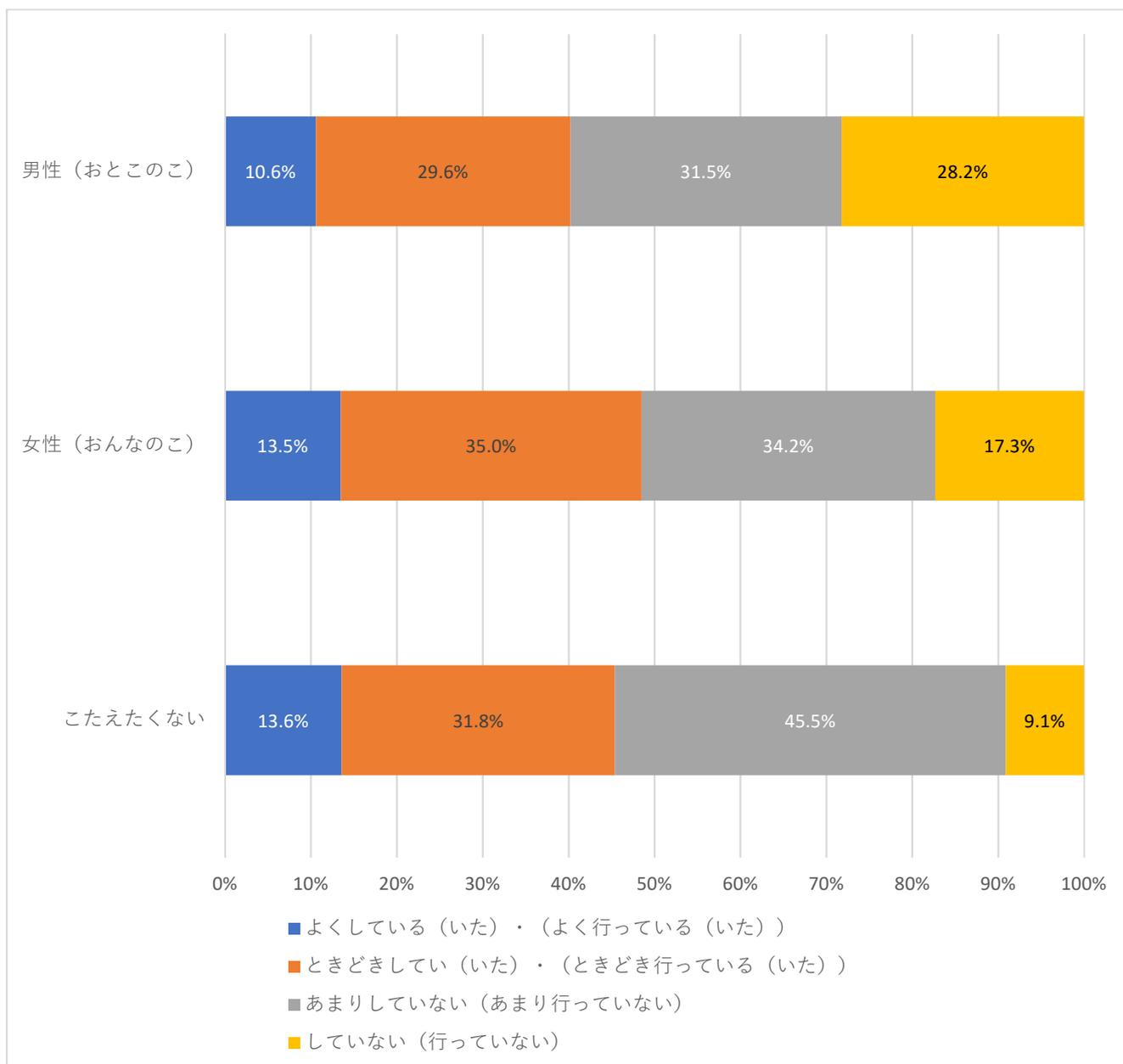


図 2-2-27 「家で勉強をする」と性別との関係

キ「家でゆっくりする」について

圏域、校種、学年、性別、全てのクロス集計の値で、全ての基本属性について、自宅でゆっくりと過ごしている様子が伺えた。

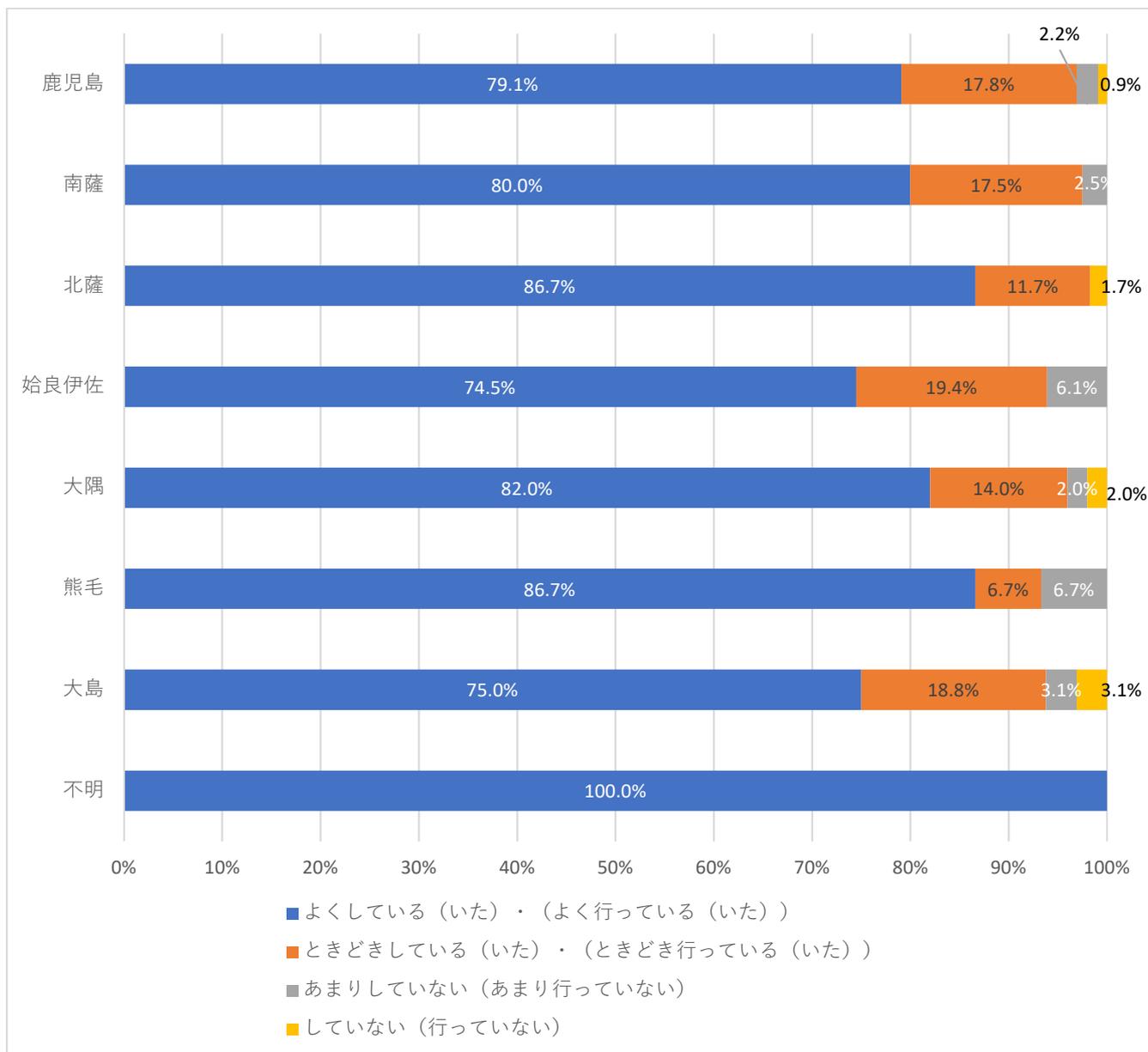


図 2-2-28 「家でゆっくりする」と圏域との関係

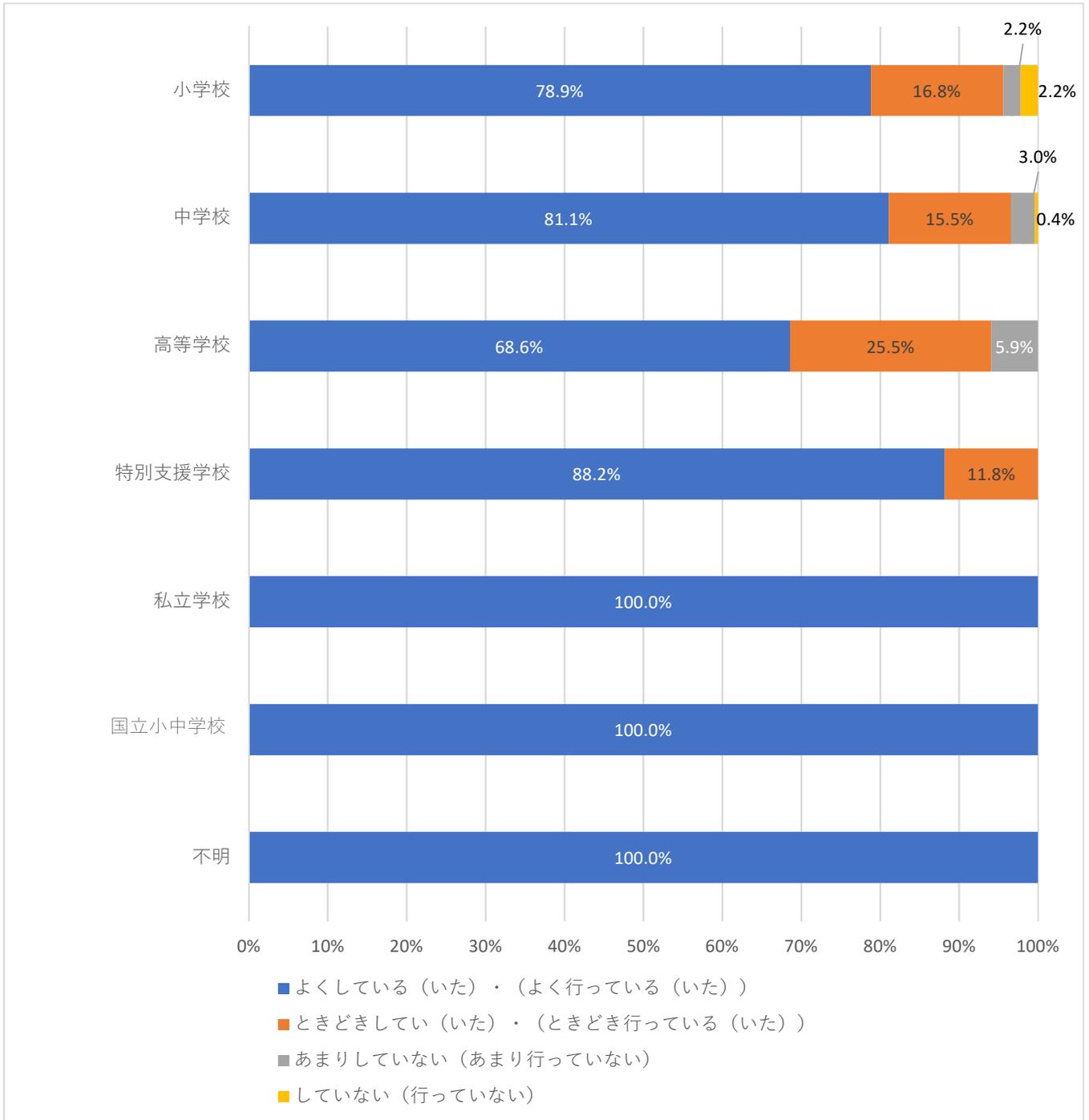


図 2-2-29 「家でゆっくりする」と校種との関係

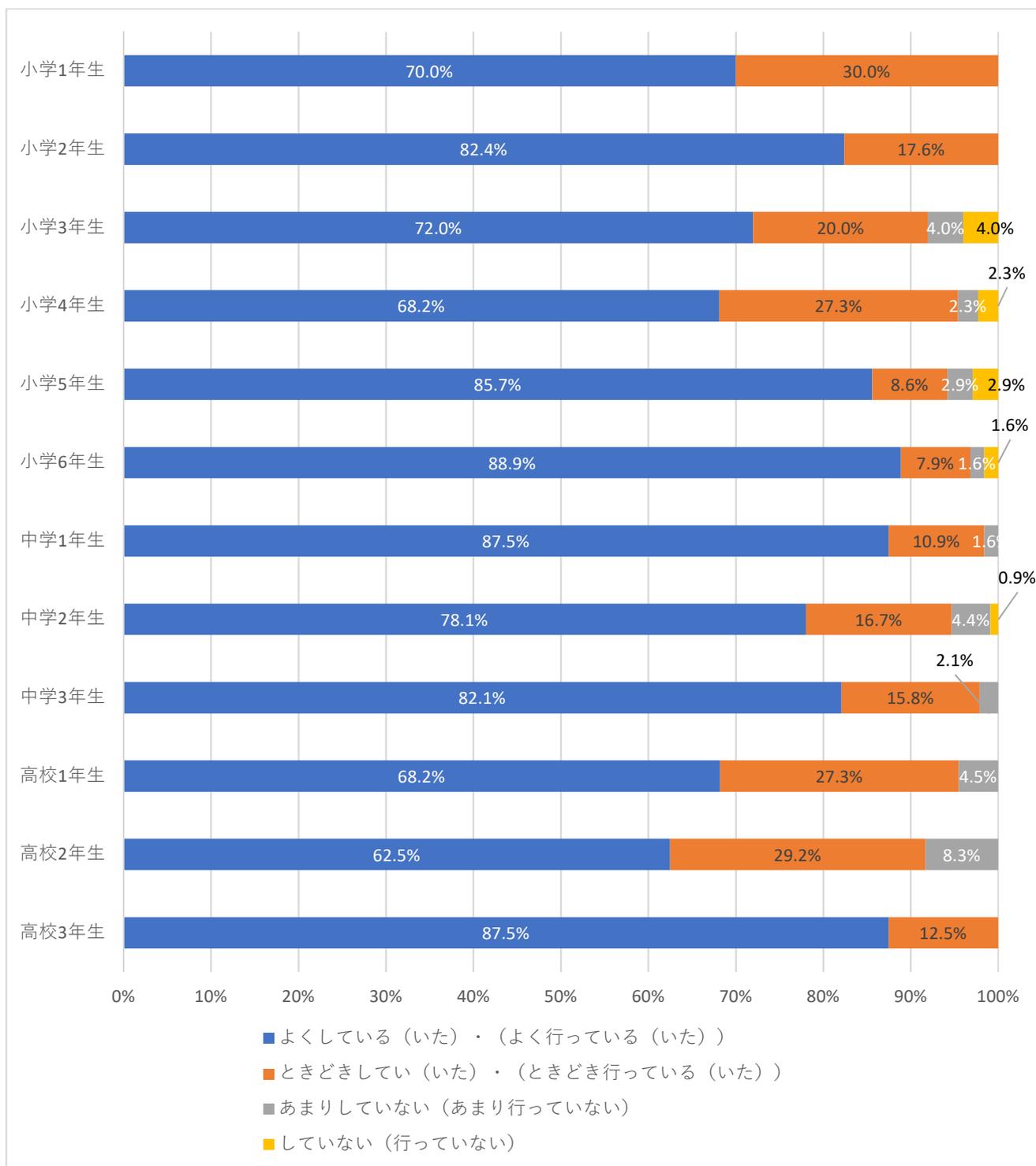


図 2-2-30 「家でゆっくりする」と学年との関係

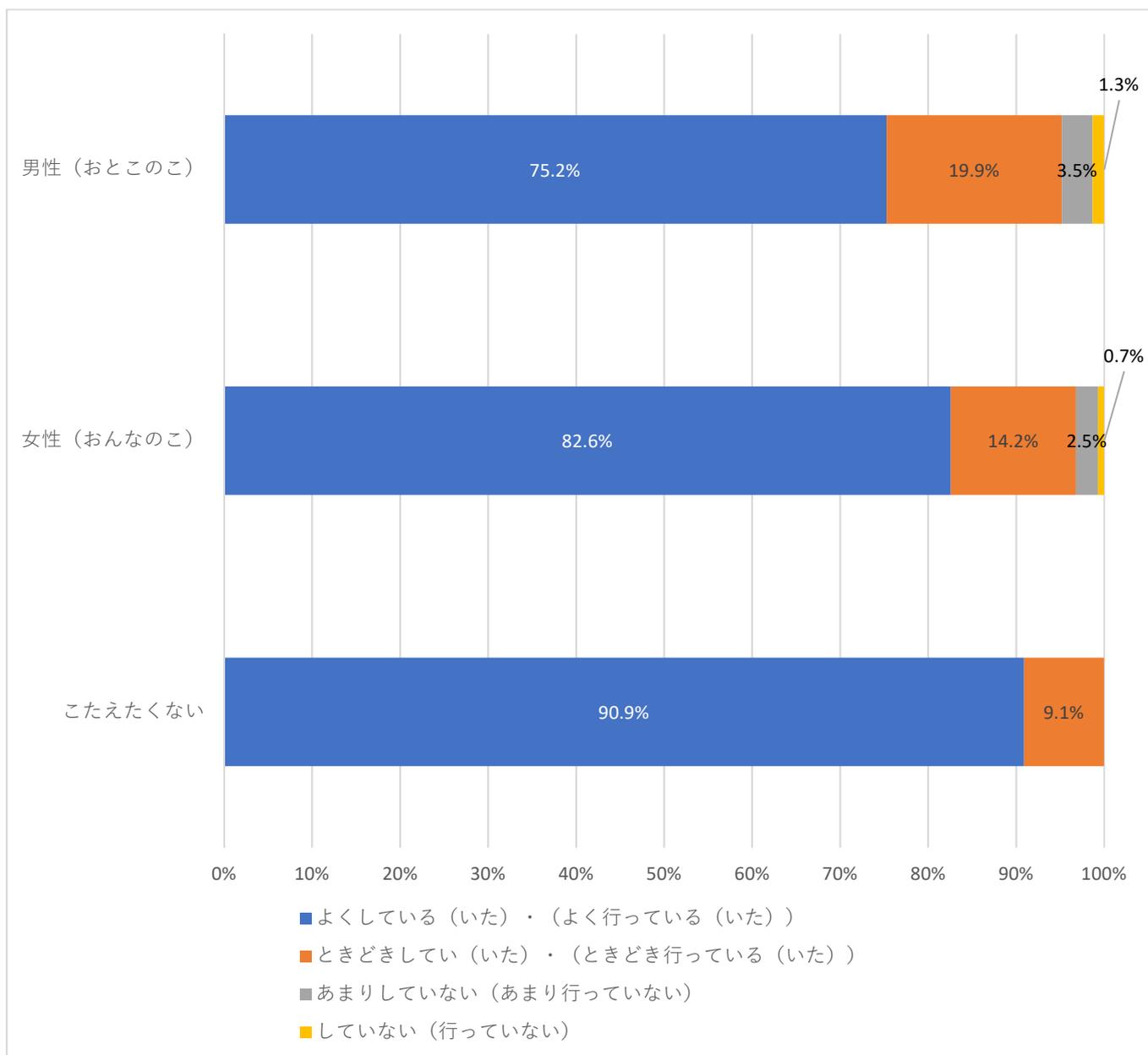


図 2-2-31 「家でゆっくりする」と性別との関係

ク「家事やお手伝い(服を洗ったりご飯を作ったりなど)をする」について

圏域、校種、学年、性別、全てのクロス集計の値で、家事手伝いをする、しないに大きな差はない様子が伺えた。

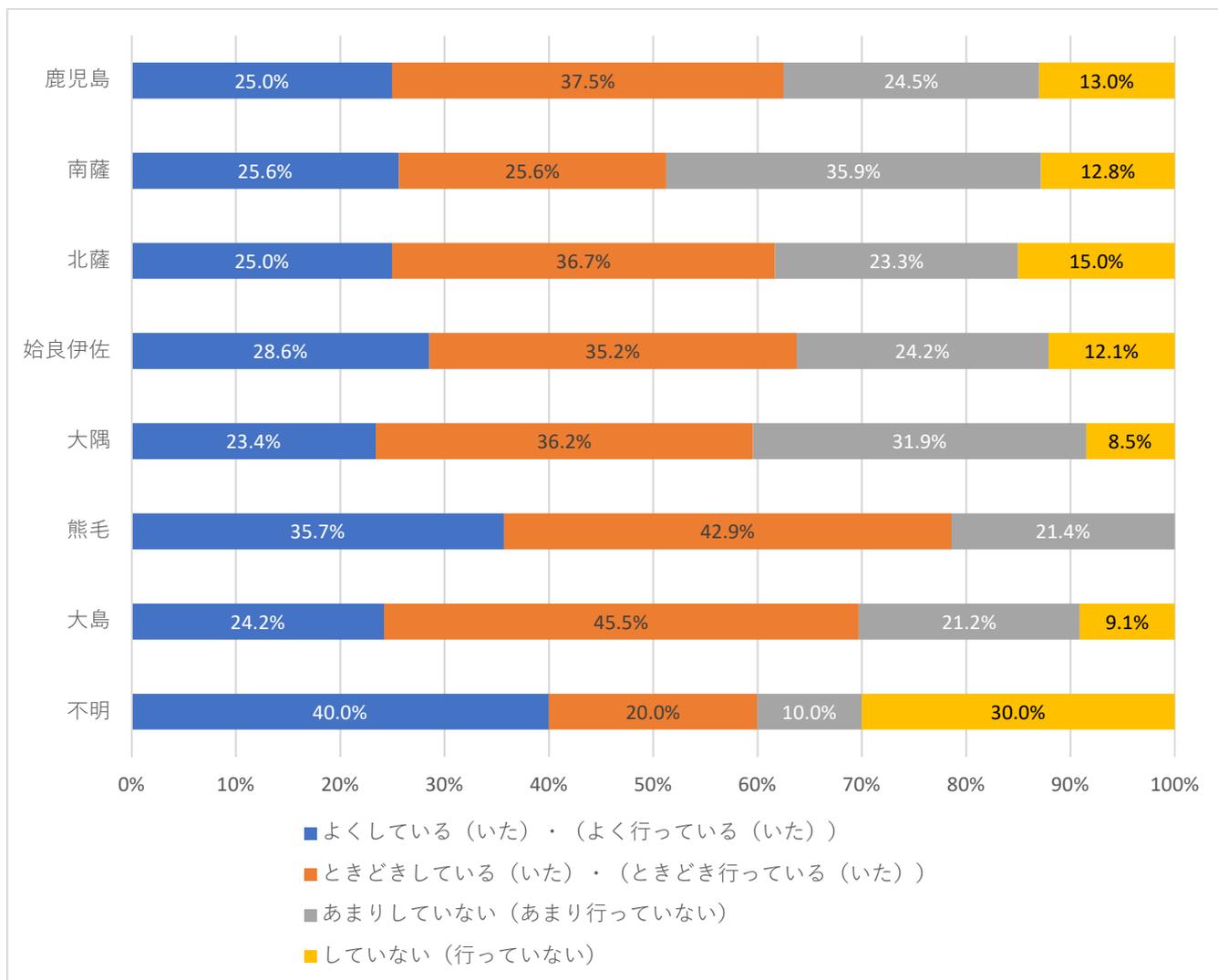


図 2-2-32 「家事やお手伝い」と圏域との関係

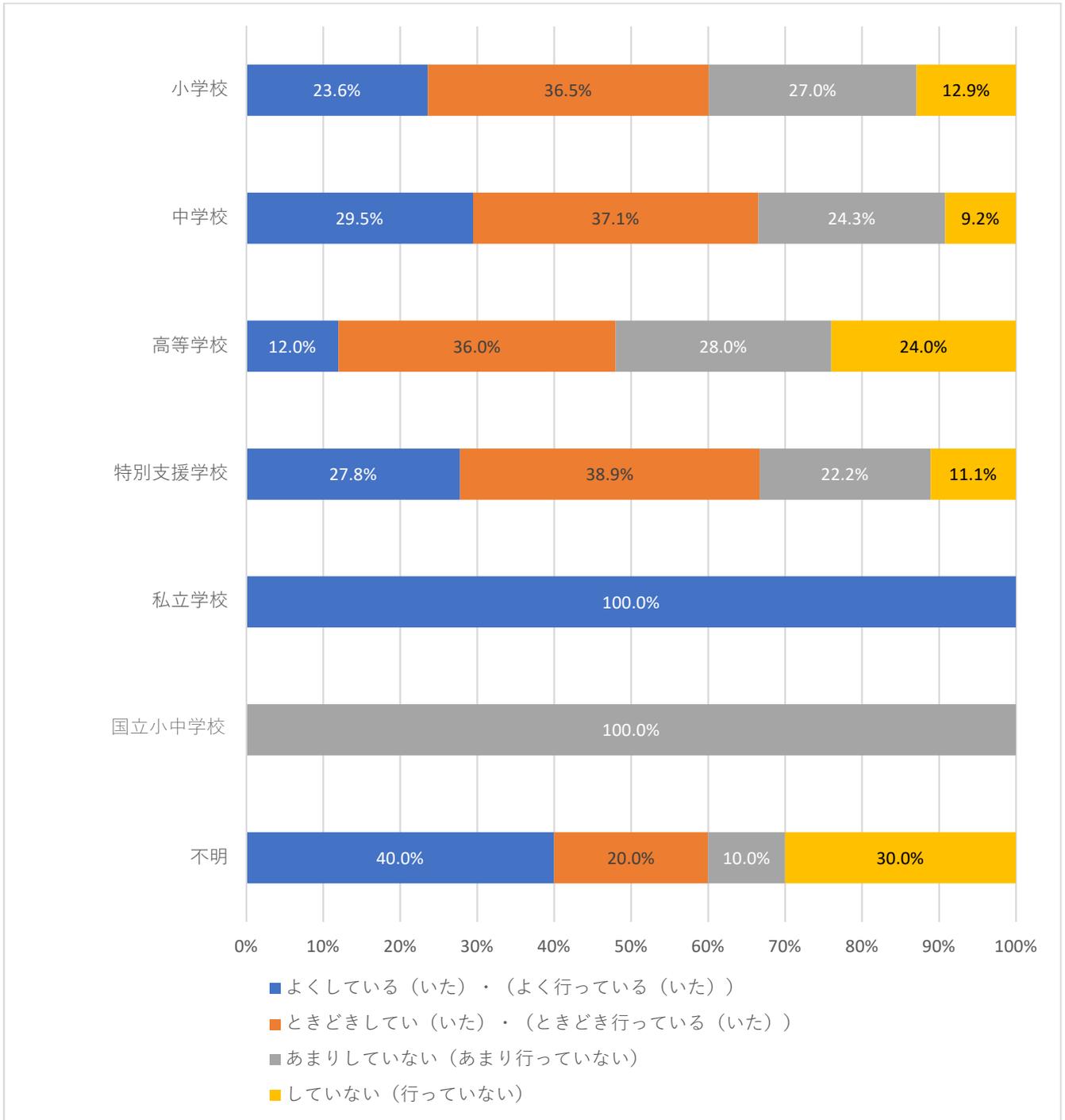


図 2-2-33 「家事やお手伝い」と校種との関係

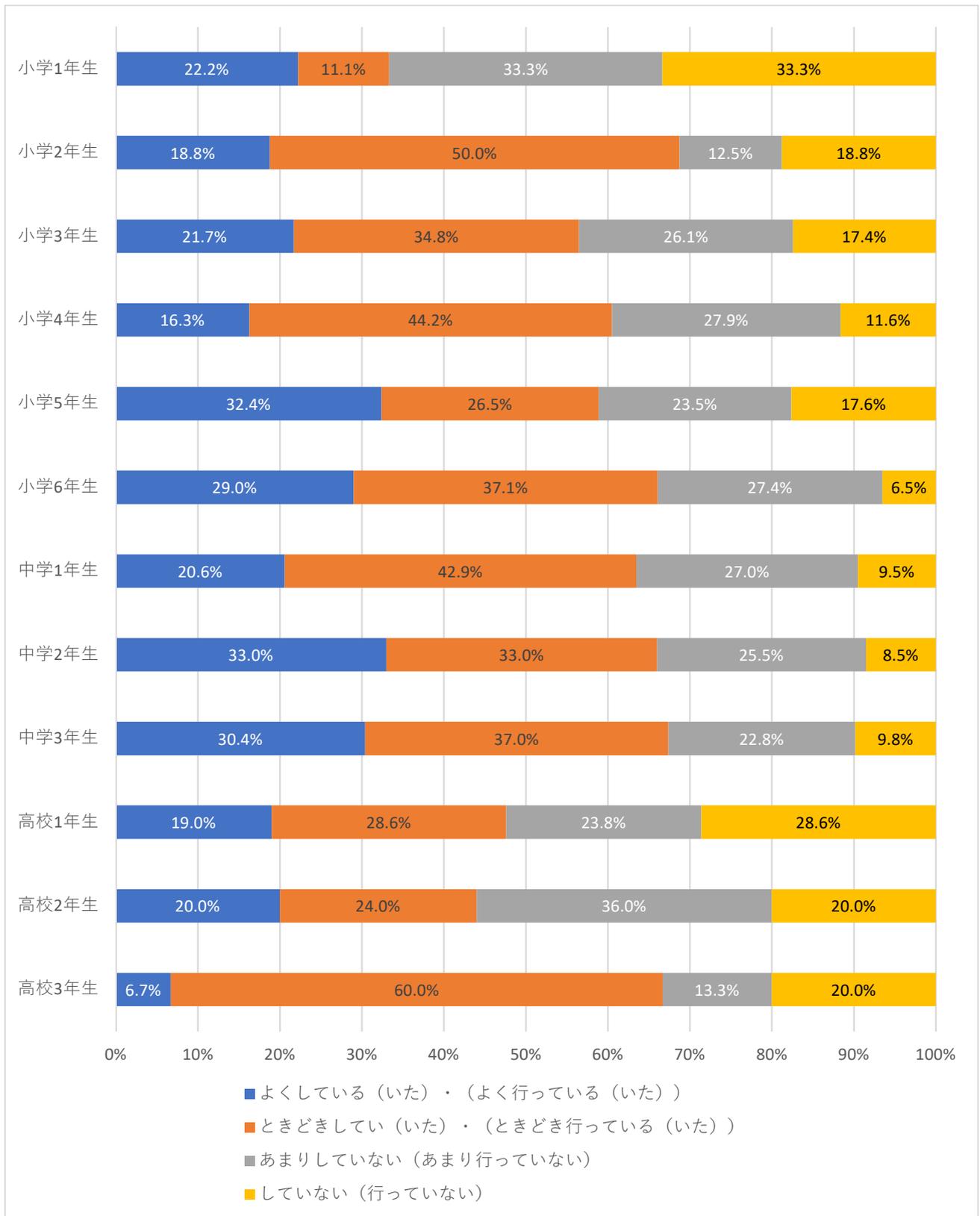


図 2-2-34 「家事やお手伝い」と学年との関係

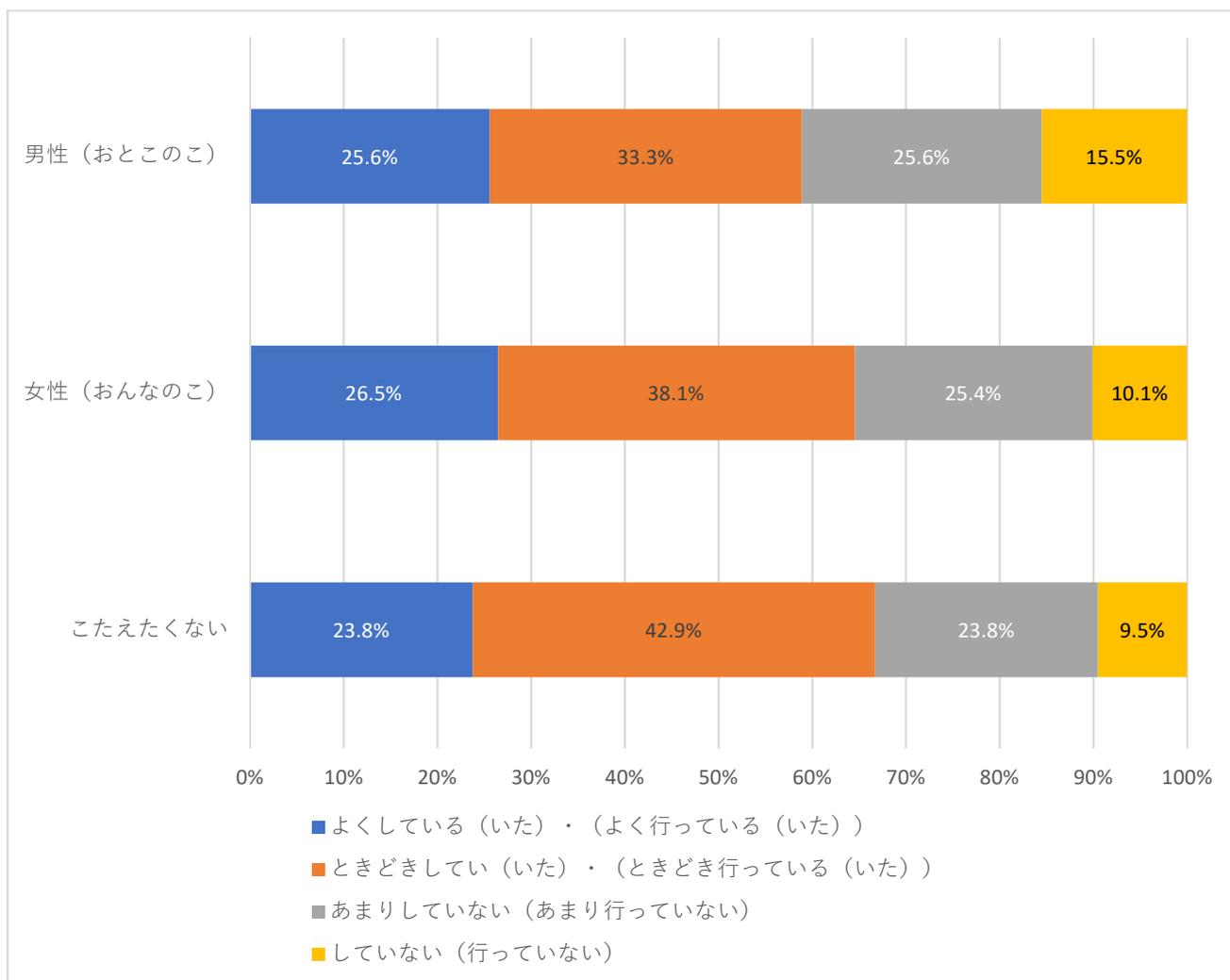


図 2-2-35 「家事やお手伝い」と性別との関係

ケ「外に出かける」について

圏域については、出かける、出かけていないについて、大きな差はない値を示した。

校種、学年で見ると、小学生が比較的外出をしていることに対して、高校生になるとあまり出かけていない様子が伺えた。

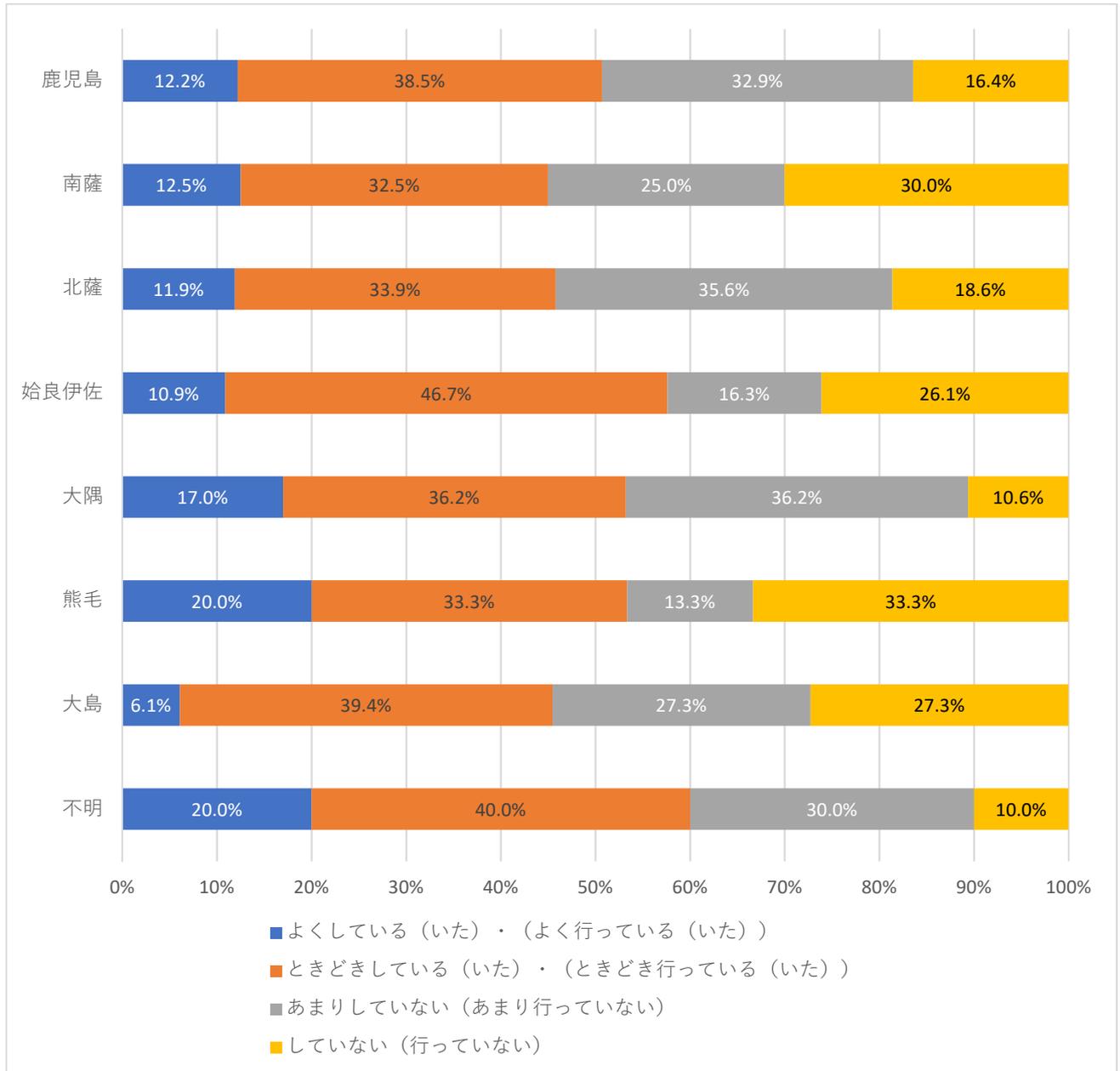


図 2-2-36 「外に出かける」と圏域との関係

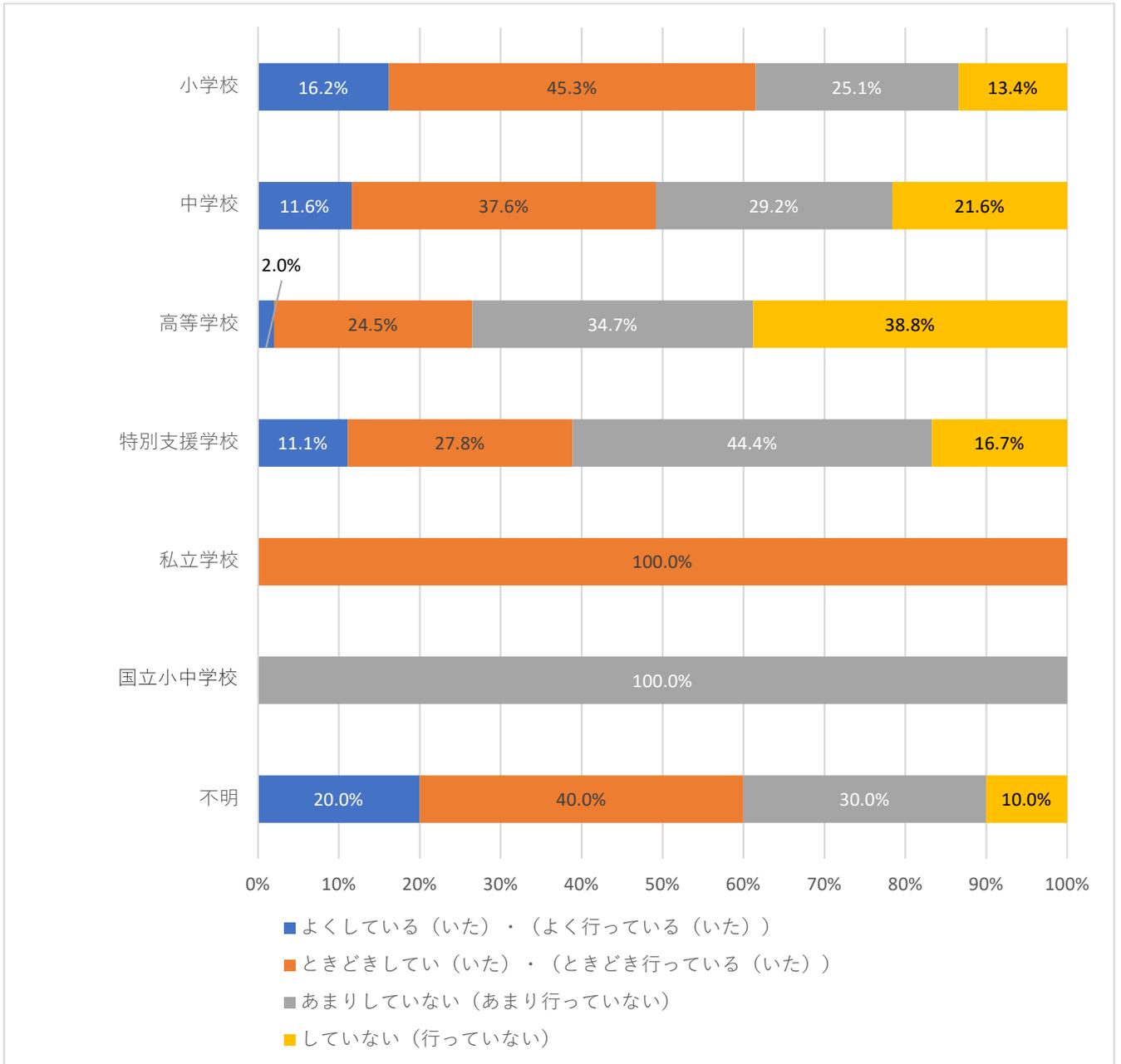


図 2-2-37 「外に出かける」と校種との関係

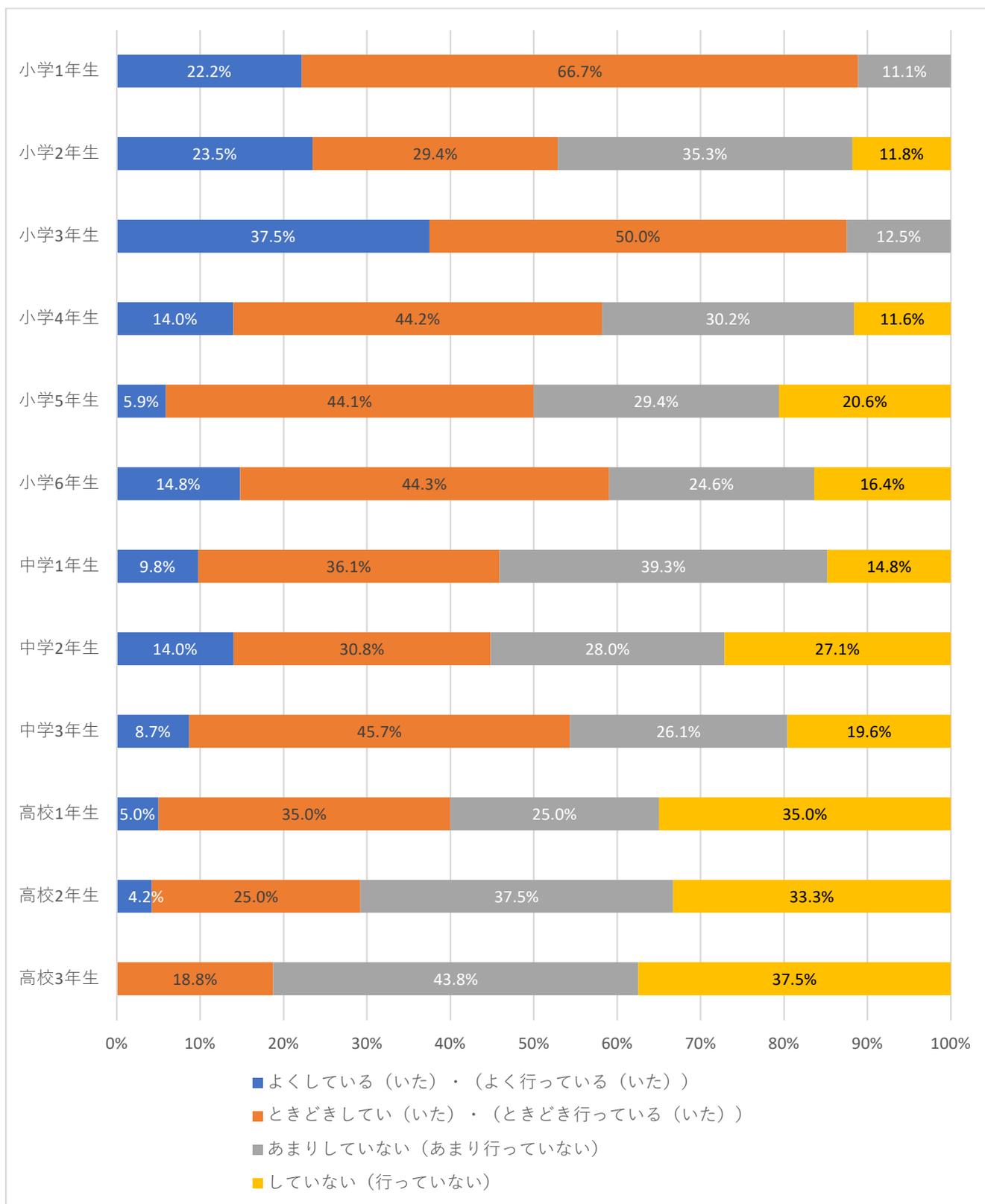


図 2-2-38 「外に出かける」と学年との関係

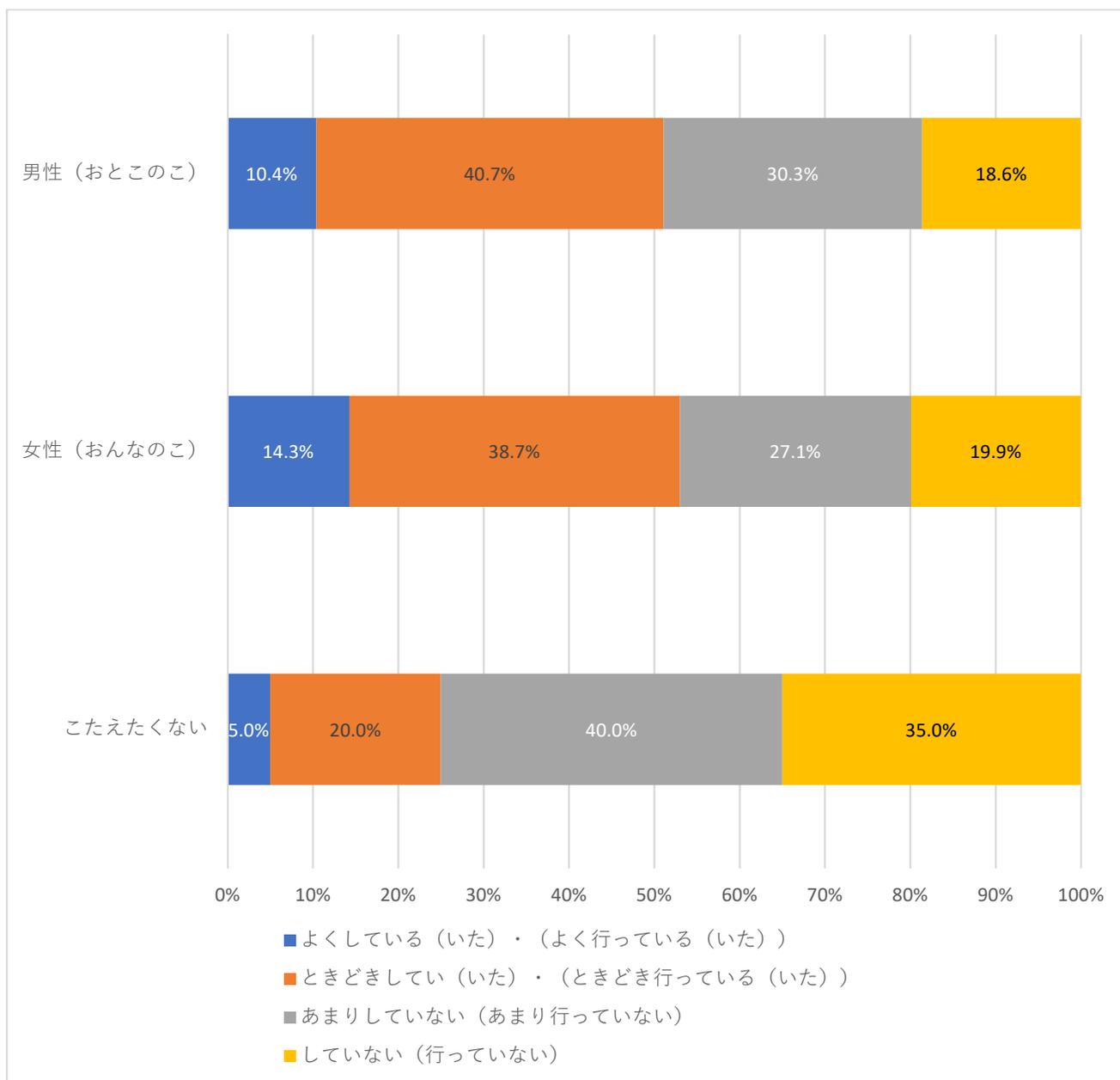


図 2-2-39 「外に出かける」と性別との関係

コ「図書館、公民館に行く」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、図書館や公民館といった施設が利用されていない様子が伺えた。

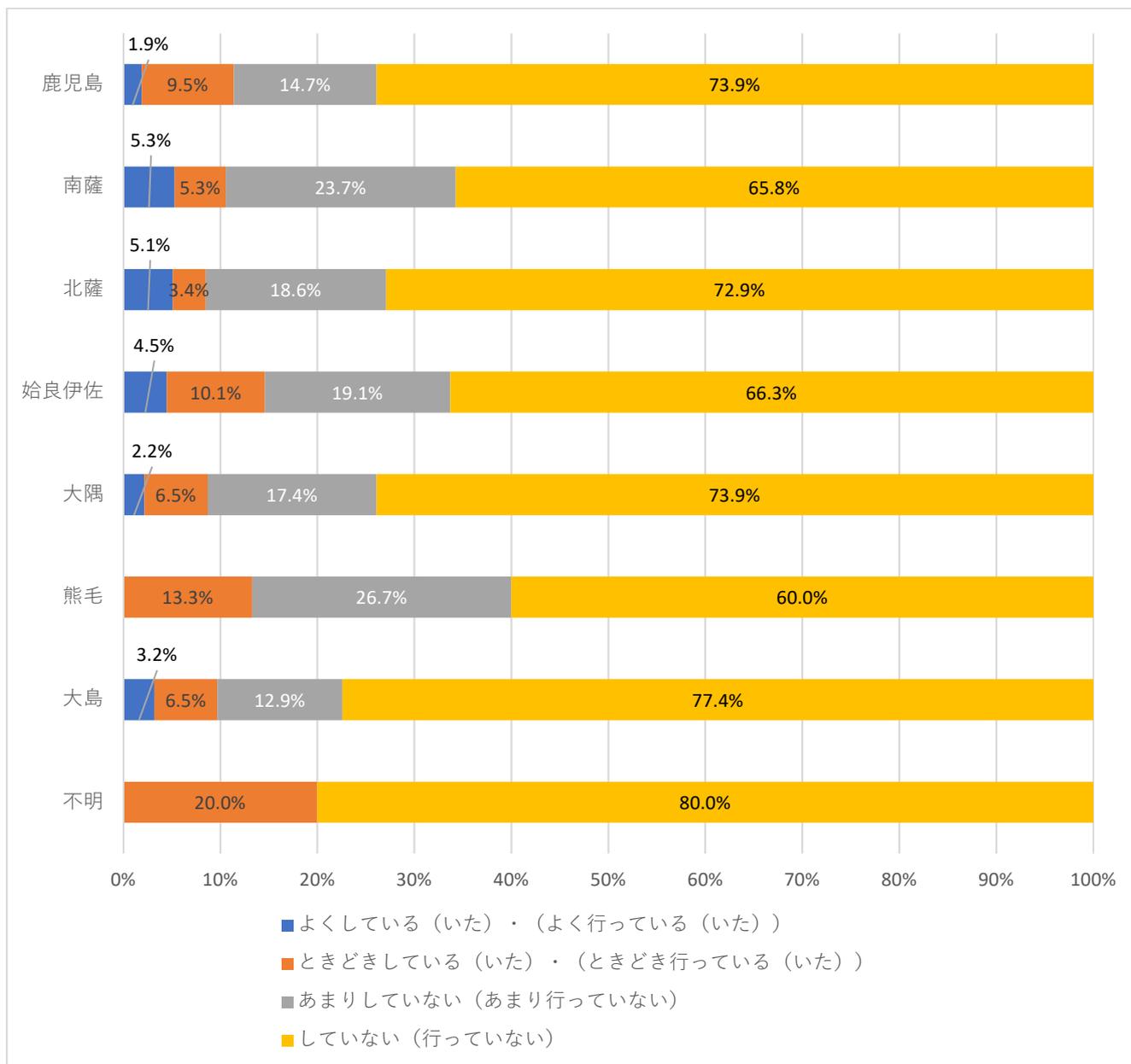


図 2-2-40 「図書館、公民館に行く」と圏域との関係

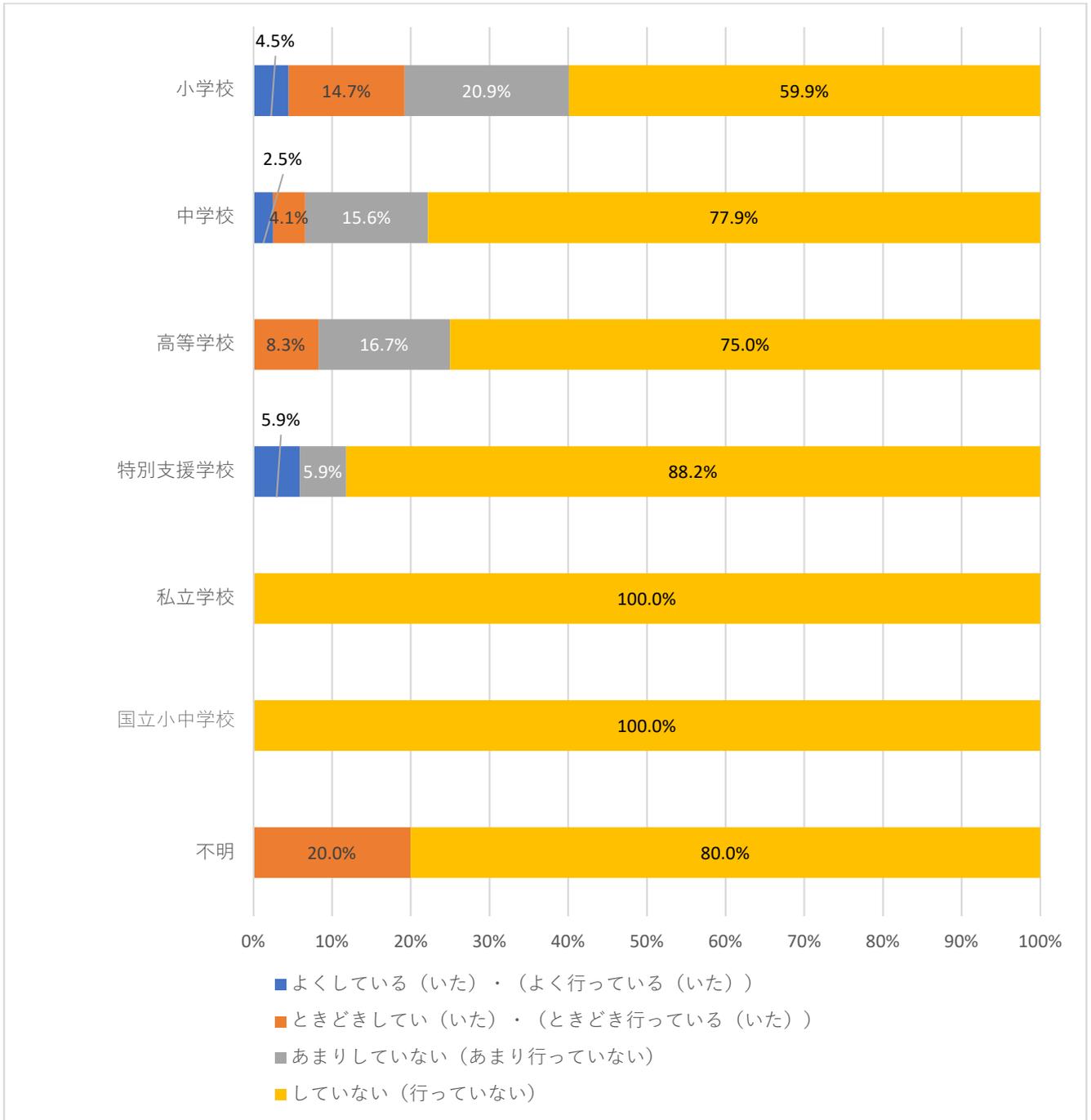


図 2-2-41 「図書館、公民館に行く」と校種との関係

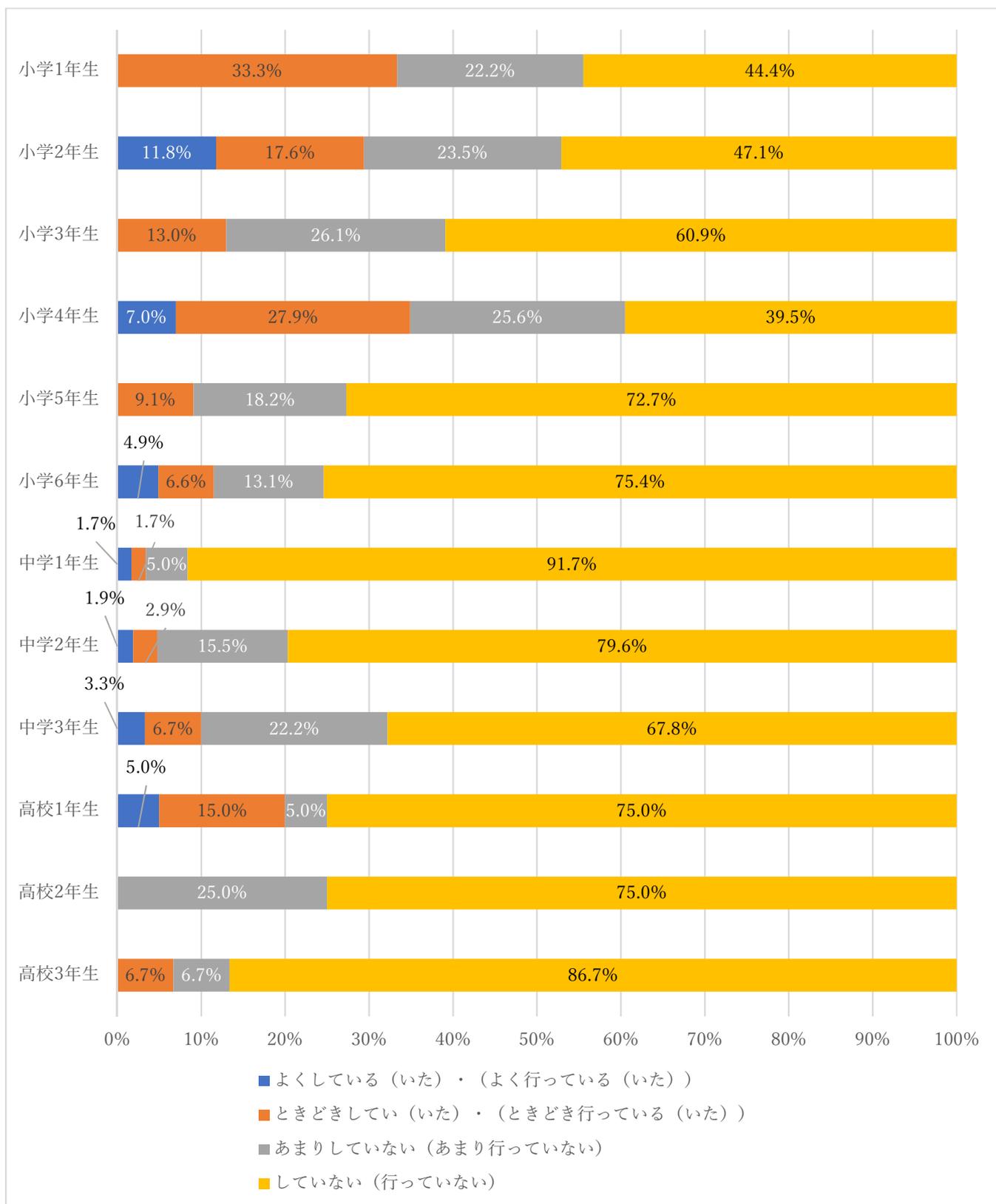


図 2-2-42 「図書館、公民館に行く」と学年との関係

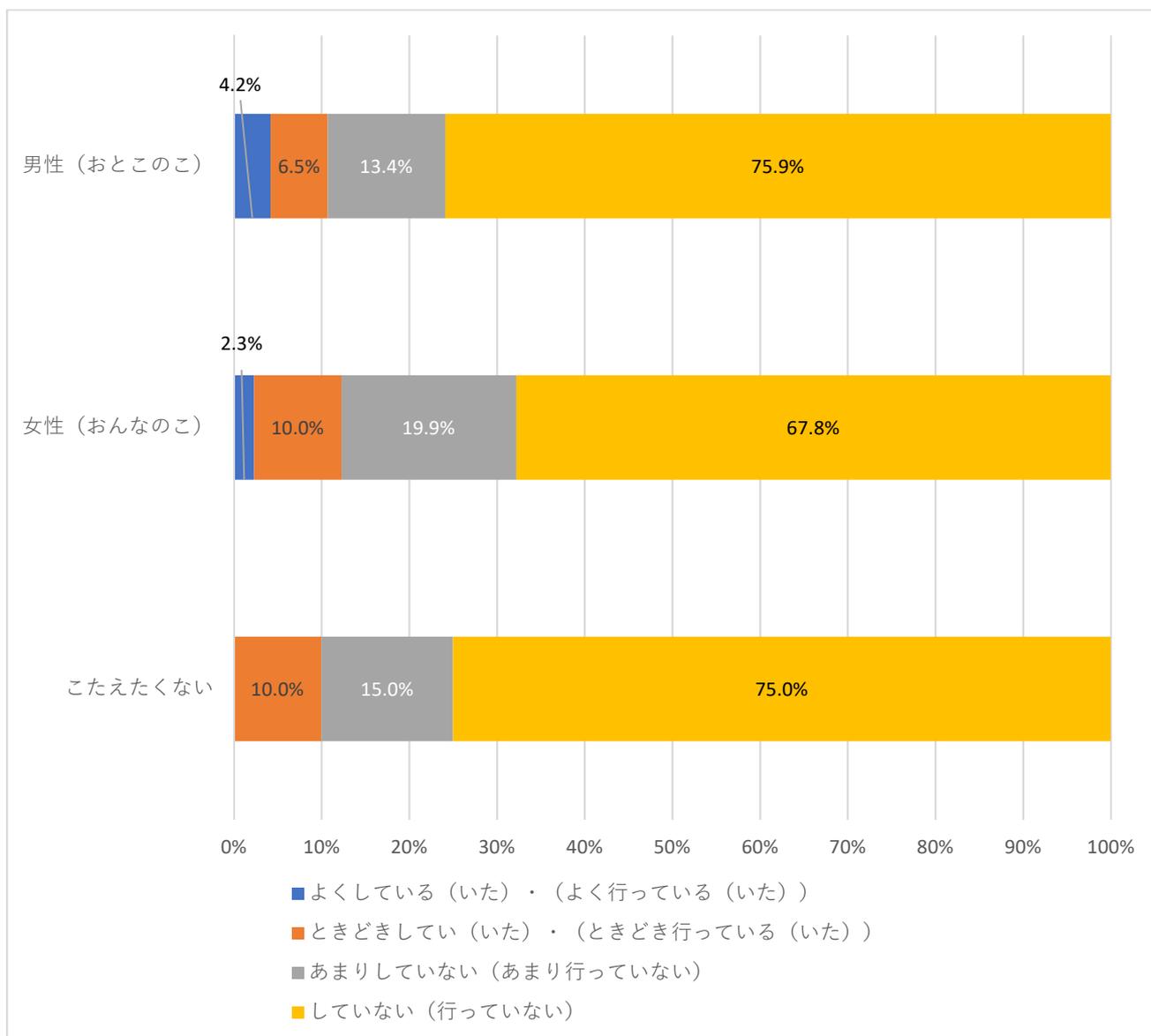


図 2-2-43 「図書館、公民館に行く」と性別との関係

サ「病院に行く」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、概ね病院を利用していない様子が伺えた。ただし、高校と特別支援については特徴が見られ、病院受診を受けている様子が伺えた。

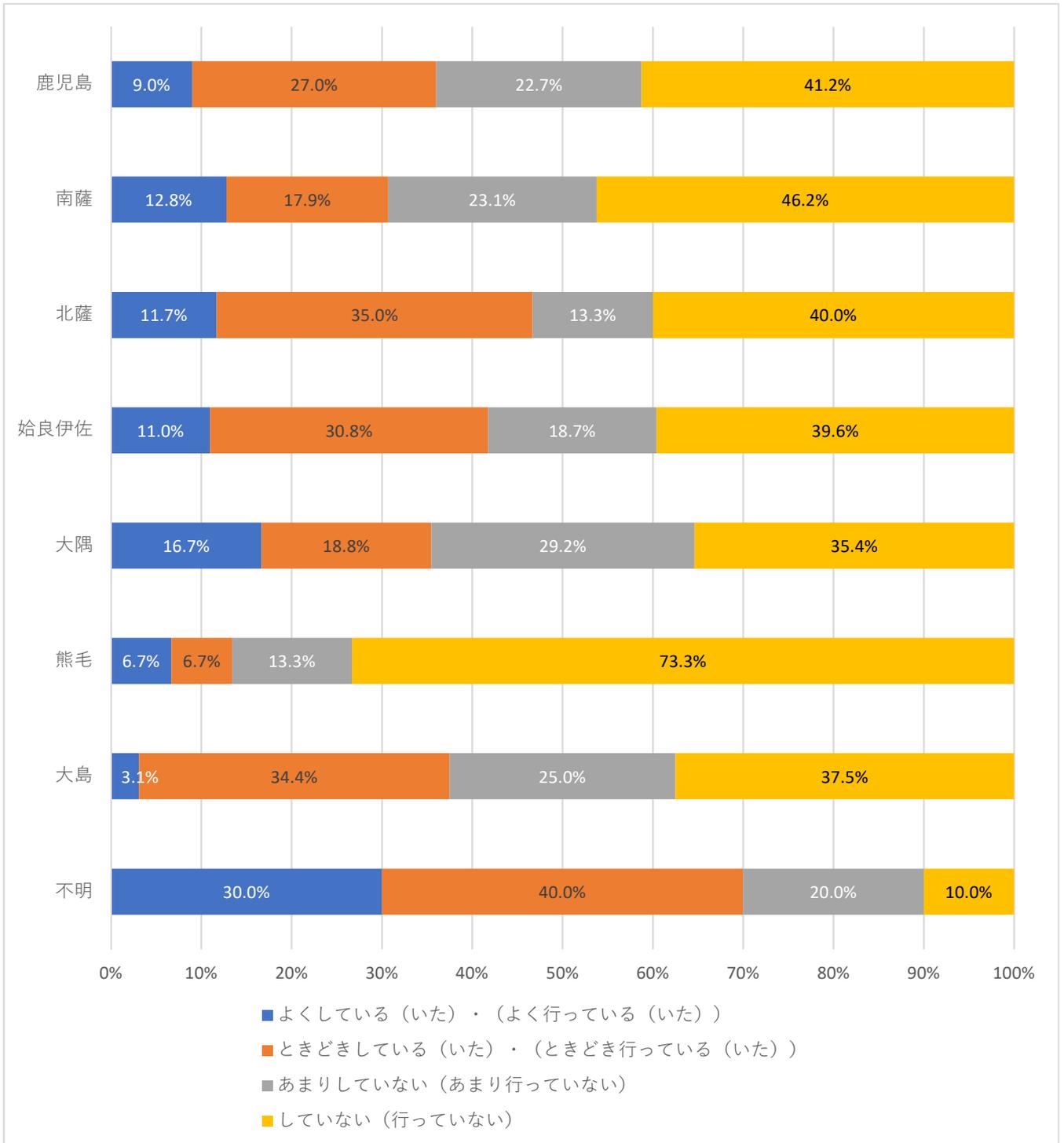


図 2-2-44 「病院に行く」と圏域との関係

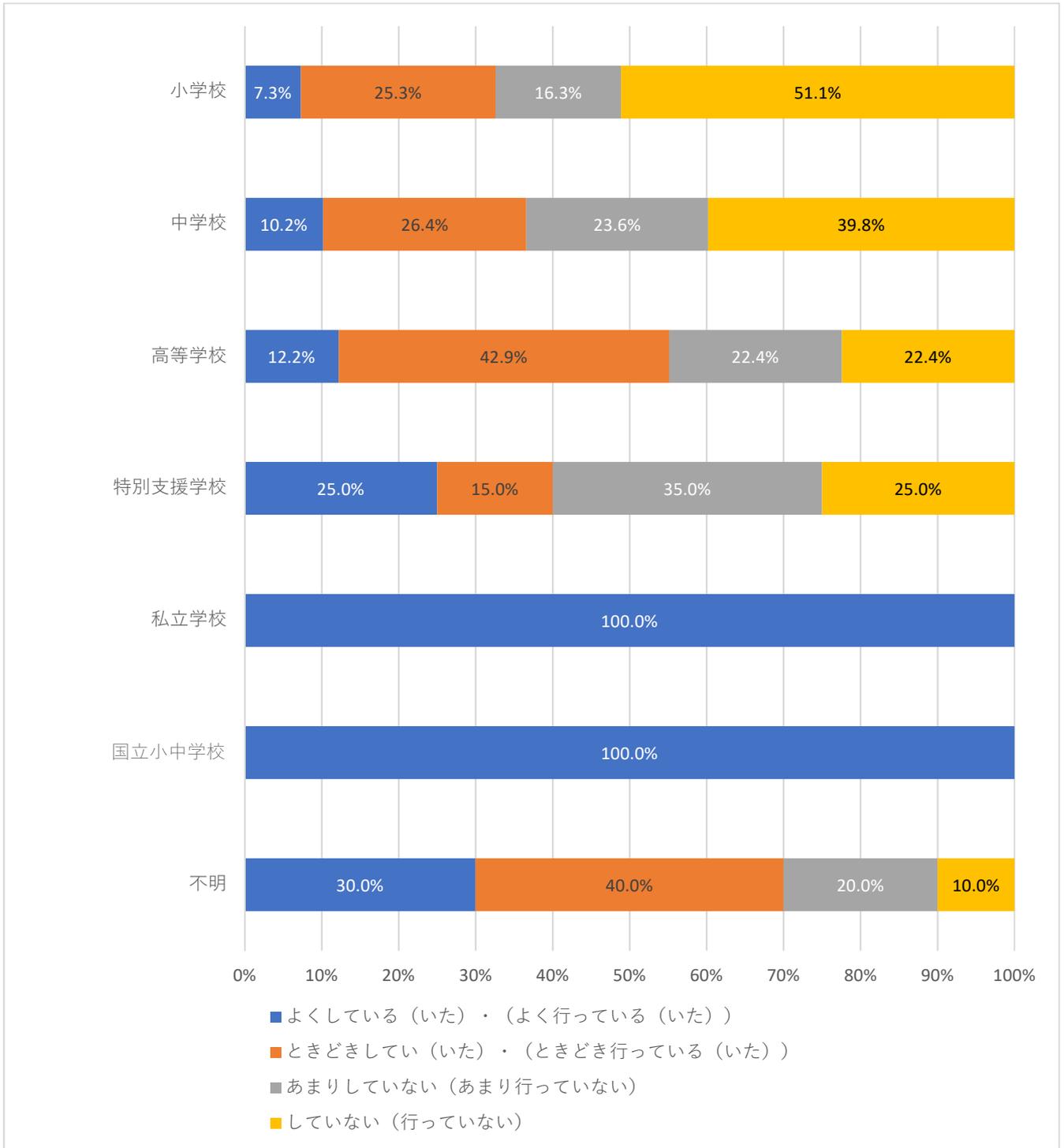


図 2-2-45 「病院に行く」と校種との関係

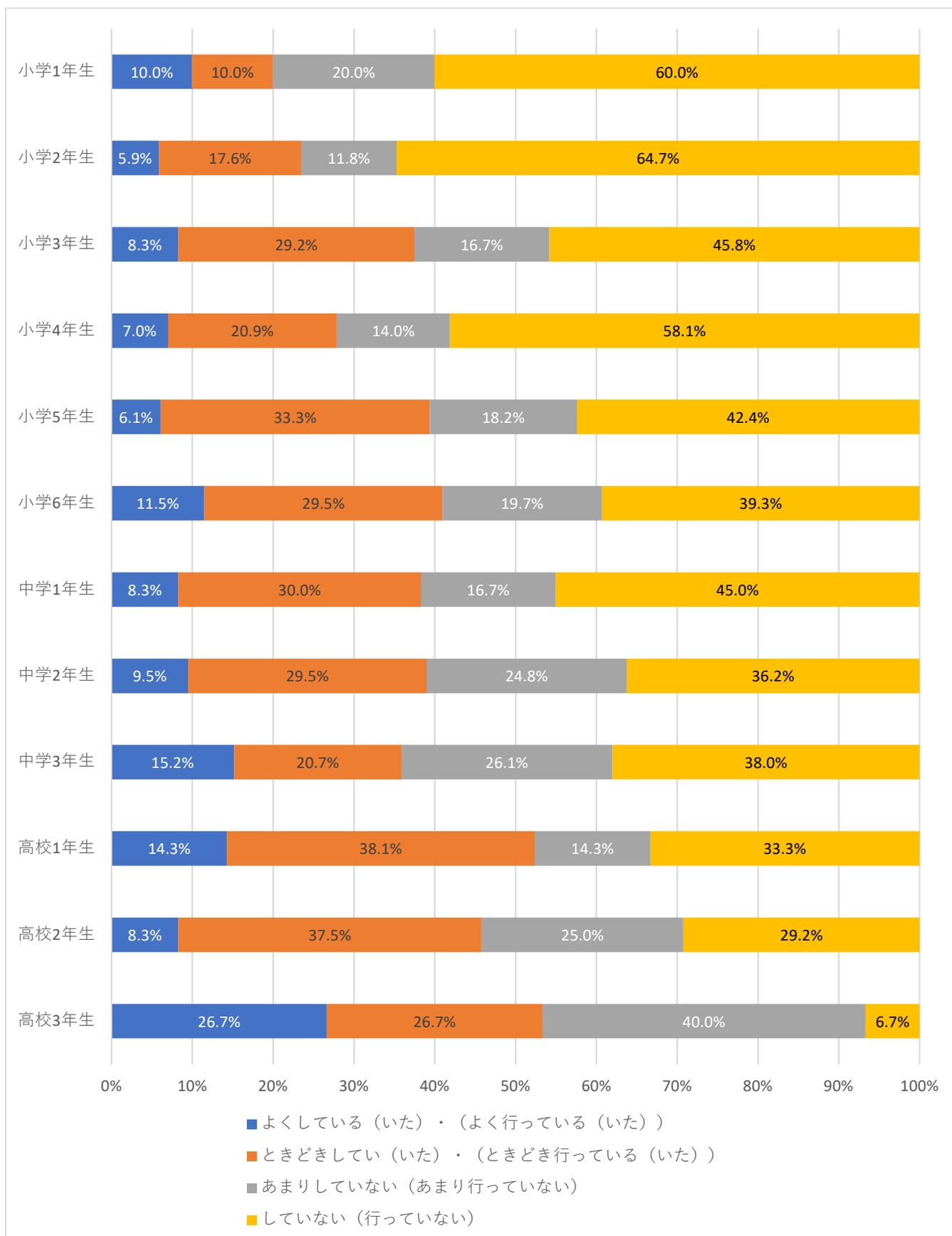


図 2-2-46 「病院に行く」と学年との関係

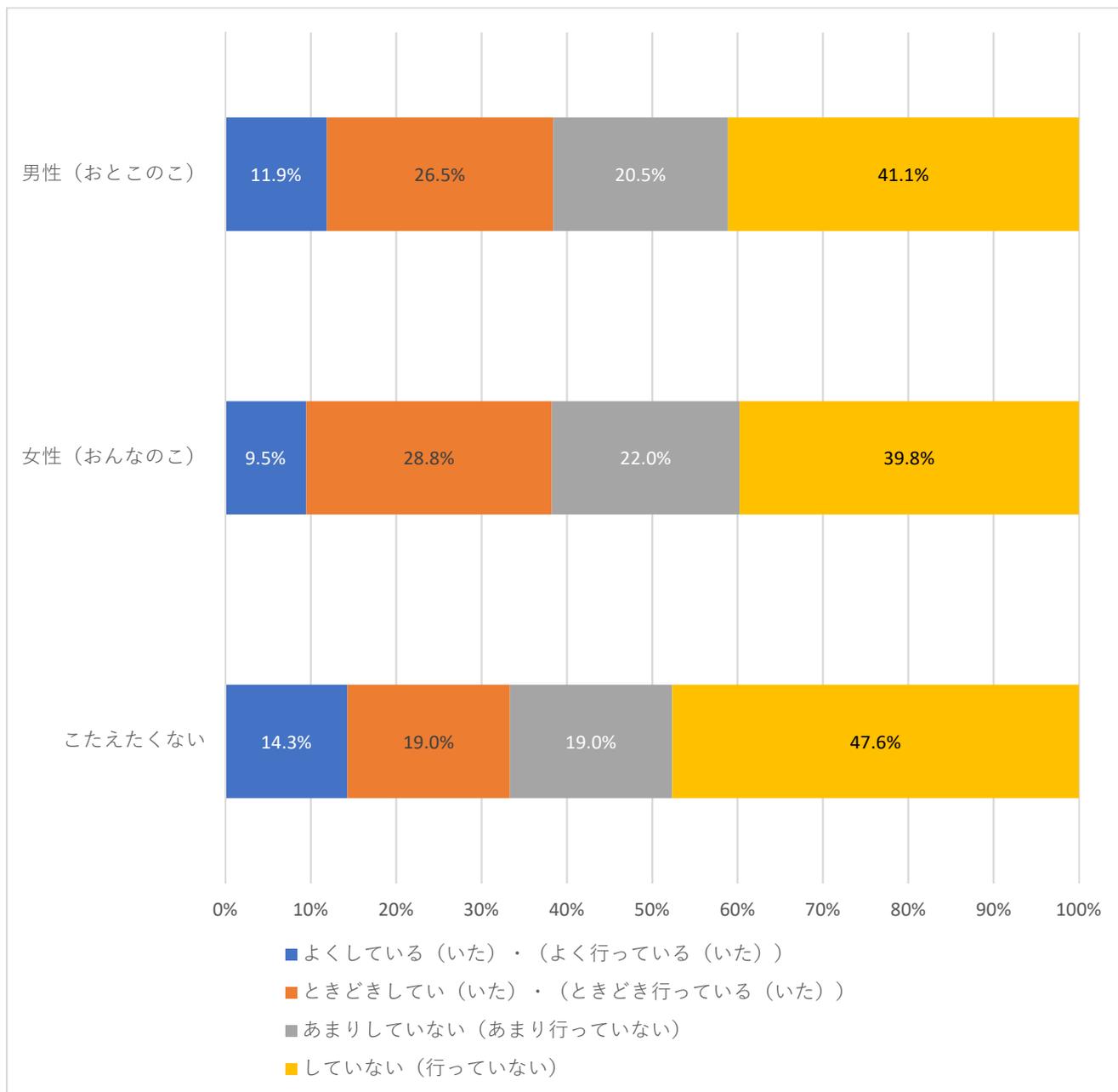


図 2-2-47 「病院に行く」と性別との関係

シ「教育支援センター」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、教育支援センターが広く利用されている状態ではない様子が伺えた。

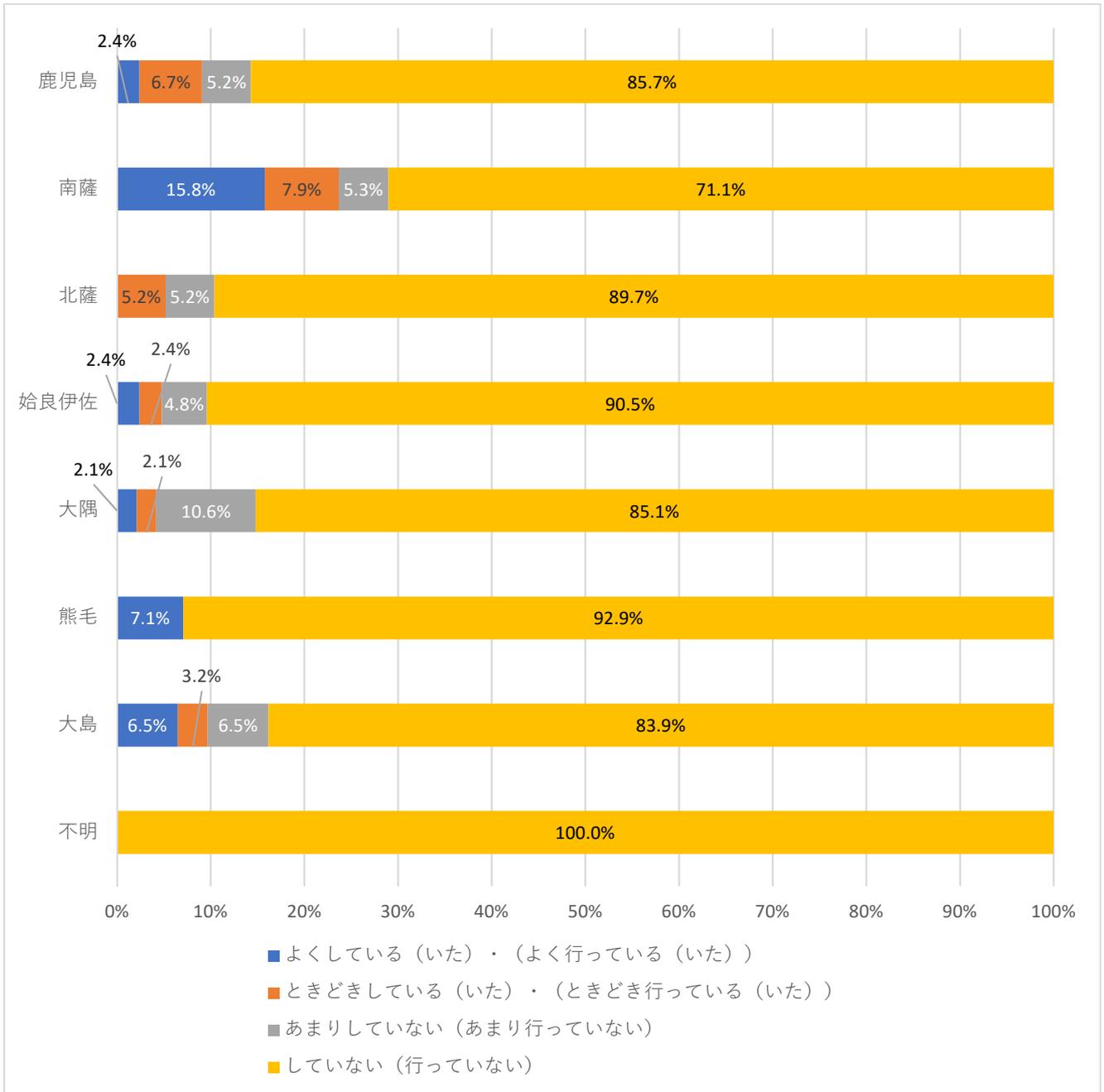


図 2-2-48 「教育支援センター」と圏域との関係

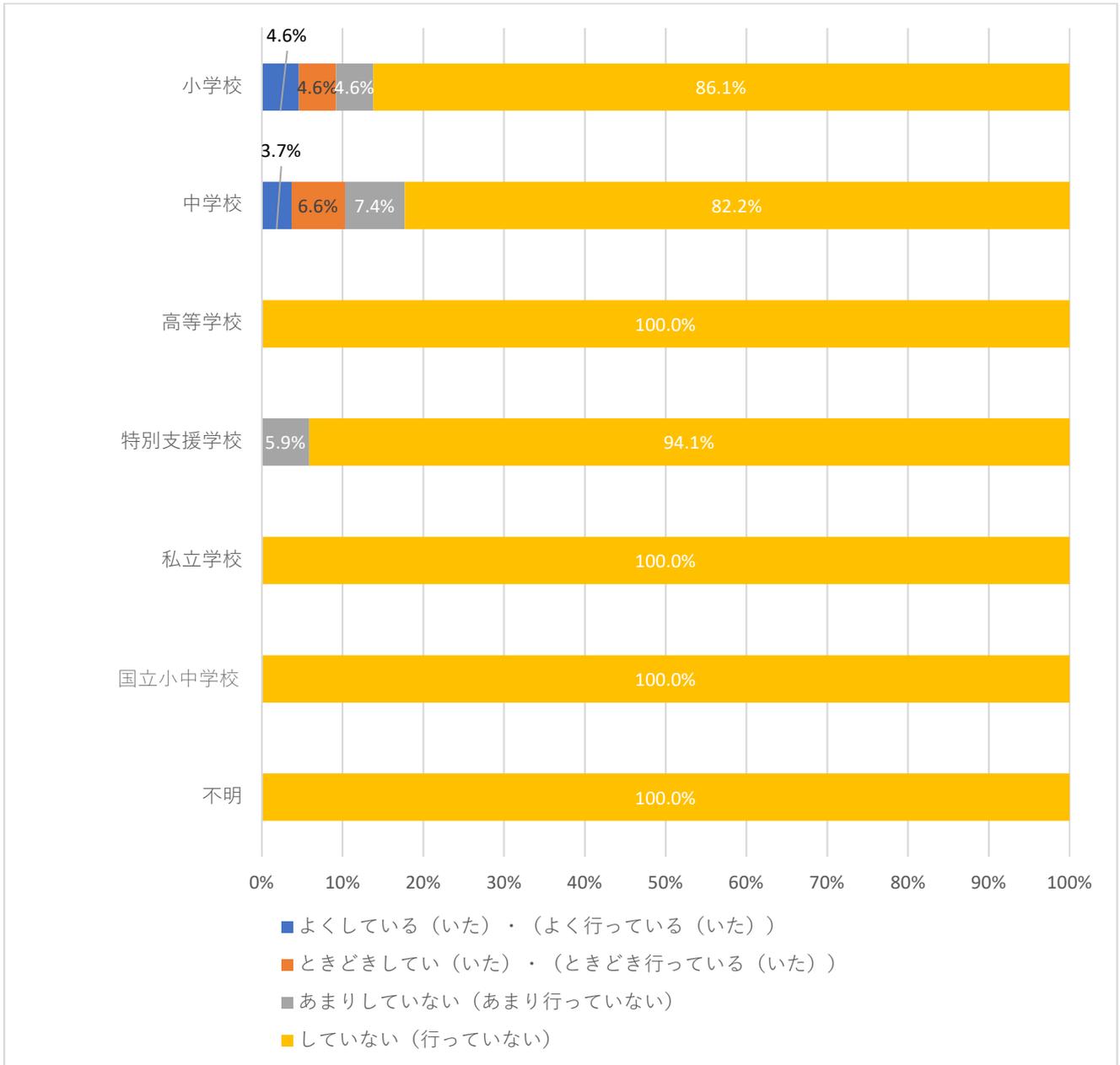


図 2-2-49 「教育支援センター」と校種との関係

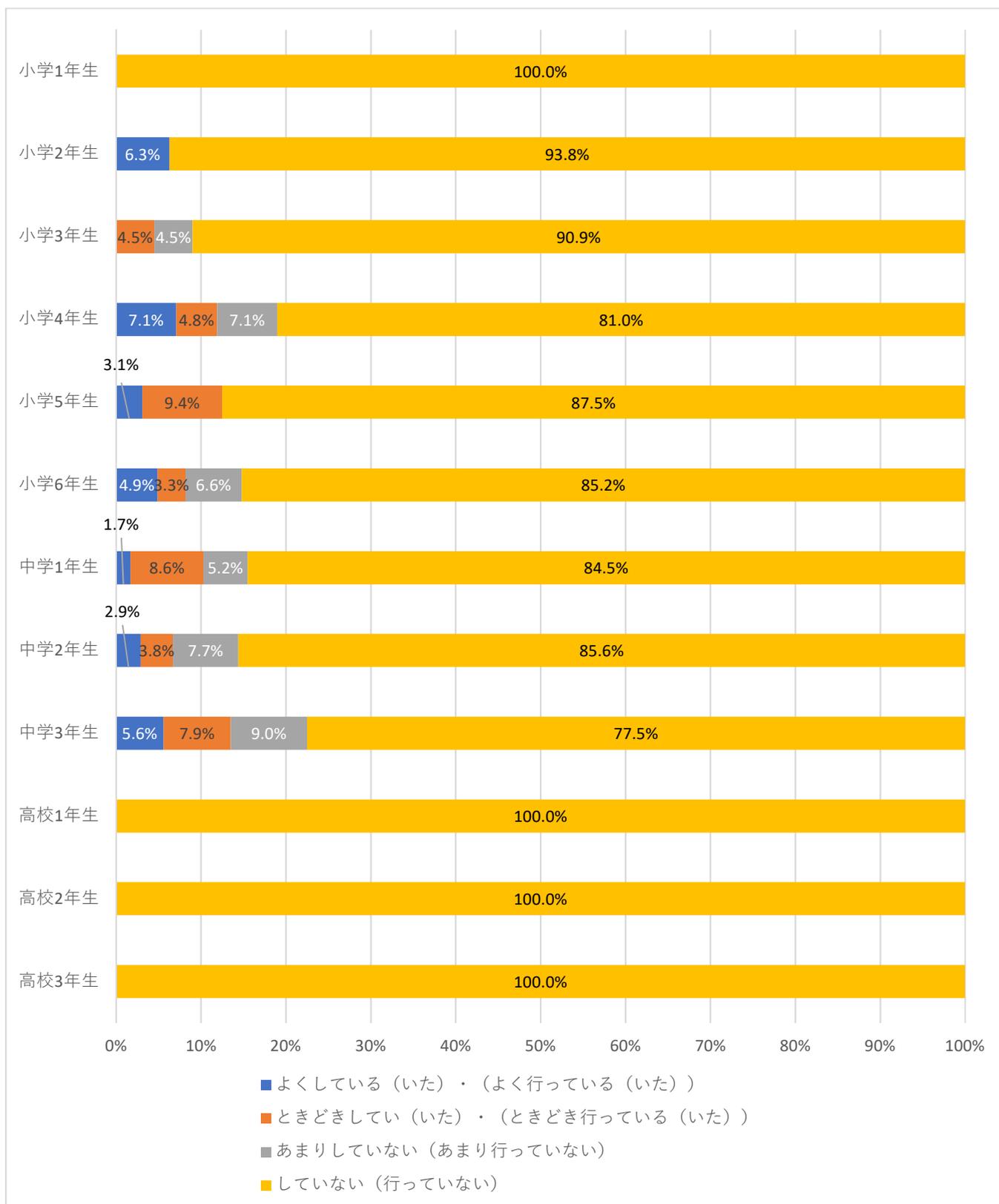


図 2-2-50 「教育支援センター」と学年との関係

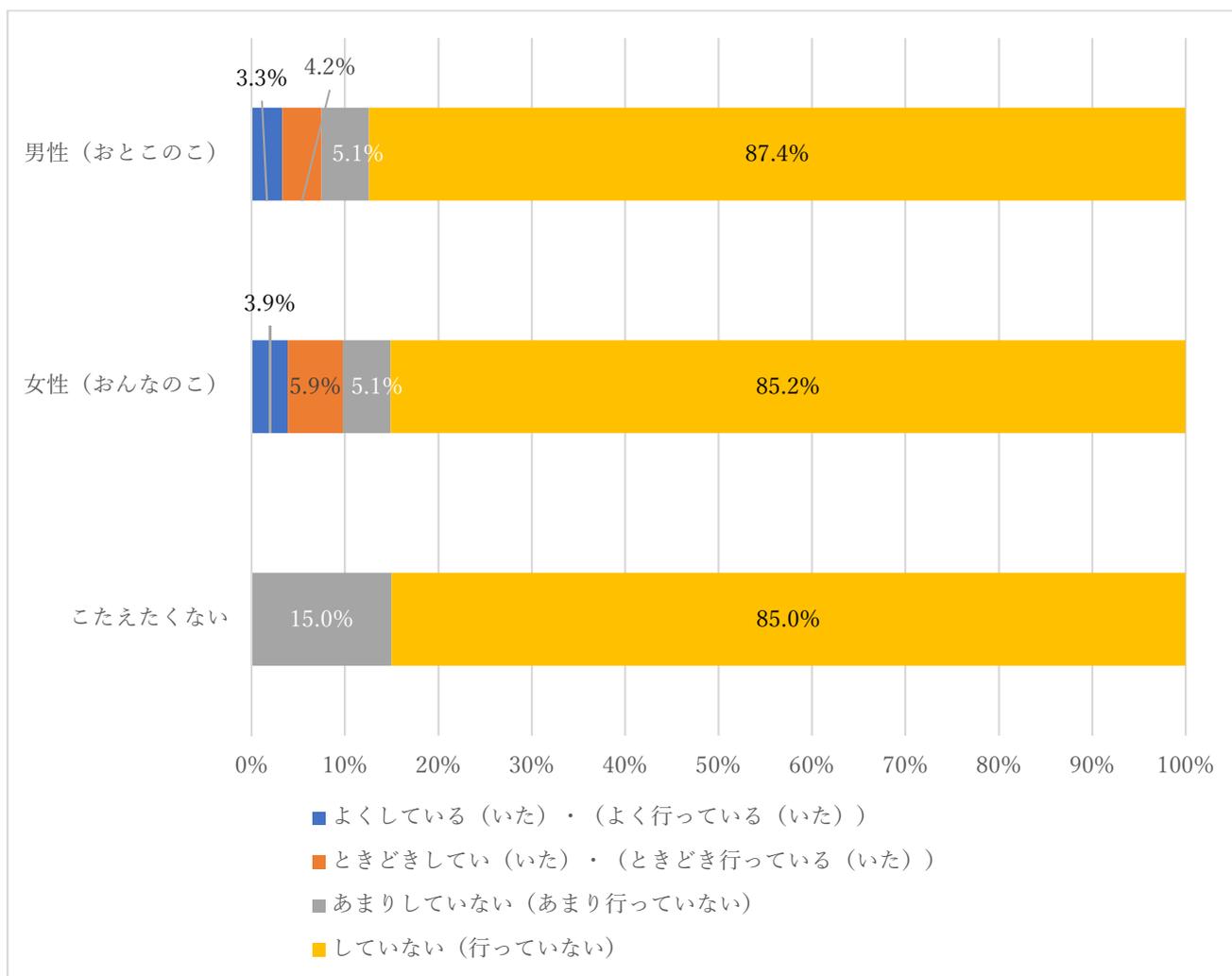


図 2-2-51 「教育支援センター」と性別との関係

ス「子ども食堂」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、子ども食堂が広く利用されている状態ではない様子が伺えた。

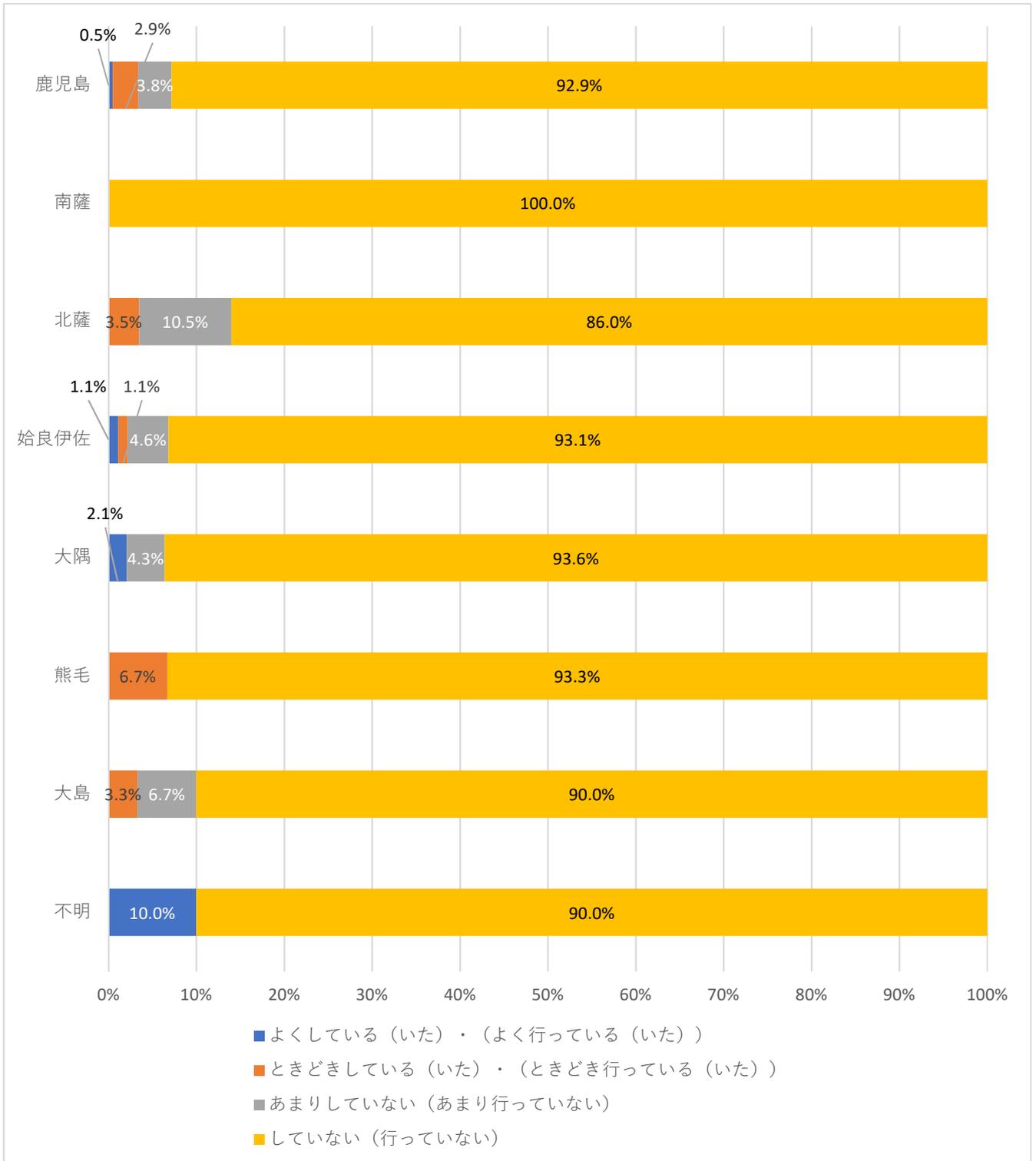


図 2-2-52 「子ども食堂」と圏域との関係

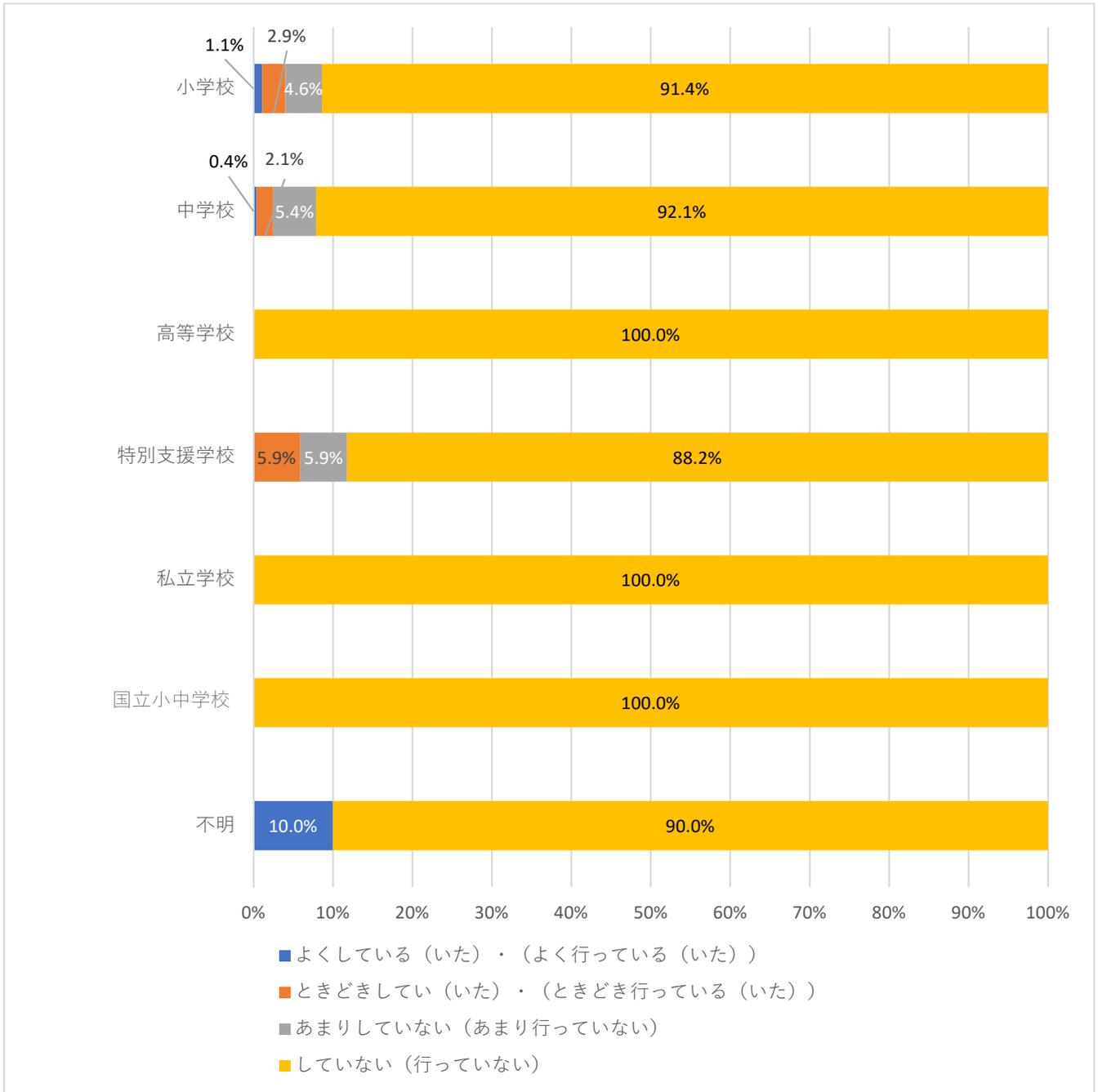


図 2-2-53 「子ども食堂」と校種との関係

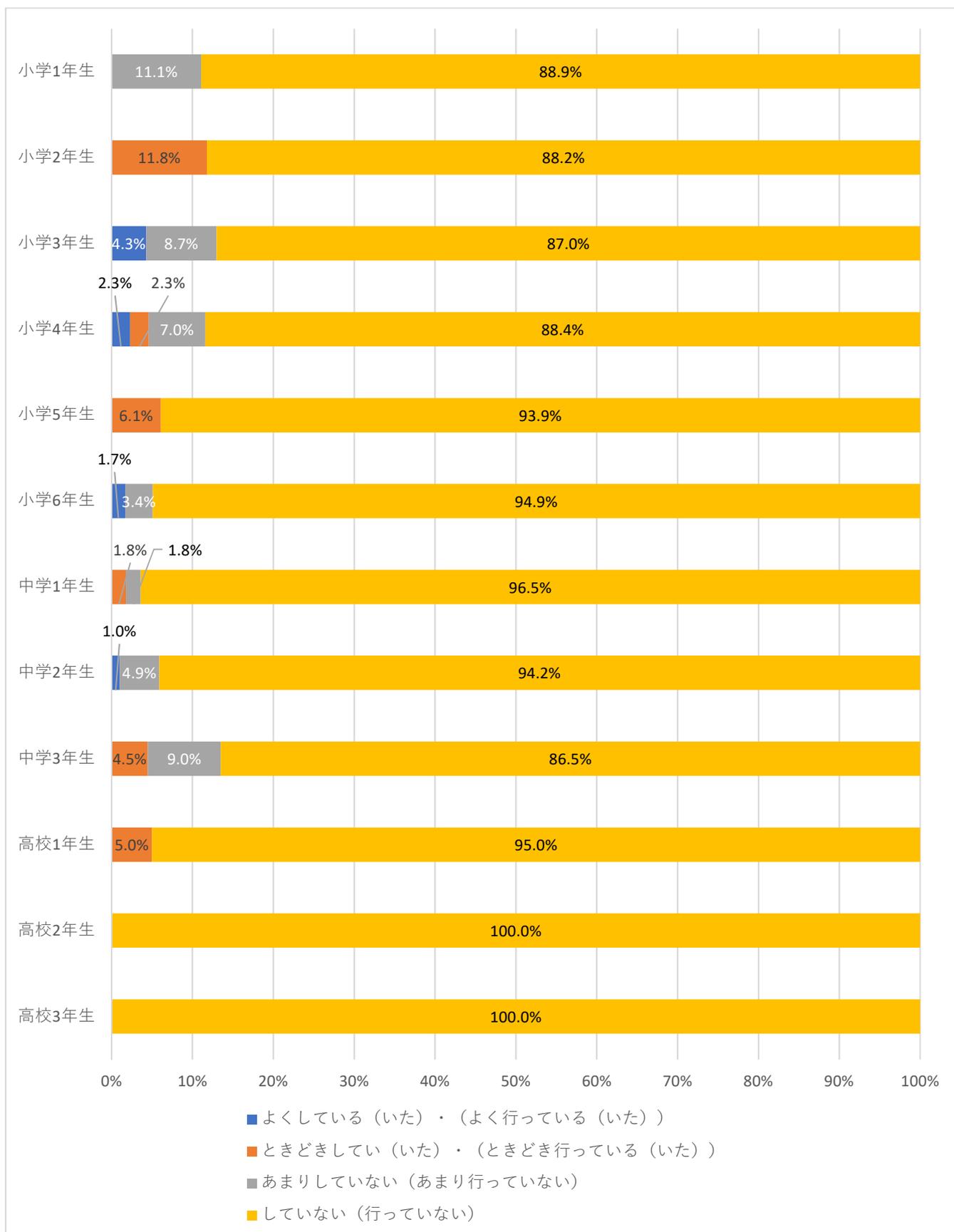


図 2-2-54 「子ども食堂」と学年との関係

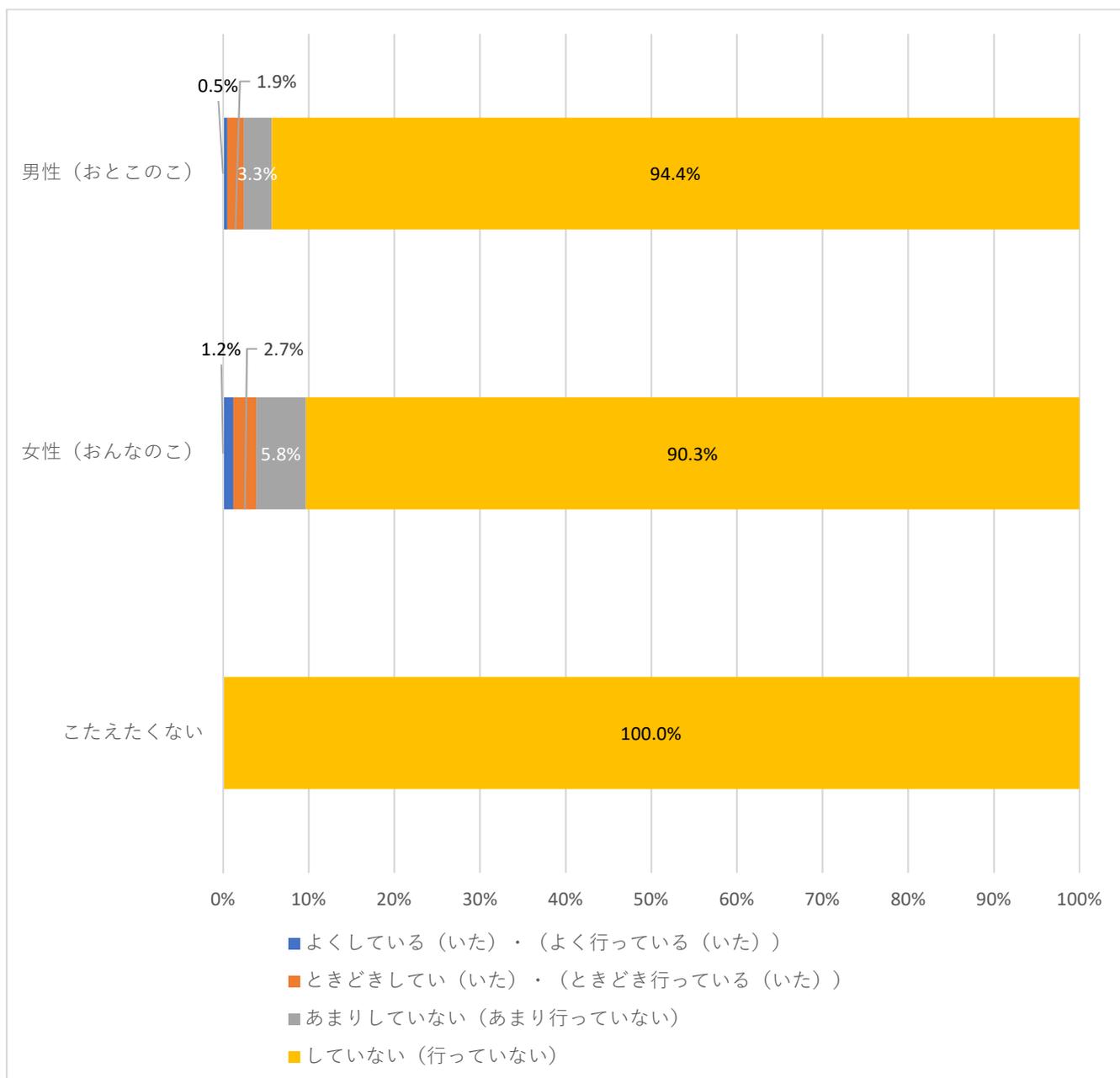


図 2-2-55 「子ども食堂」と性別との関係

セ「フリースクールや放課後等デイサービスに行く」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、フリースクールや放課後等デイサービスが一定程度利用されている状態である様子が伺えた。

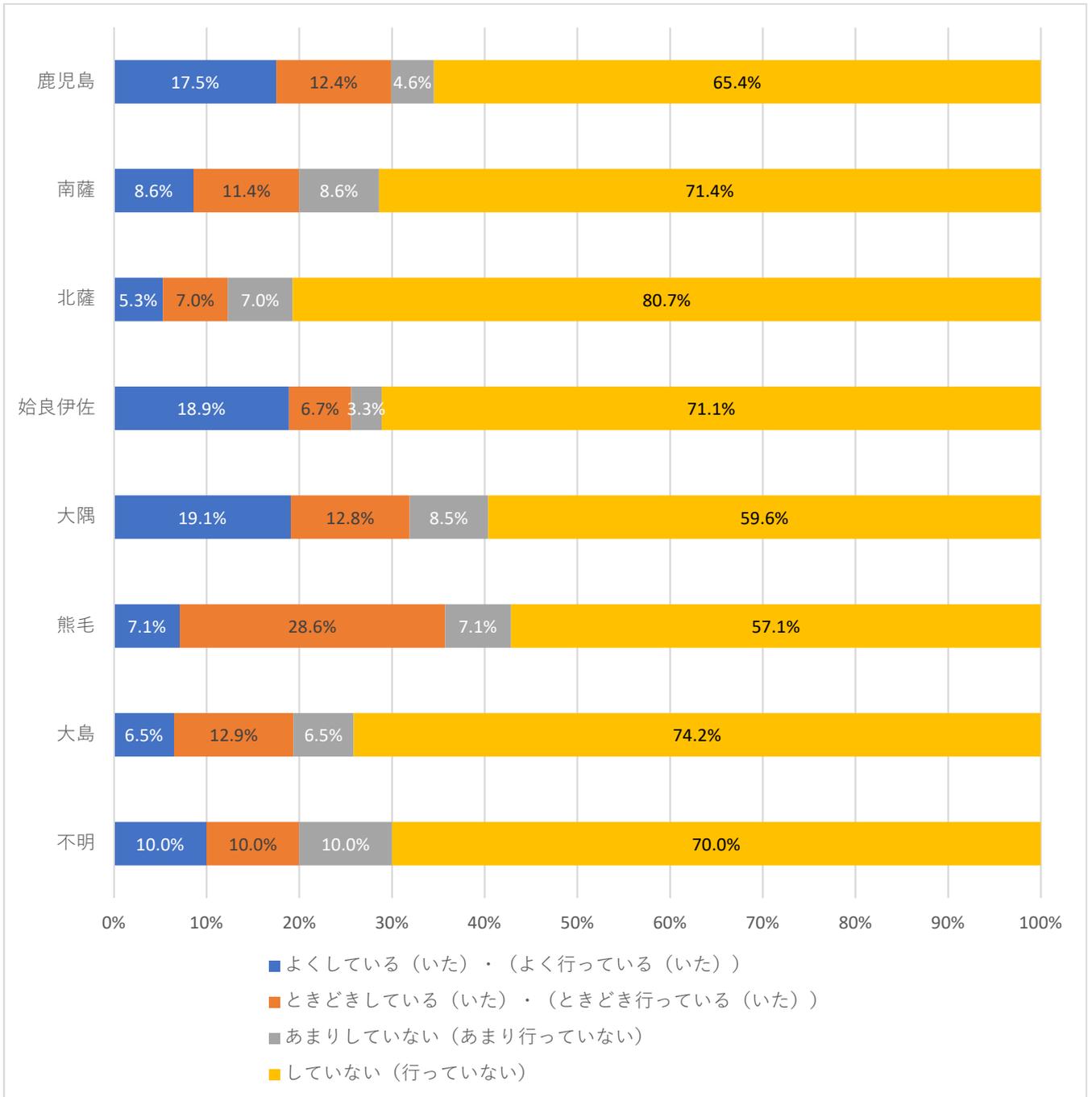


図 2-2-56 「フリースクールや放課後等デイサービスに行く」と圏域との関係

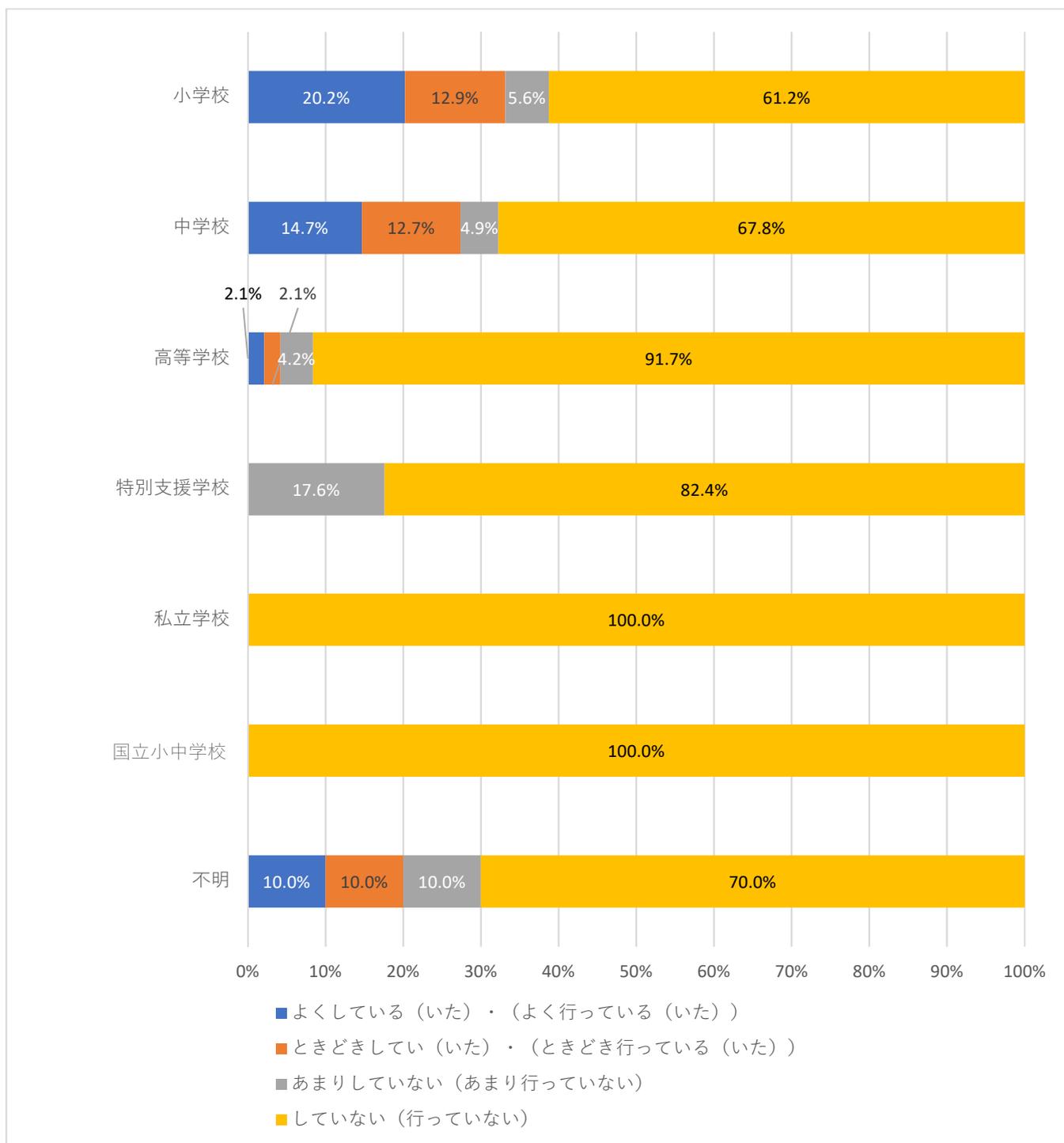


図 2-2-57 「フリースクールや放課後等デイサービスに行く」と校種との関係

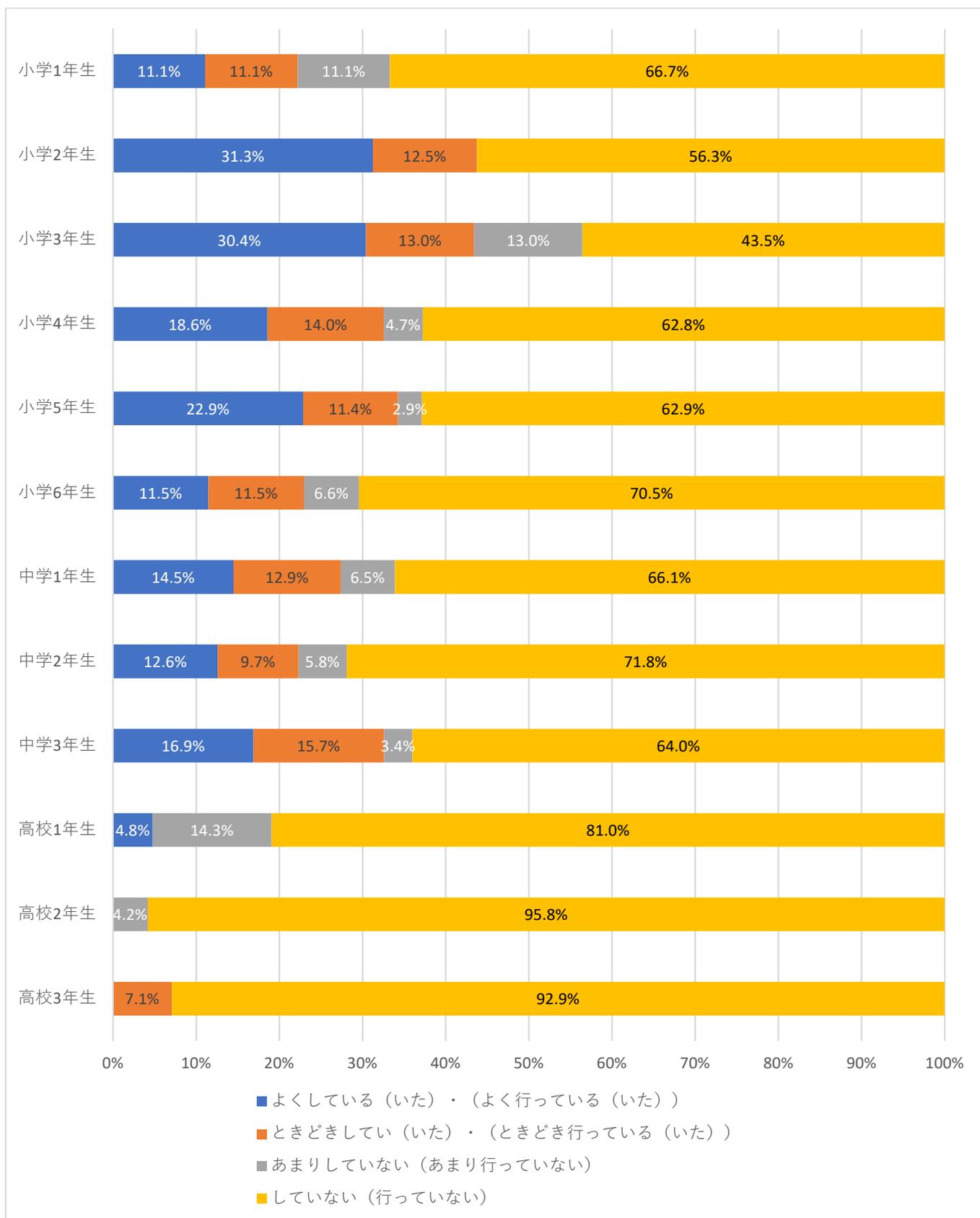


図 2-2-58 「フリースクールや放課後等デイサービスに行く」と学年との関係

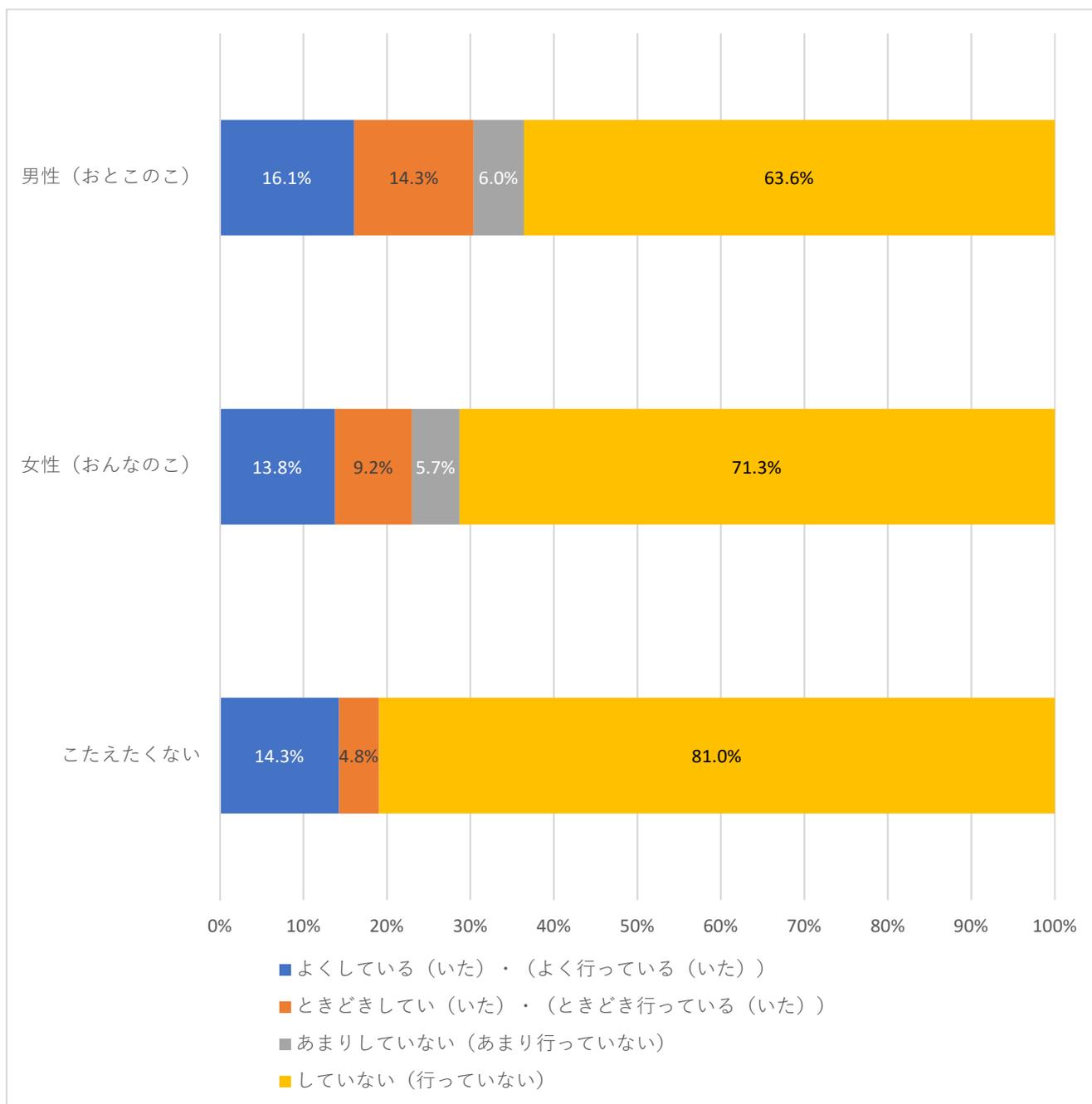


図 2-2-59 「フリースクールや放課後等デイサービスに行く」と性別との関係

問 3-2 「フリースクールや放課後等デイサービスはあなたにとってどんな居場所ですか？」について

ここでは、質問紙の1から8までの個別の項目を基本属性ごとにクロス集計を行った。基本属性については、児童生徒の心情を問う質問項目であったことから、主として校種、学年、性別の属性を活用した。

1 「ここはなじみやすい」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、特徴のある傾向を見ることは出来なかった。回答者の多くは「思う」、「少し思う」を選択している。

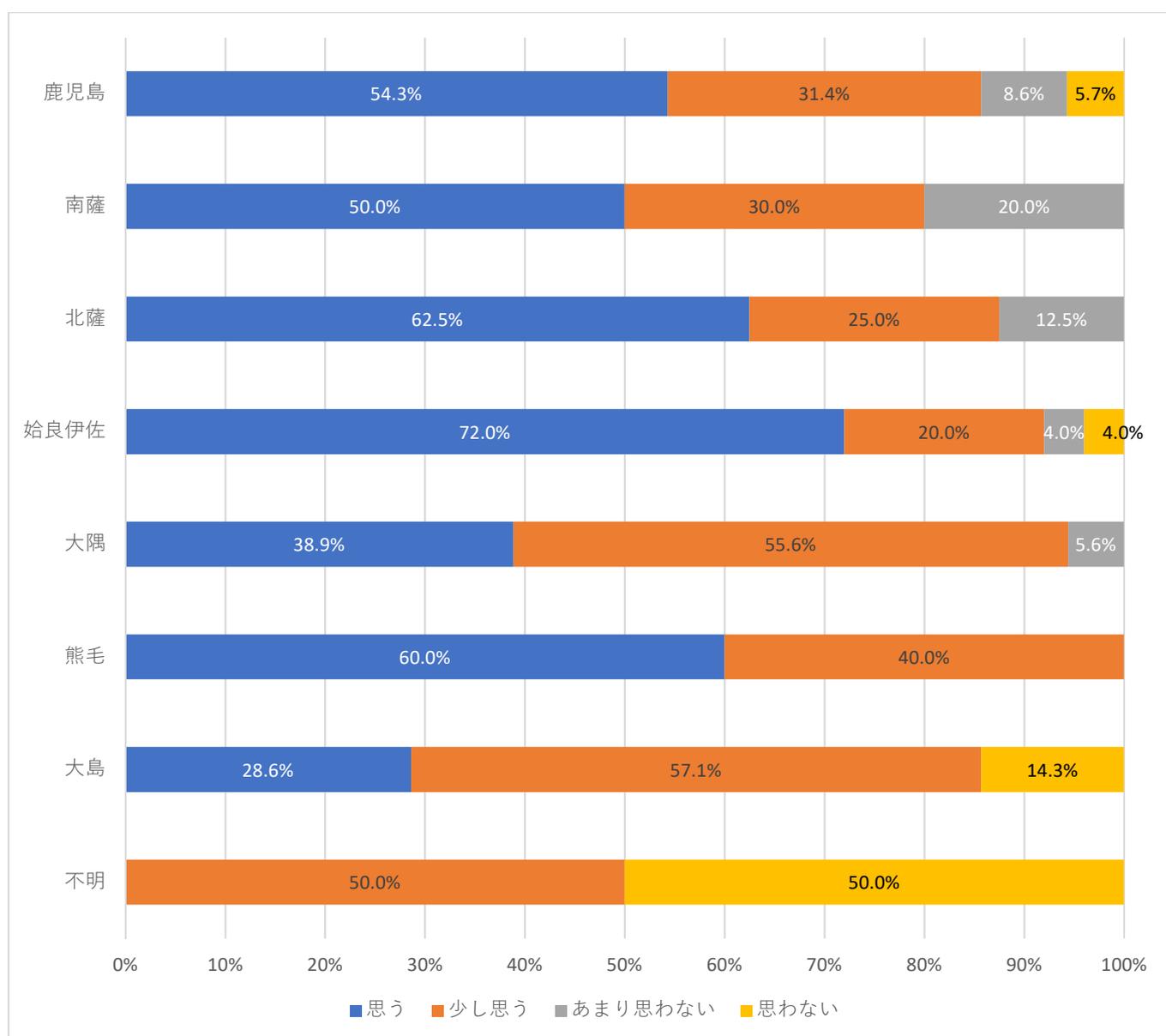


図 2-2-60 「なじみやすい」と圏域との関係

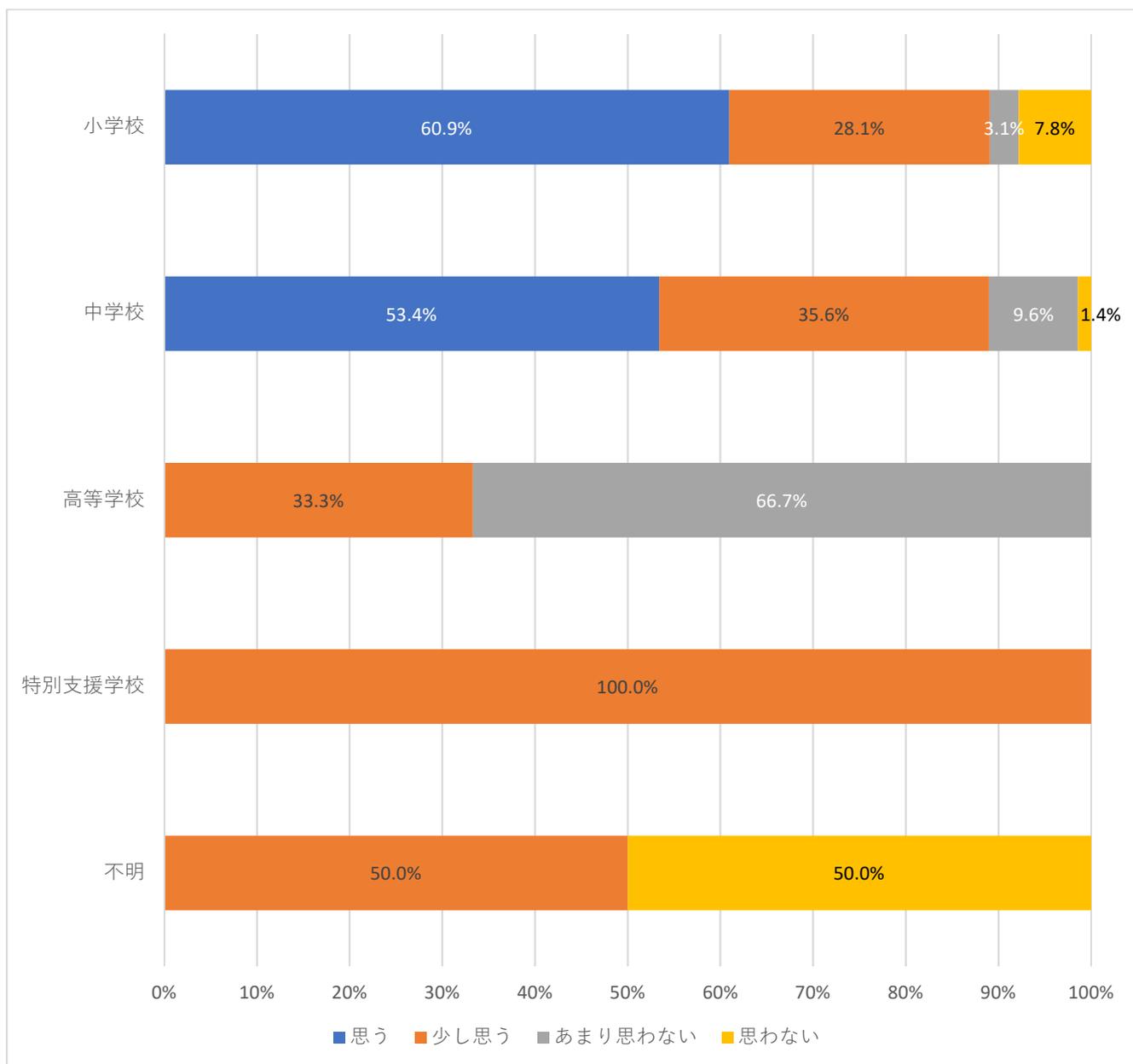


図 2-2-61 「なじみやすい」と校種との関係

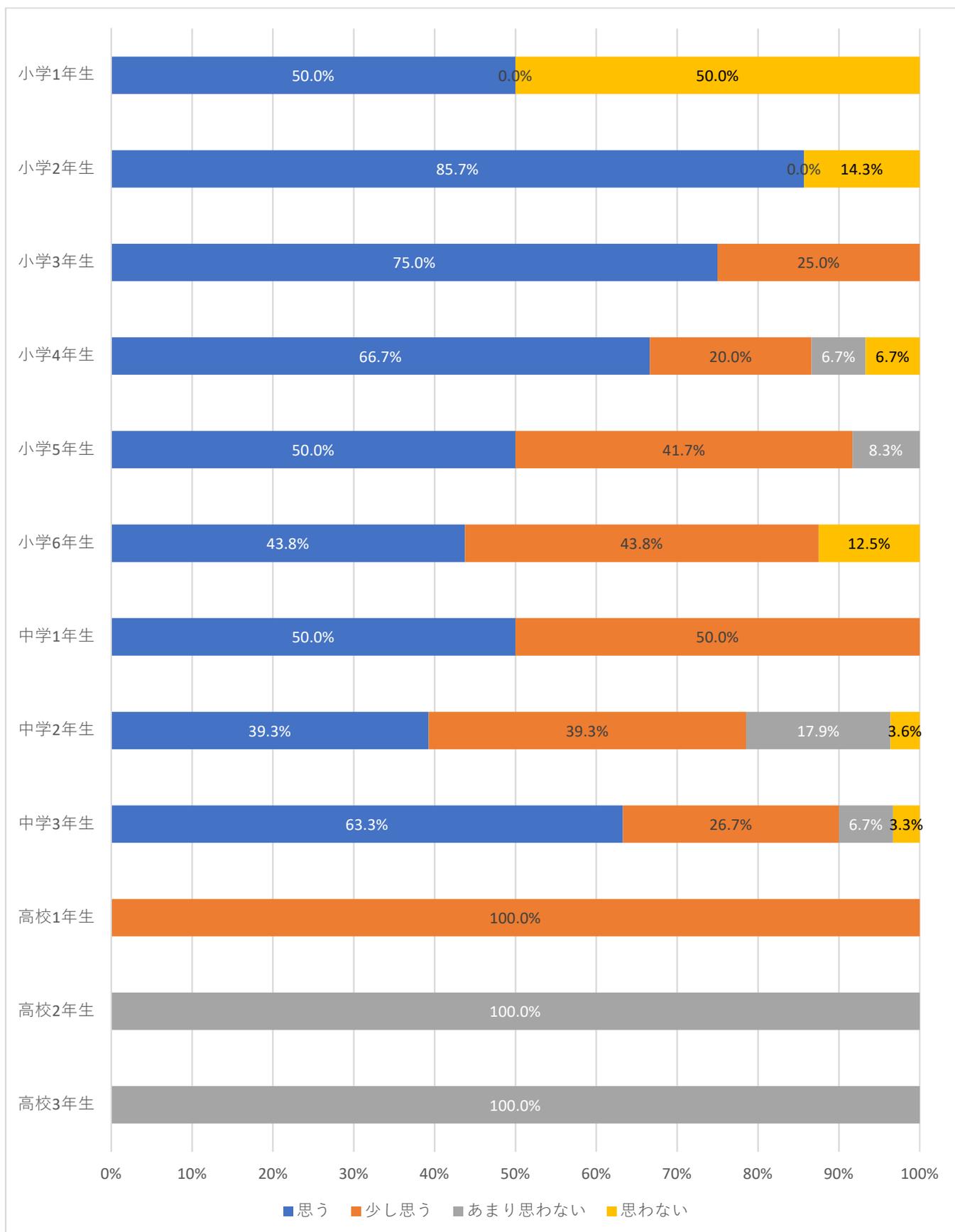


図 2-2-62 「なじみやすい」と学年との関係

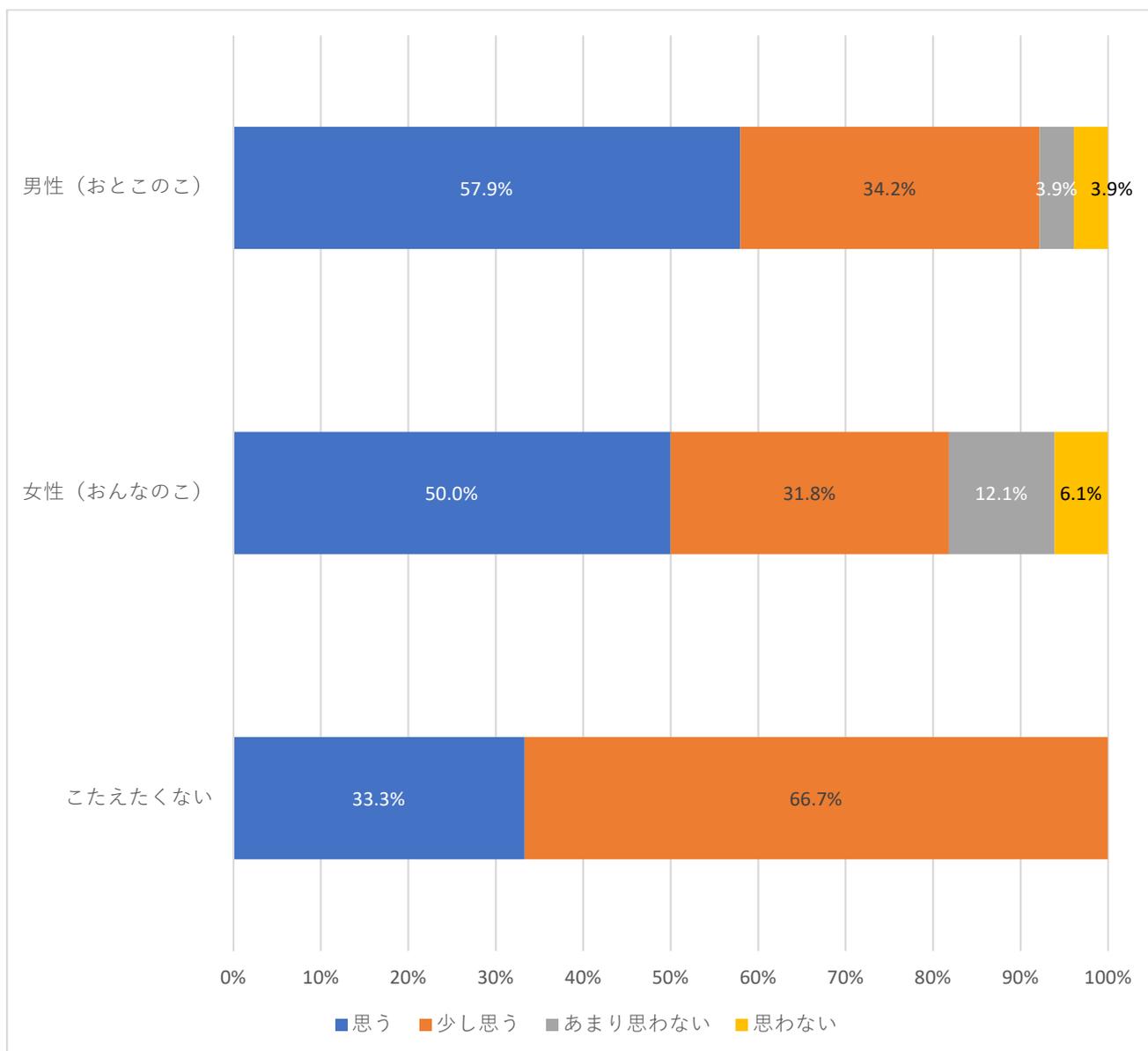


図 2-2-63 「なじみやすい」と性別との関係

2 「自由に話せる雰囲気がある」について

校種のクロス集計において、小学生が特徴的に「思う」と回答している様子が伺える。

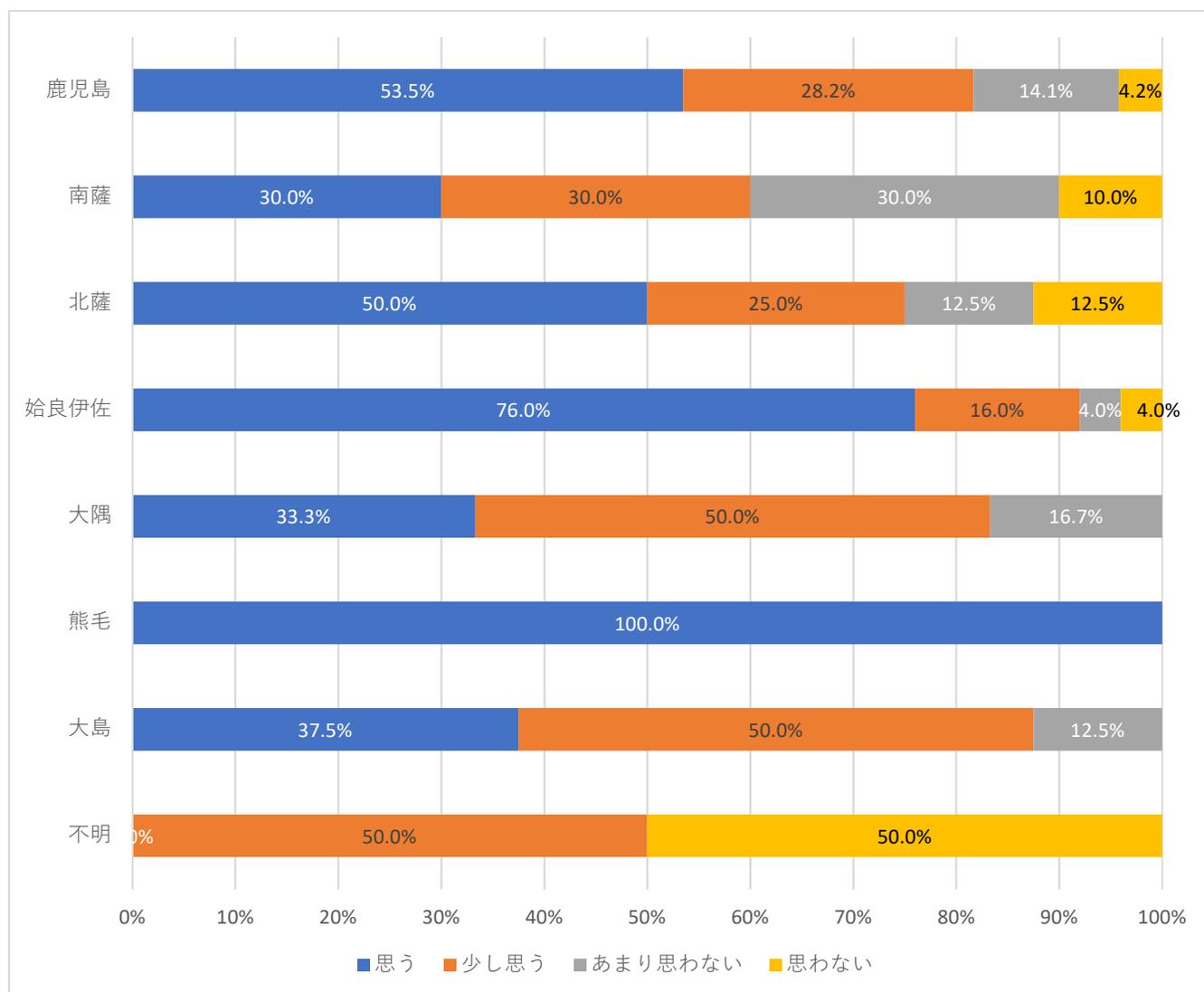


図 2-2-64 「自由に話せる雰囲気」と圏域との関係

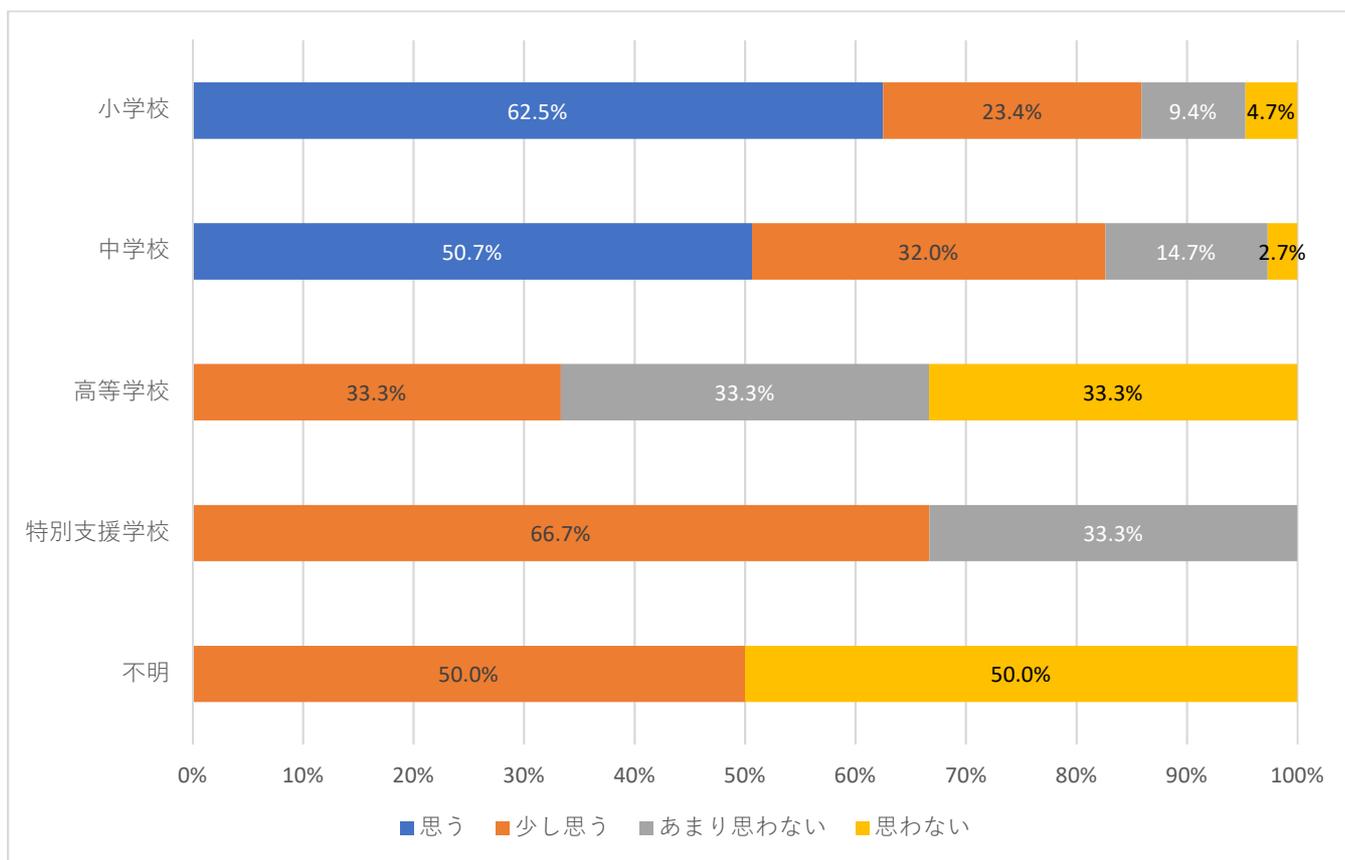


図 2-2-65 「自由に話せる雰囲気」と校種との関係

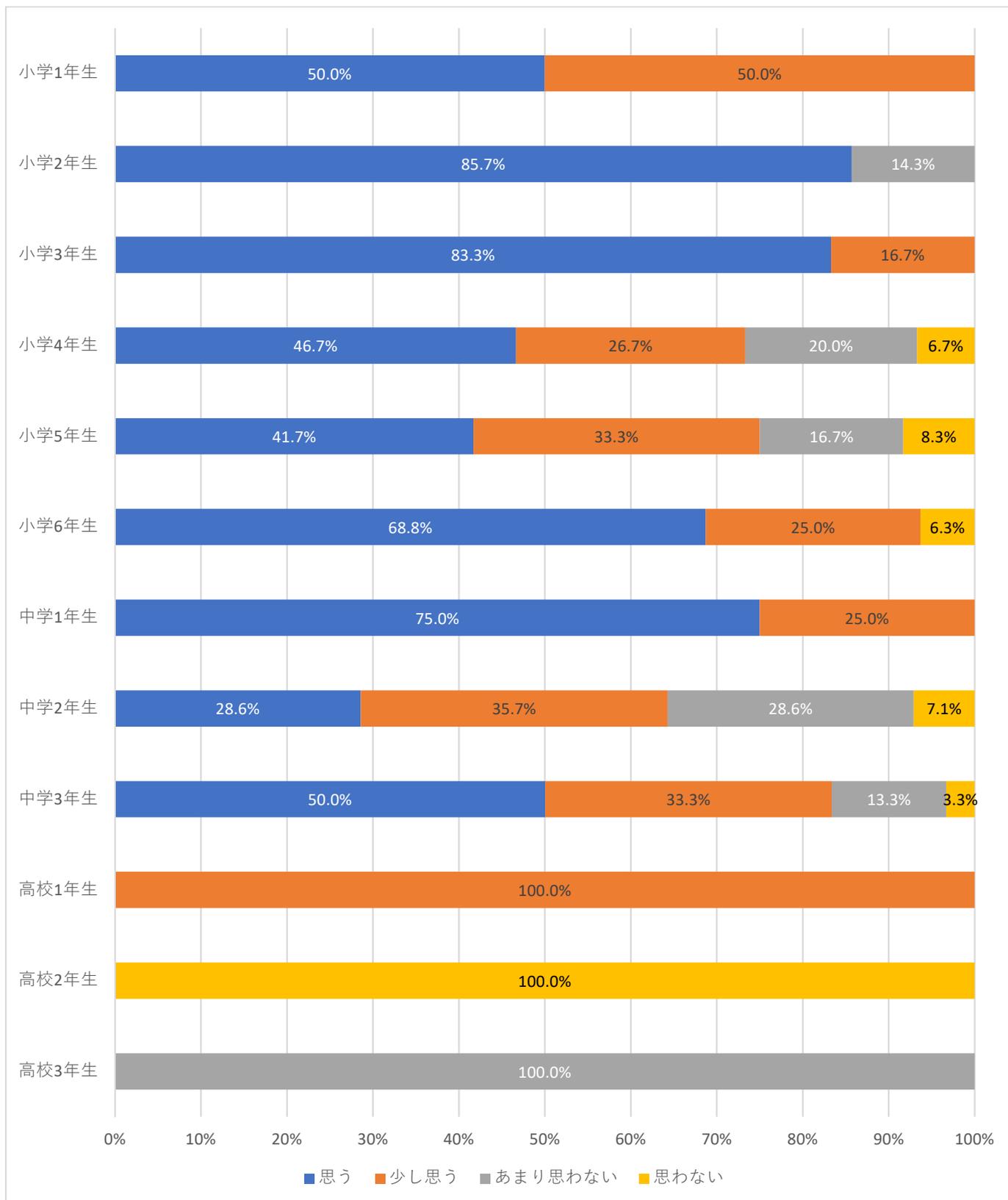


図 2- 2-66 「自由に話せる雰囲気」と学年との関係

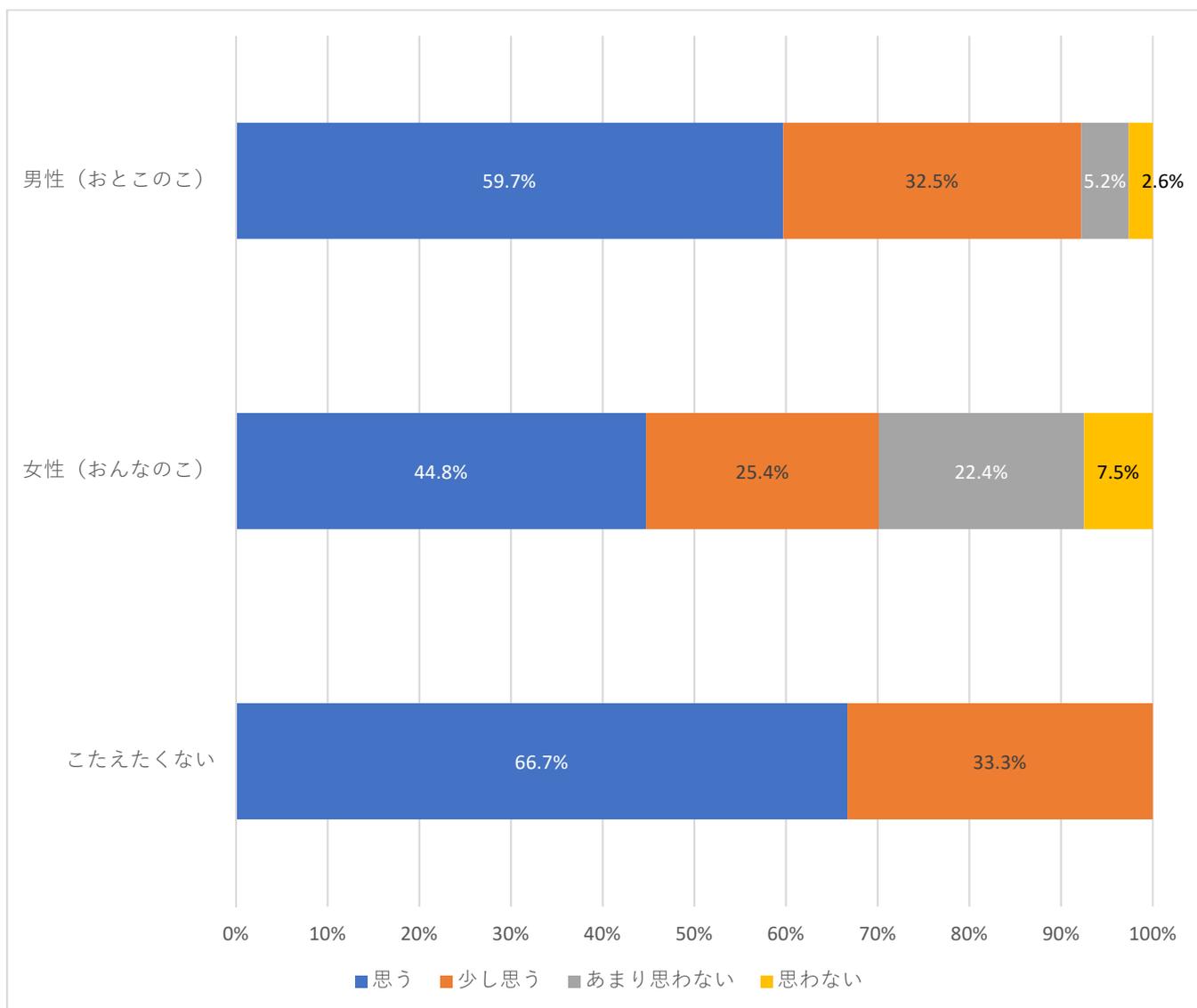


図 2-2-67 「自由に話せる雰囲気」と性別との関係

3 「ゆったりしてられる」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、特徴のある傾向を見ることは出来なかった。回答者の多くは「思う」、「少し思う」を選択している。

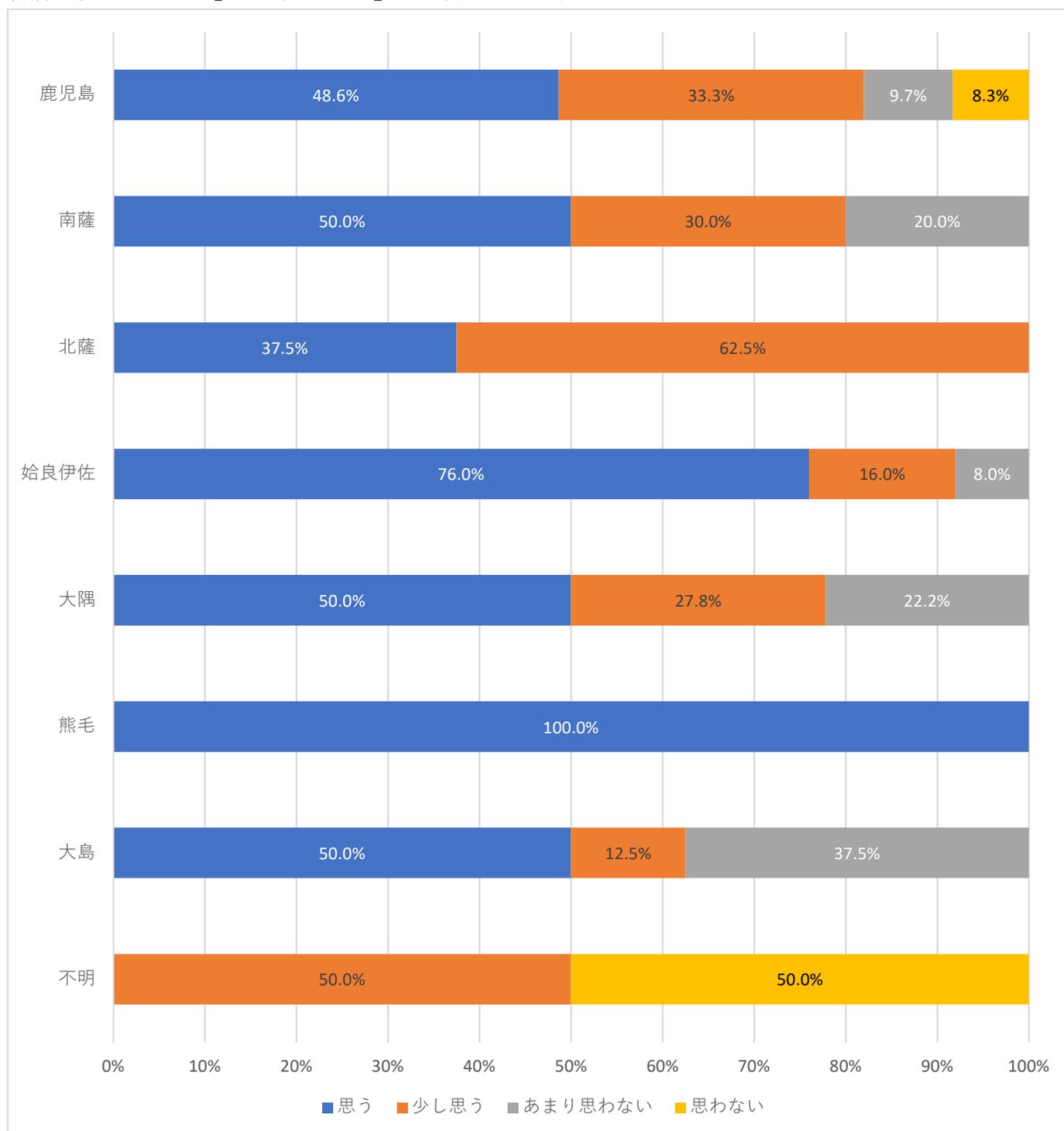


図 2-2-68 「ゆったりしてられる」と圏域との関係

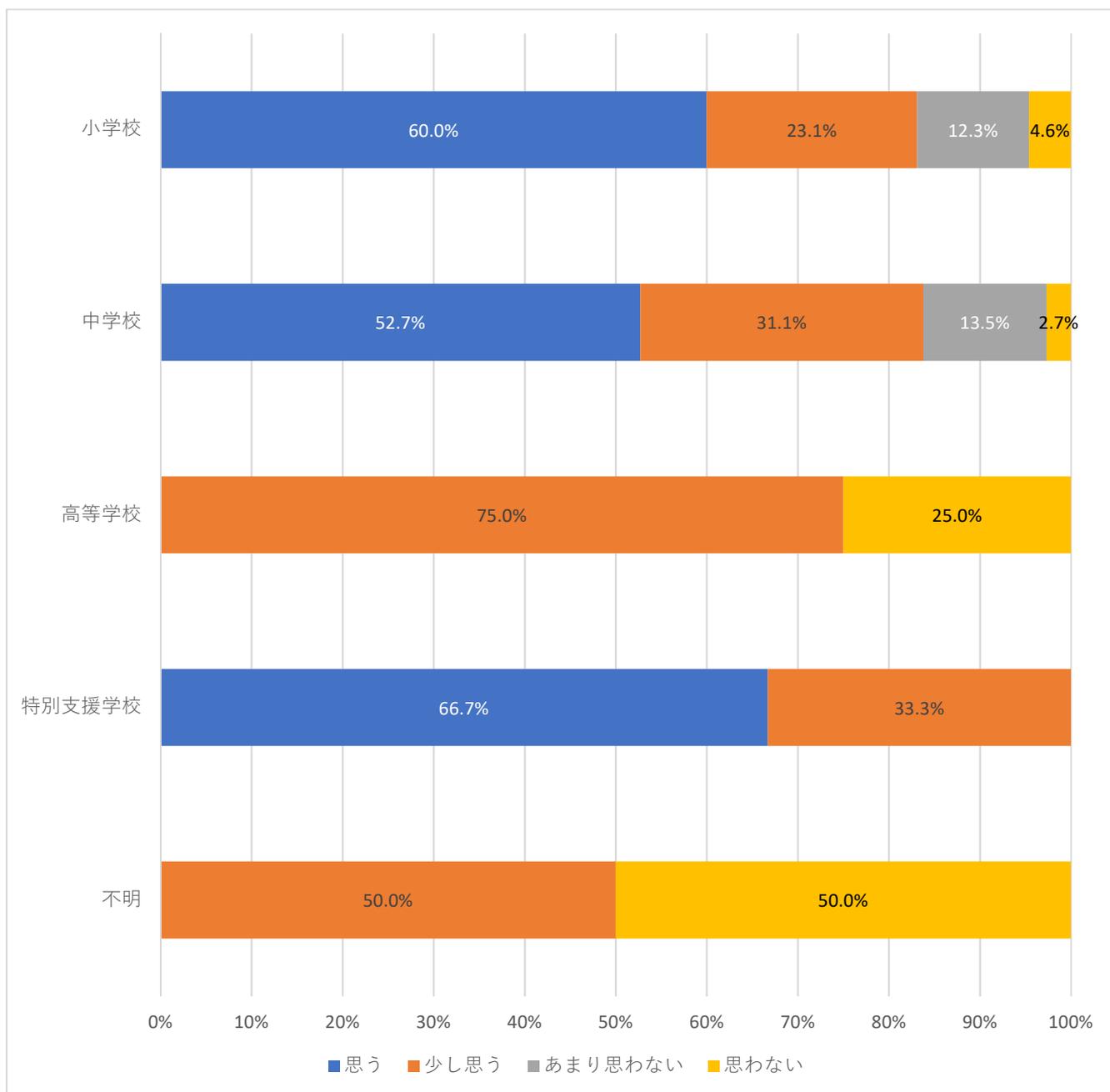


図 2-2-69 「ゆったりしていただける」と校種との関係

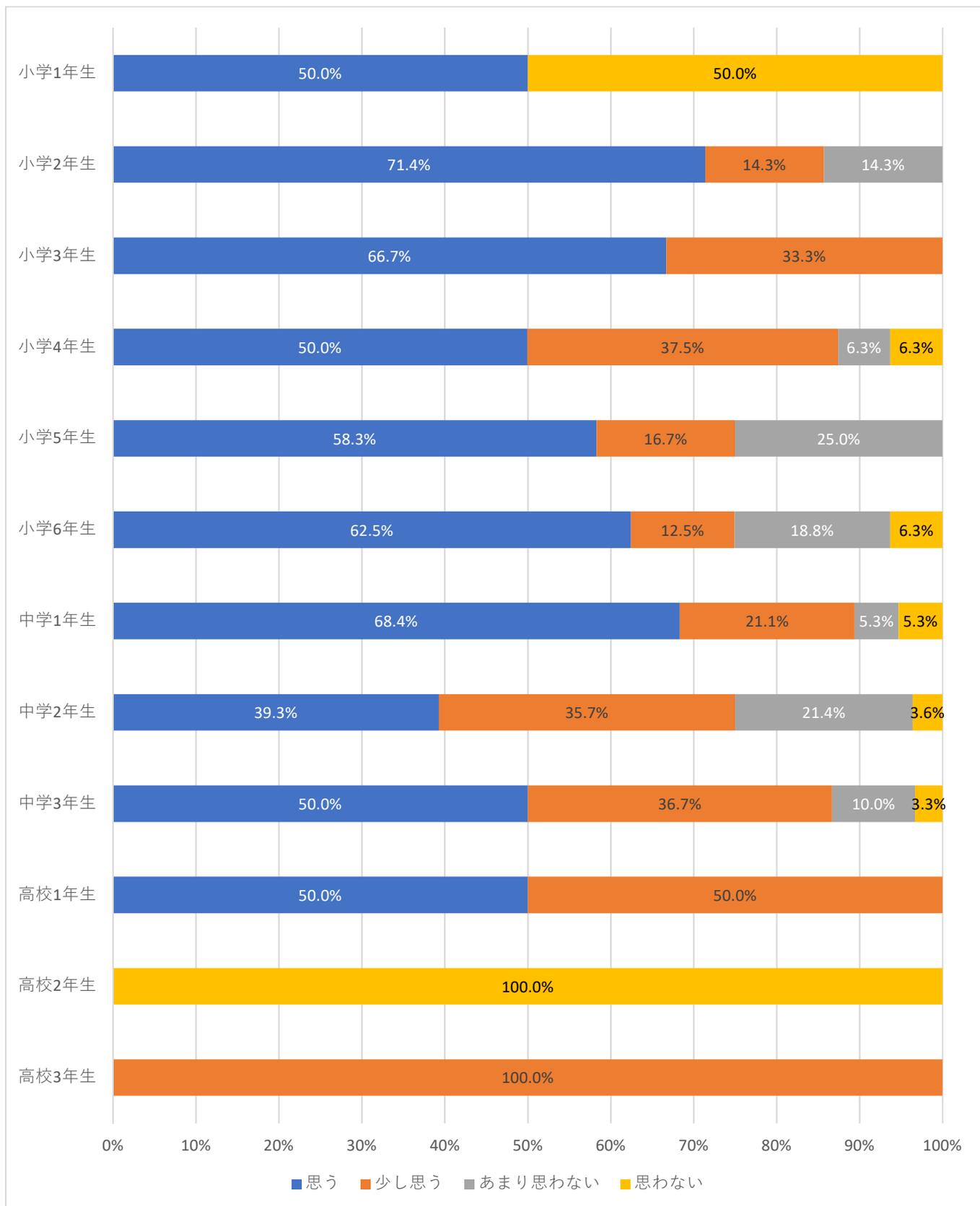


図 2- 2-70 「ゆったりしていただける」と学年との関係

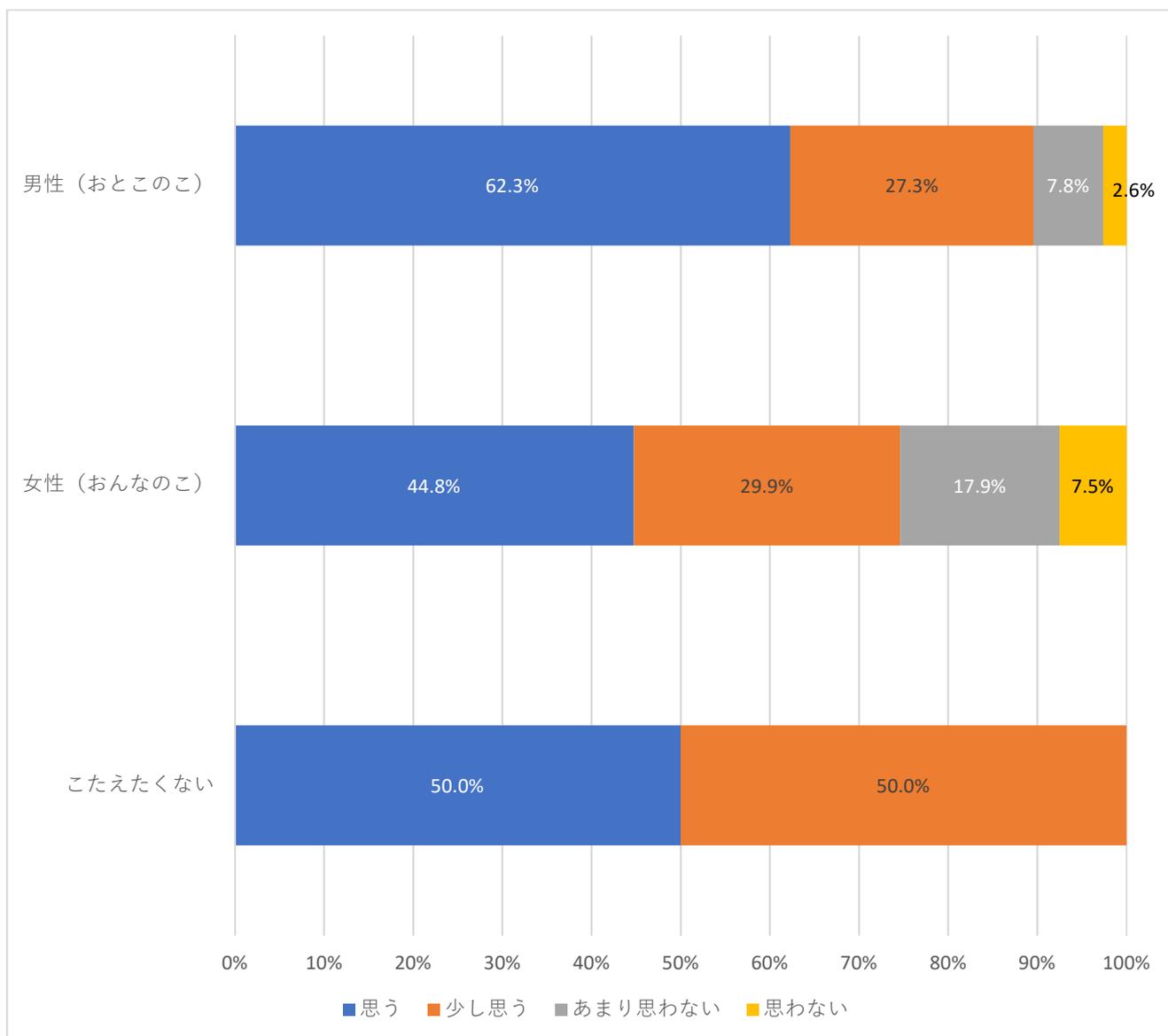


図 2-2-71 「ゆったりしてられる」と性別との関係

4 「友だちと一緒に居られる場所」について

小学生において、「思う」の値が特徴的に高い様子が見られた。回答者の多くは「思う」、「少し思う」を選択している。

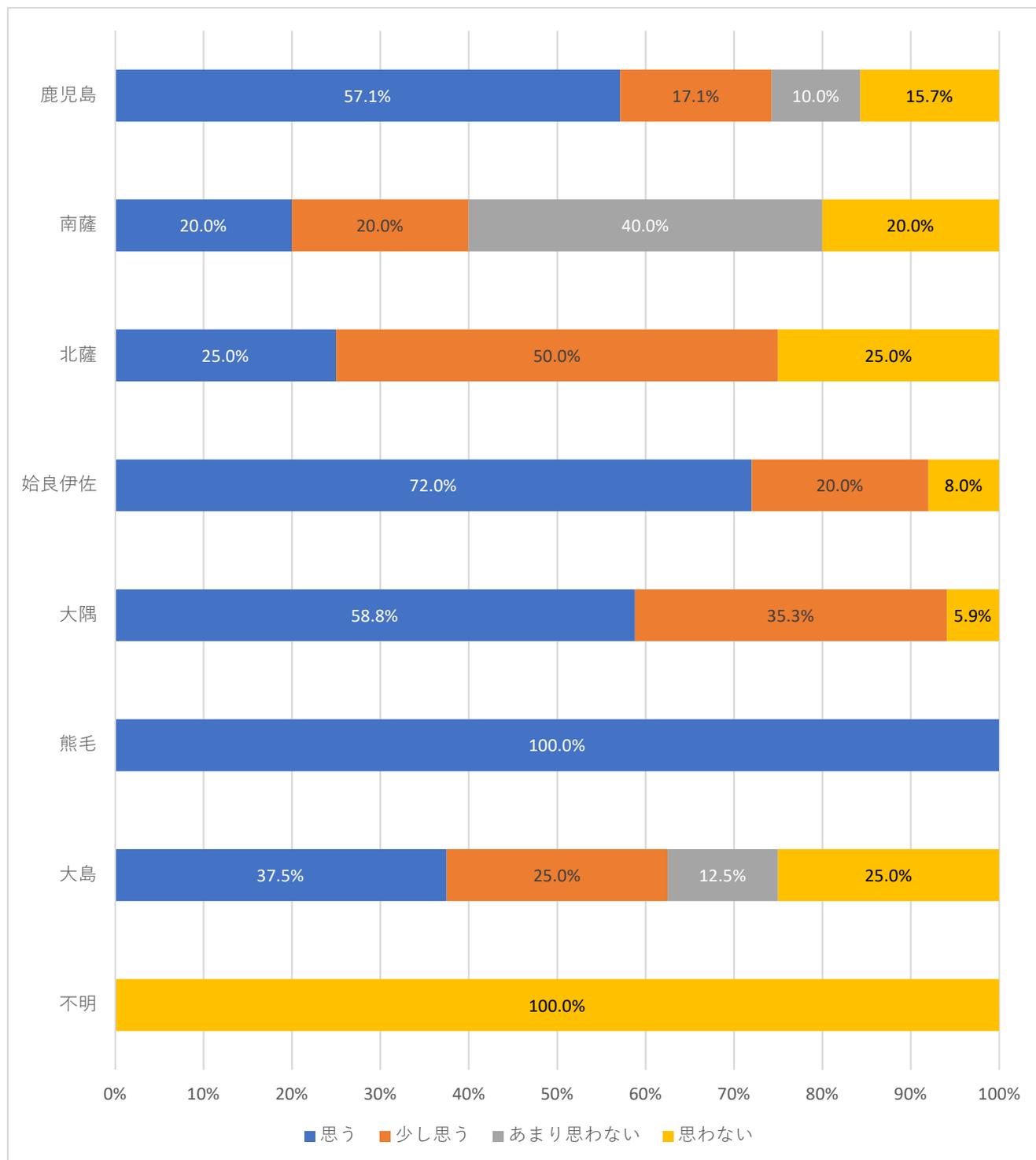


図 2-2-72 「友だちと一緒に居られる場所」と圏域との関係

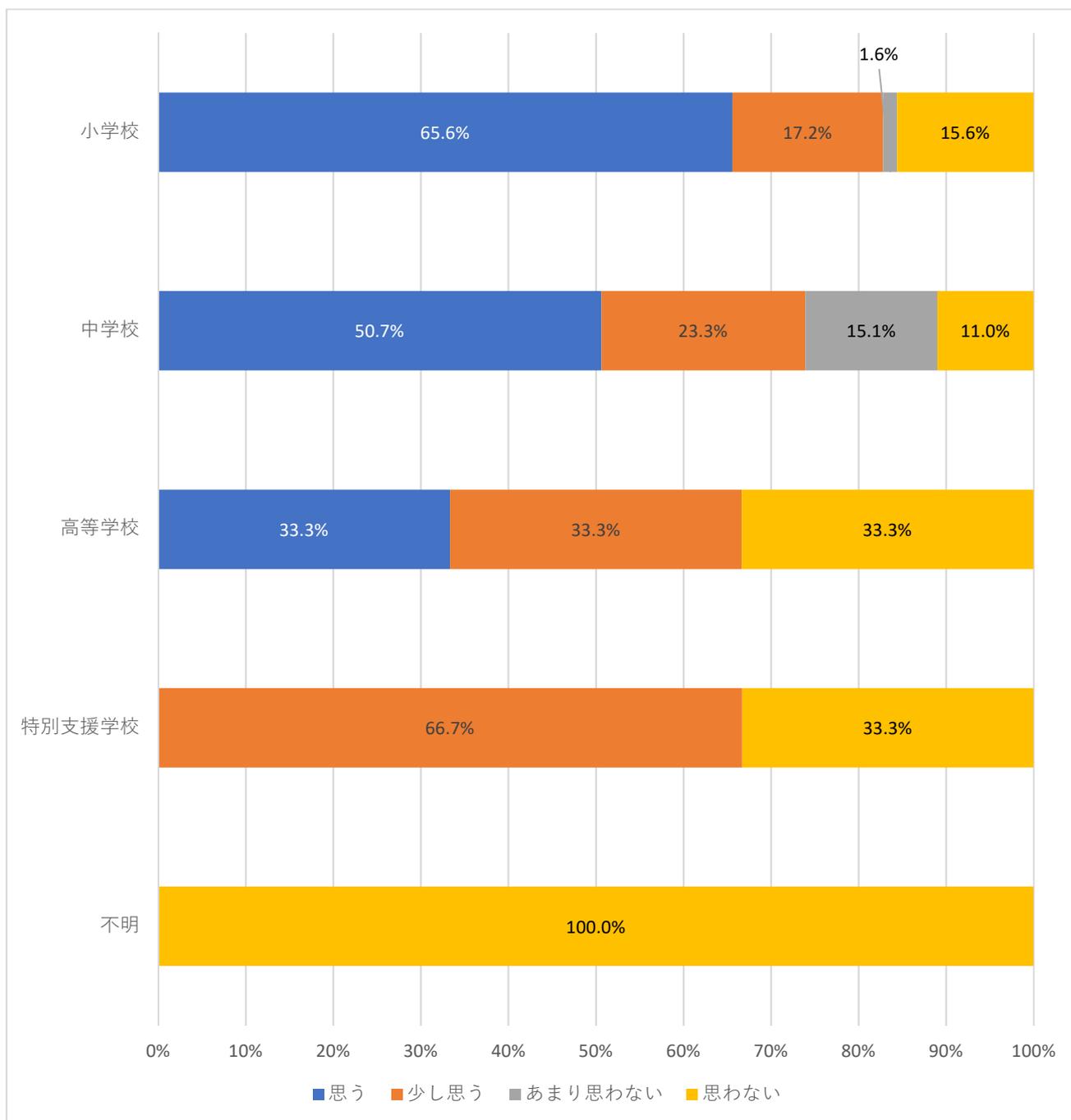


図 2-2-73 「友だちと一緒に居られる場所」と校種との関係

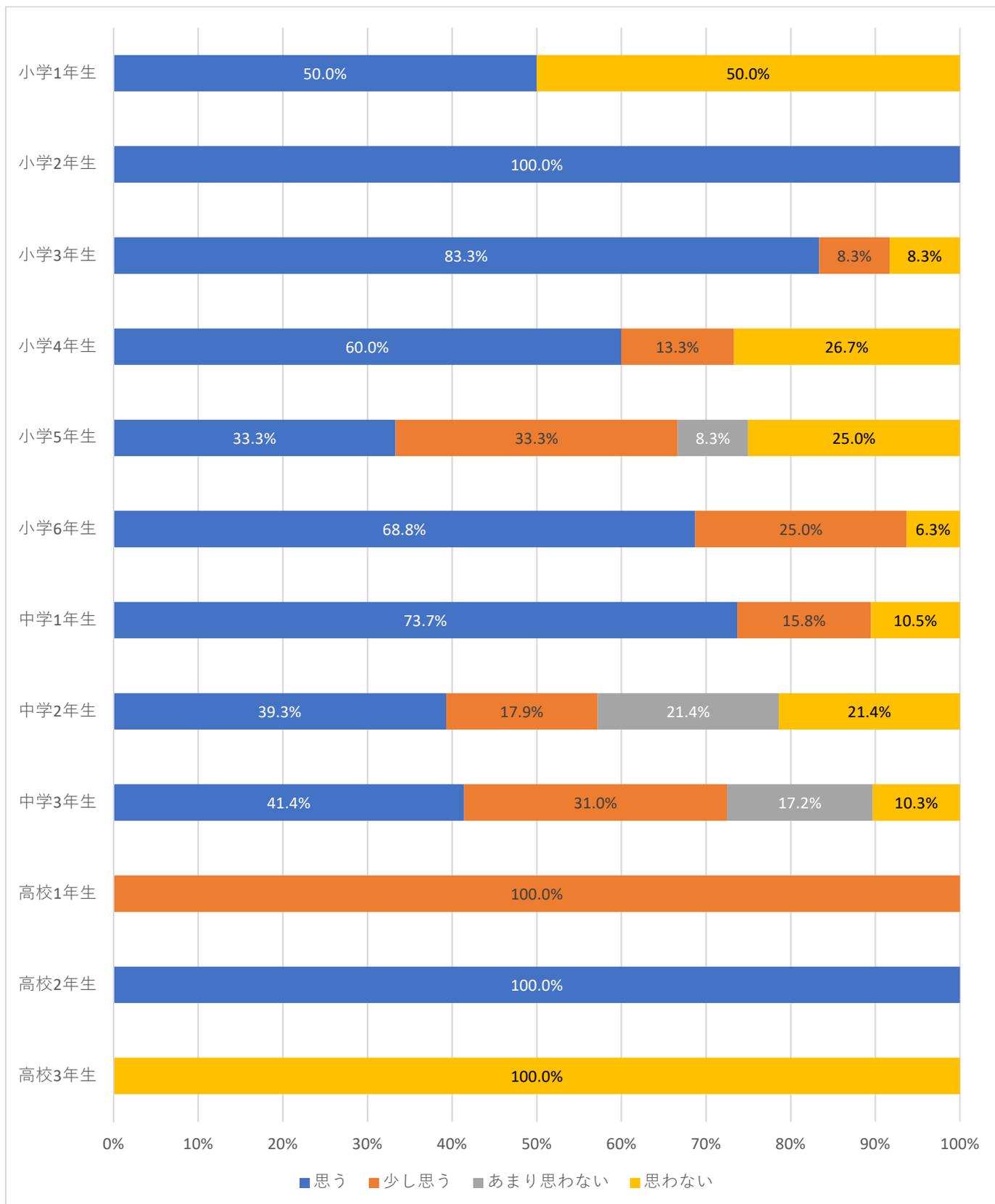


図 2-2-74 「友だちと一緒に居られる場所」と学年との関係

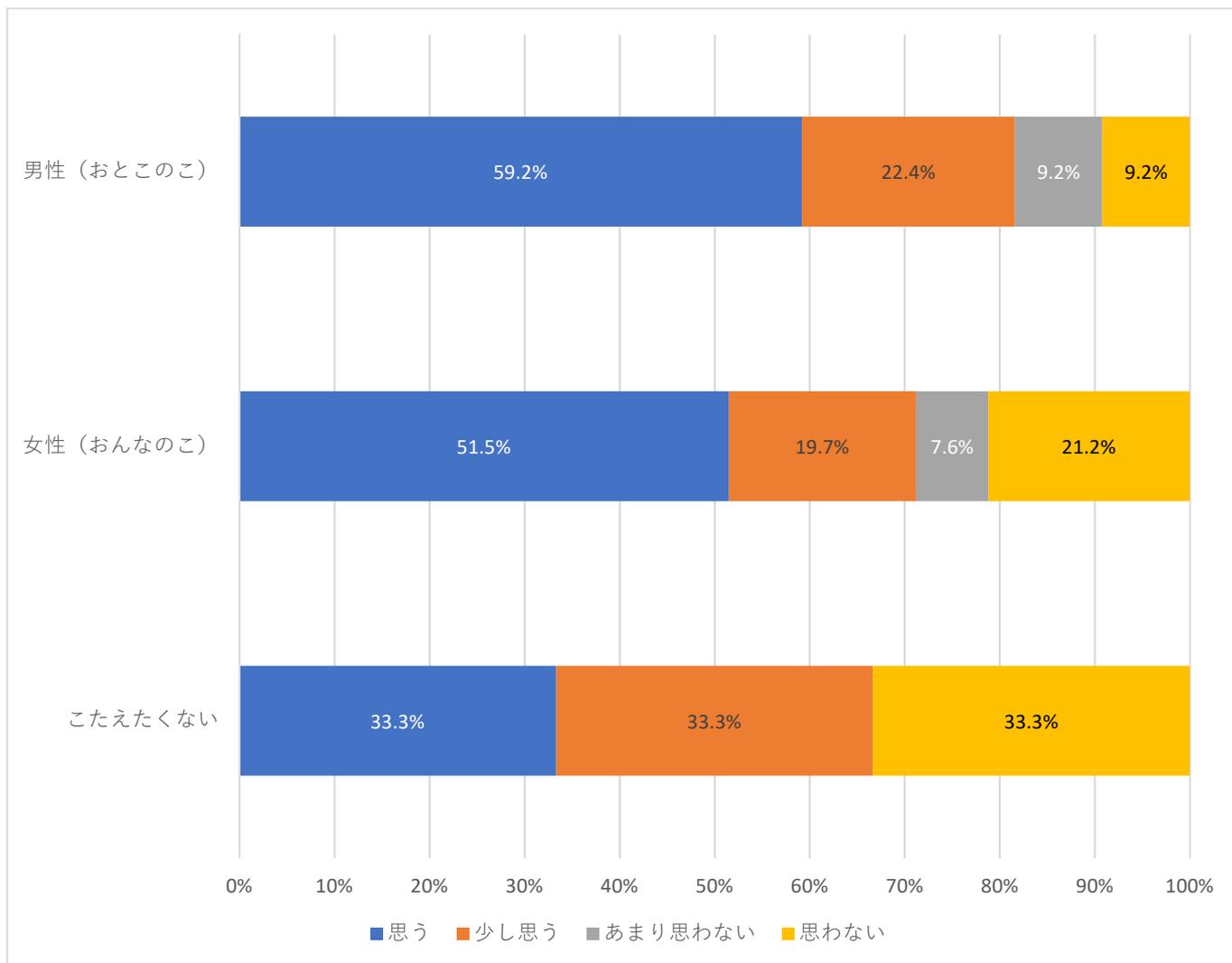


図 2-2-75 「友だちと一緒に居られる場所」と性別との関係

5 「居心地がよい」について

全ての基本属性とのクロス集計の結果において、特徴のある傾向を見ることは出来なかった。回答者の多くは「思う」、「少し思う」を選択している。

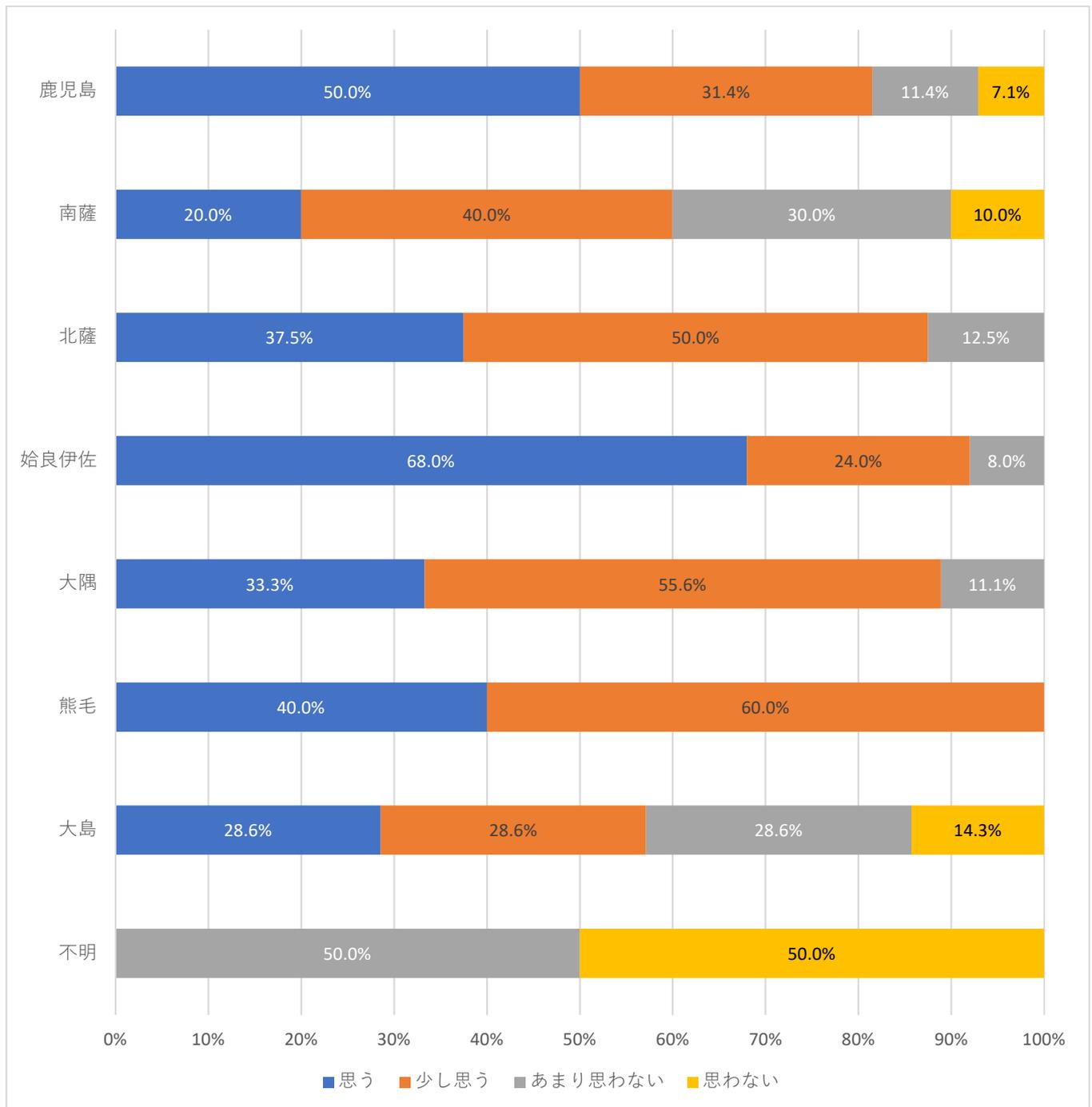


図 2-2-76 「居心地がよい」と圏域との関係

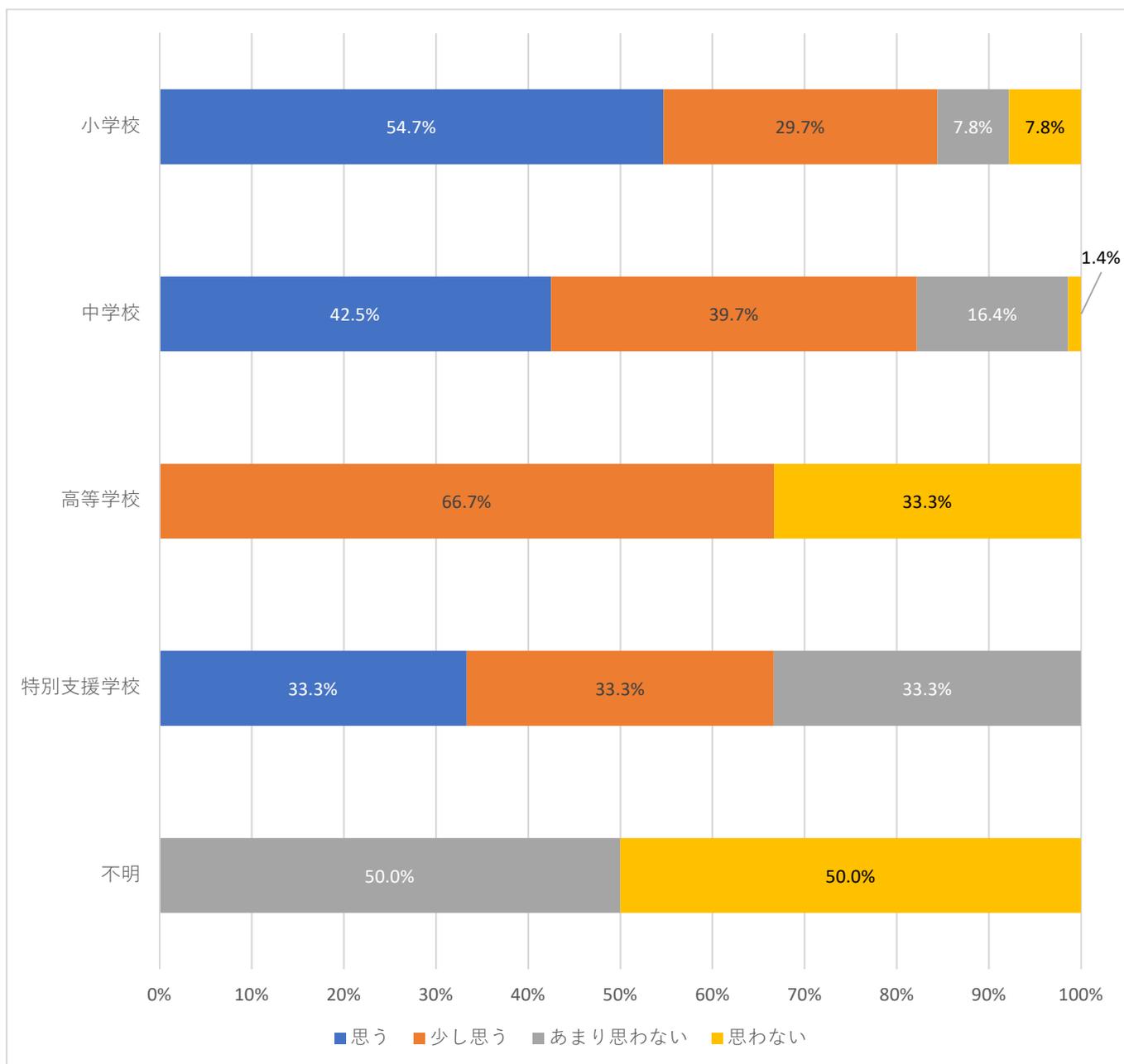


図 2-2-77 「居心地がよい」と校種との関係

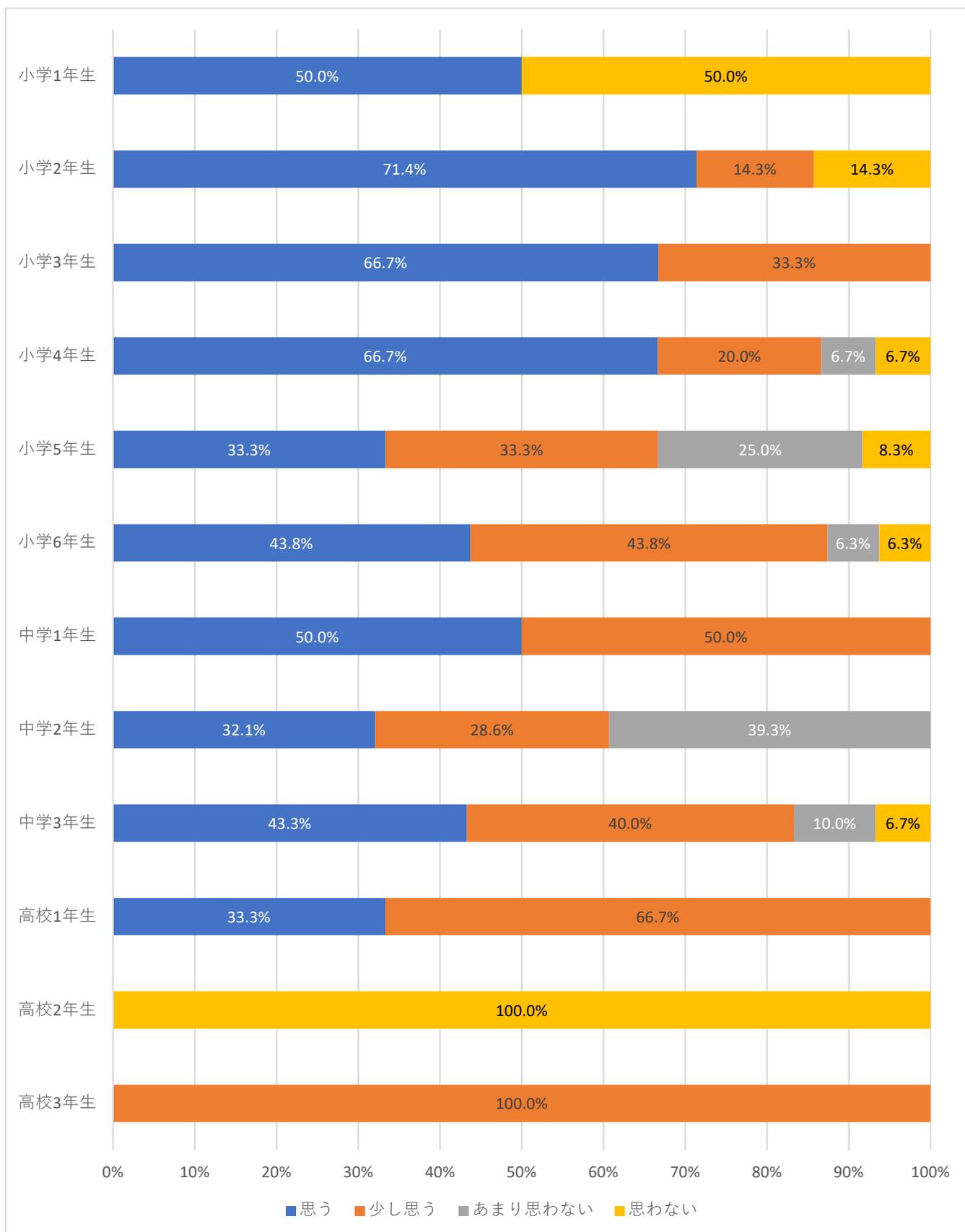


図 2-2-78 「居心地がよい」と学年との関係

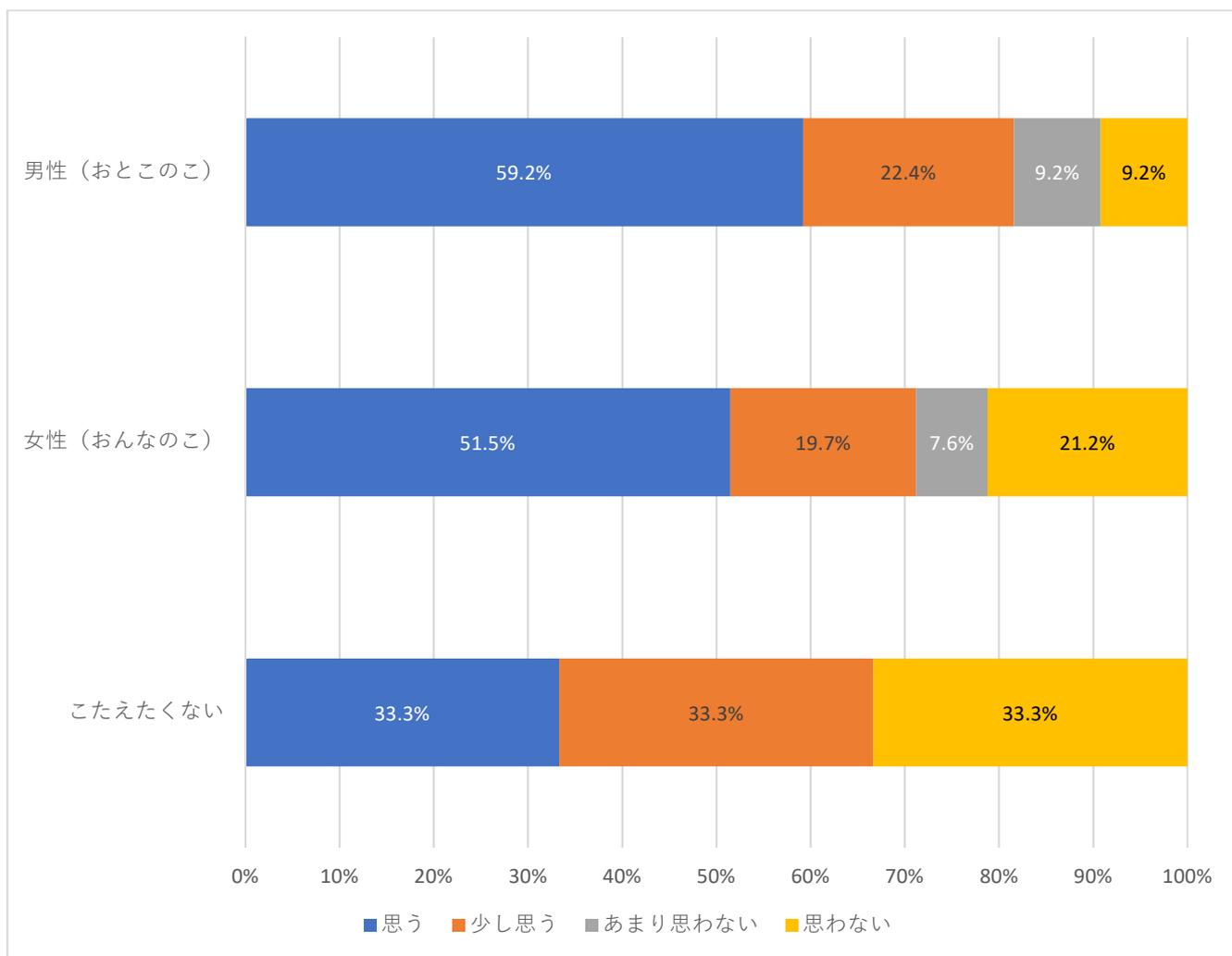


図 2-2-79 「居心地がよい」と性別との関係

6 「自分は受け入れられている」について

小学生において、「思う」の値が特徴的に高い様子が見られた。回答者の多くは「思う」、「少し思う」を選択している一方、高校においては、回答が非常に少ない中ではあるが、「思わない」の値が高かった。

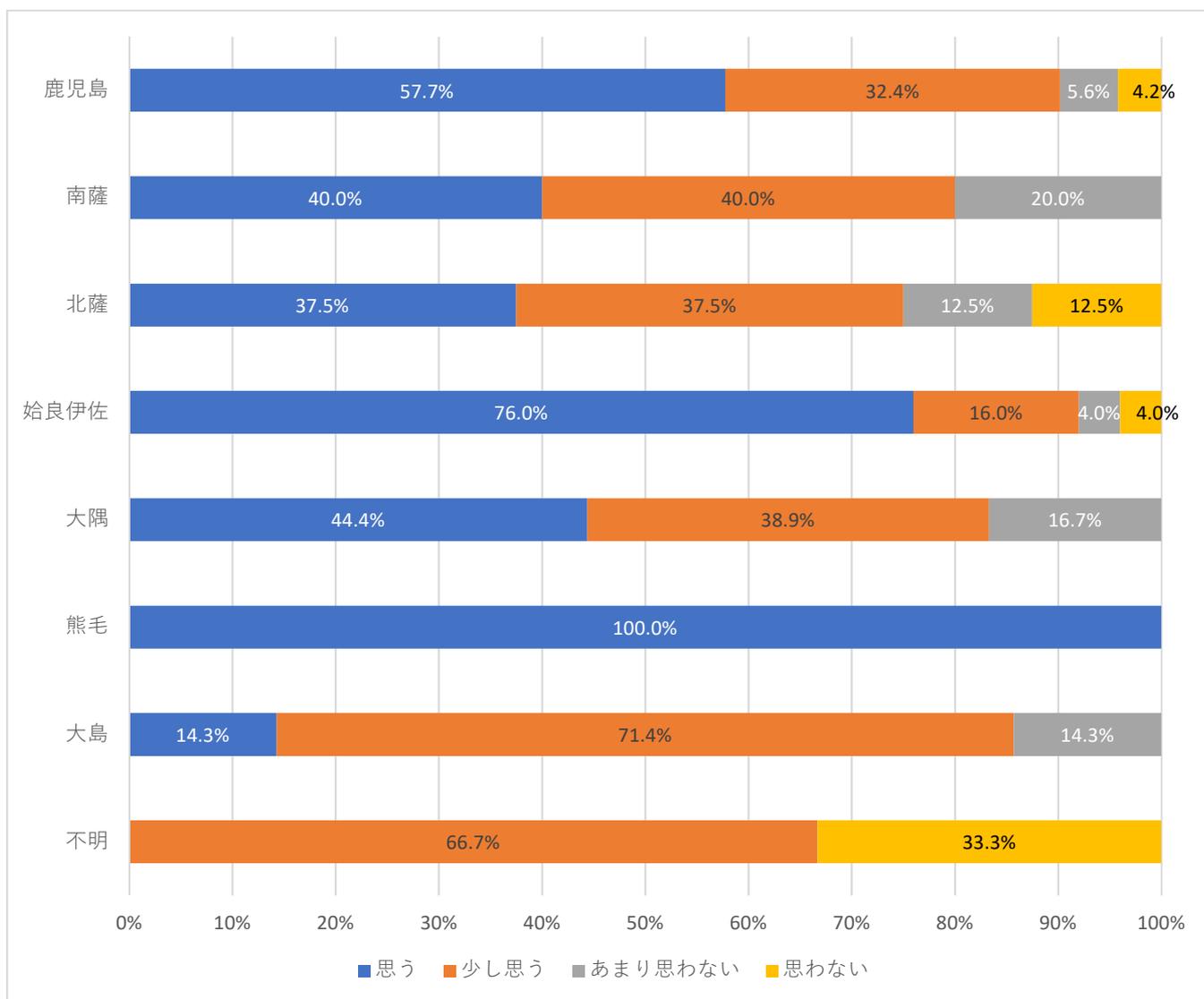


図 2-2-80 「自分は受け入れられている」と圏域との関係

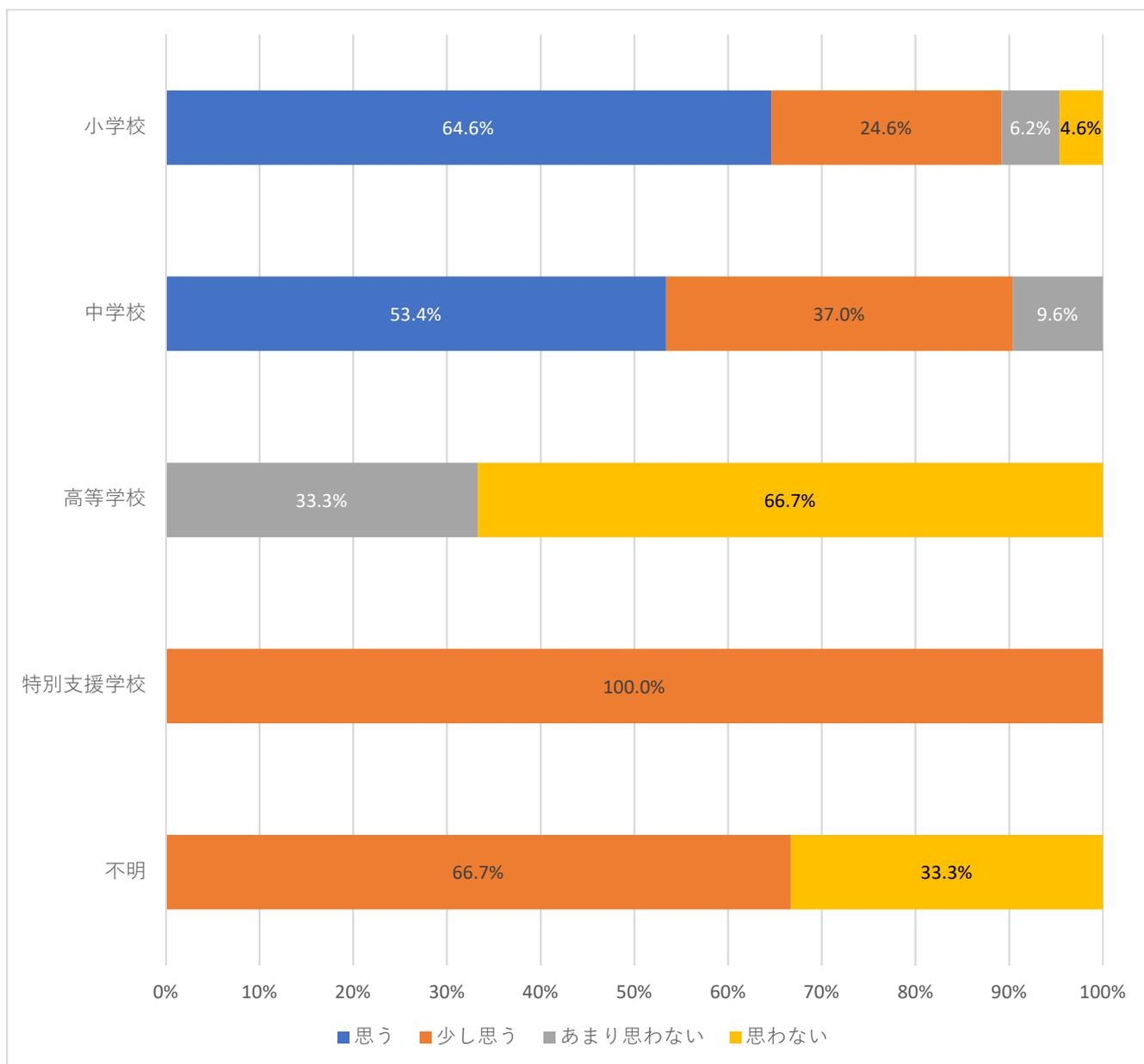


図 2- 2-81 「自分は受け入れられている」と校種との関係

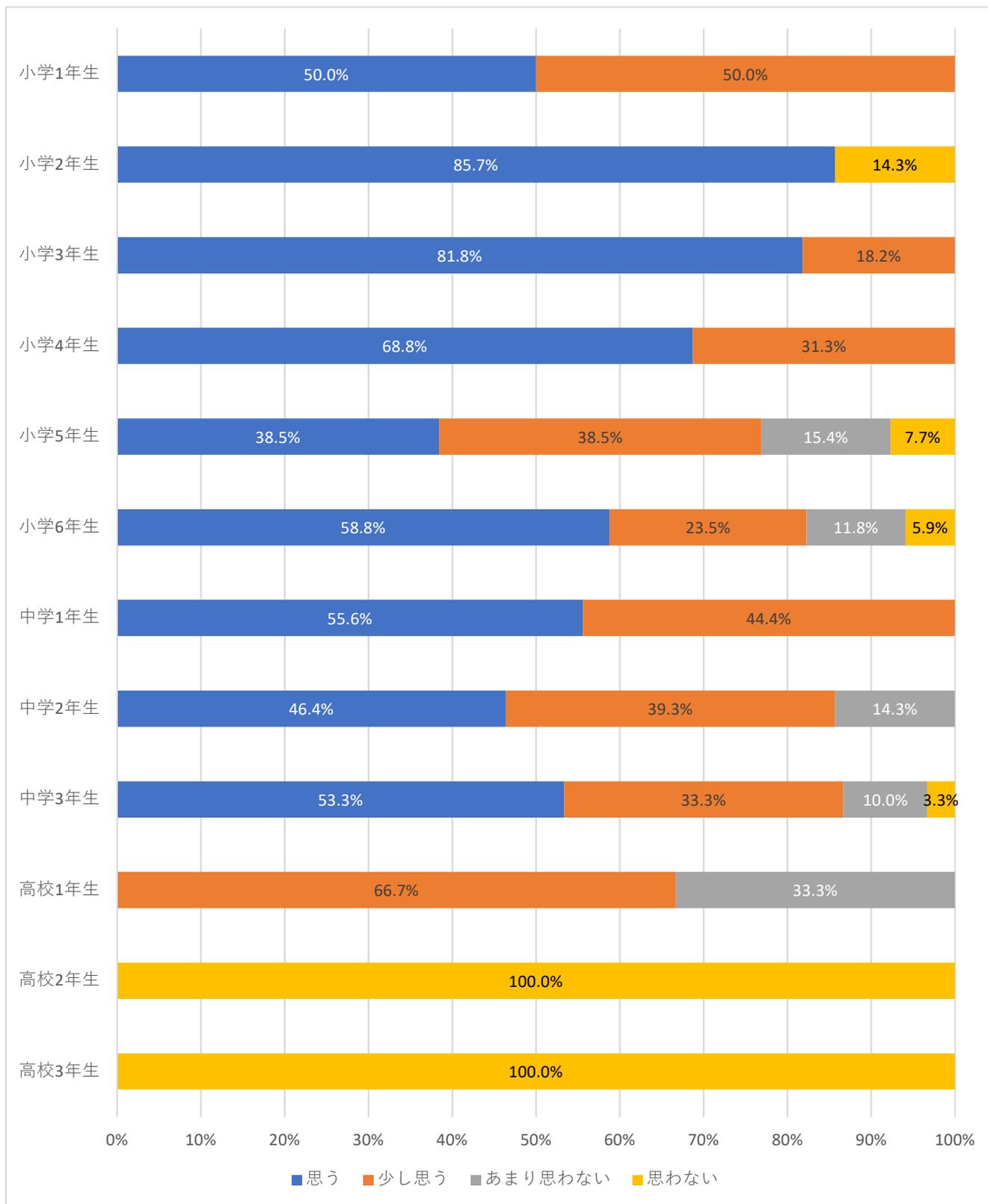


図 2- 2-82 「自分は受け入れられている」と学年との関係

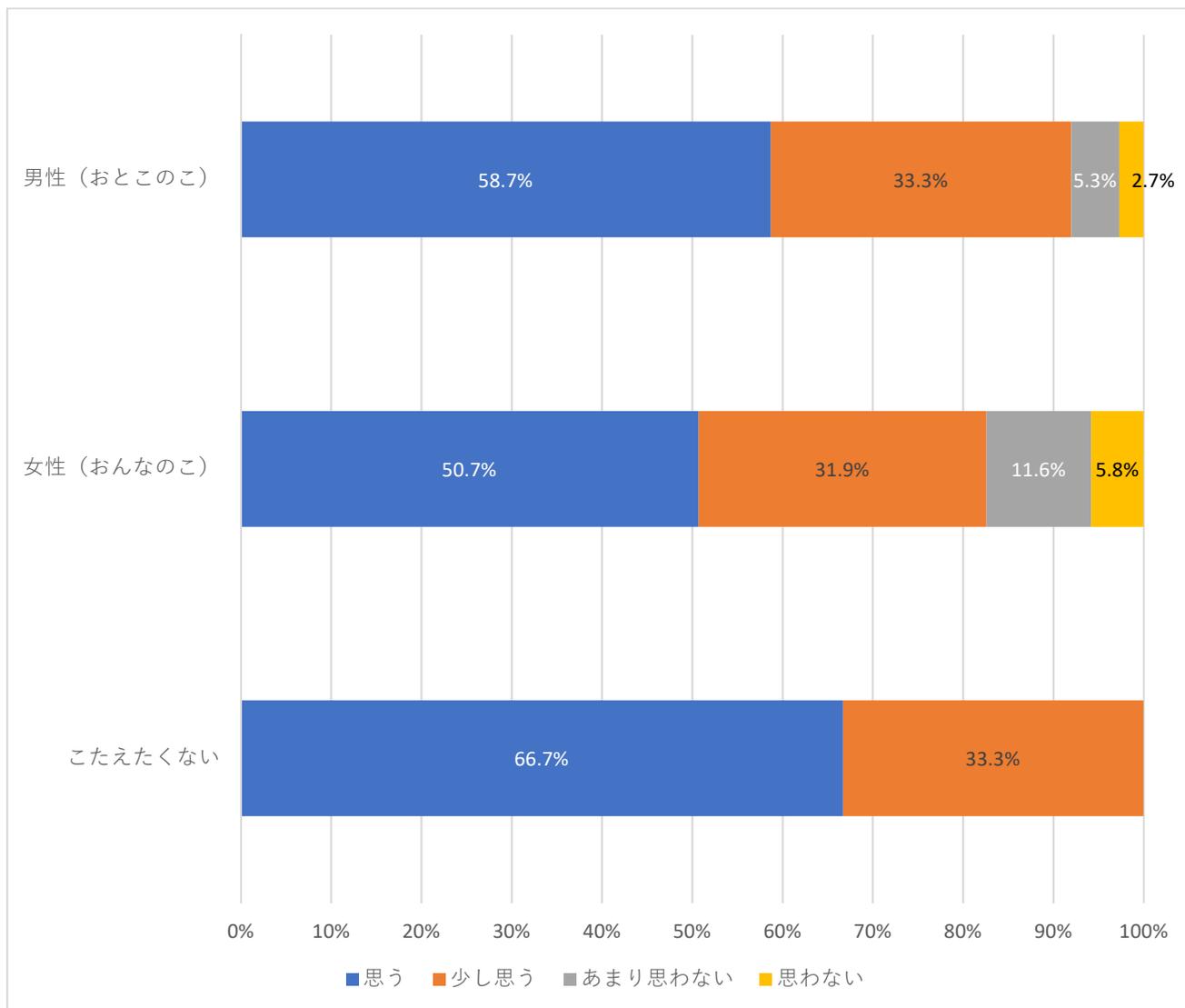


図 2-2-83 「自分は受け入れられている」と性別との関係

7 「楽にいられる」について

小学生・中学生においては「思う」の値が高く、高校生においては「少し思う」の値が高かった。

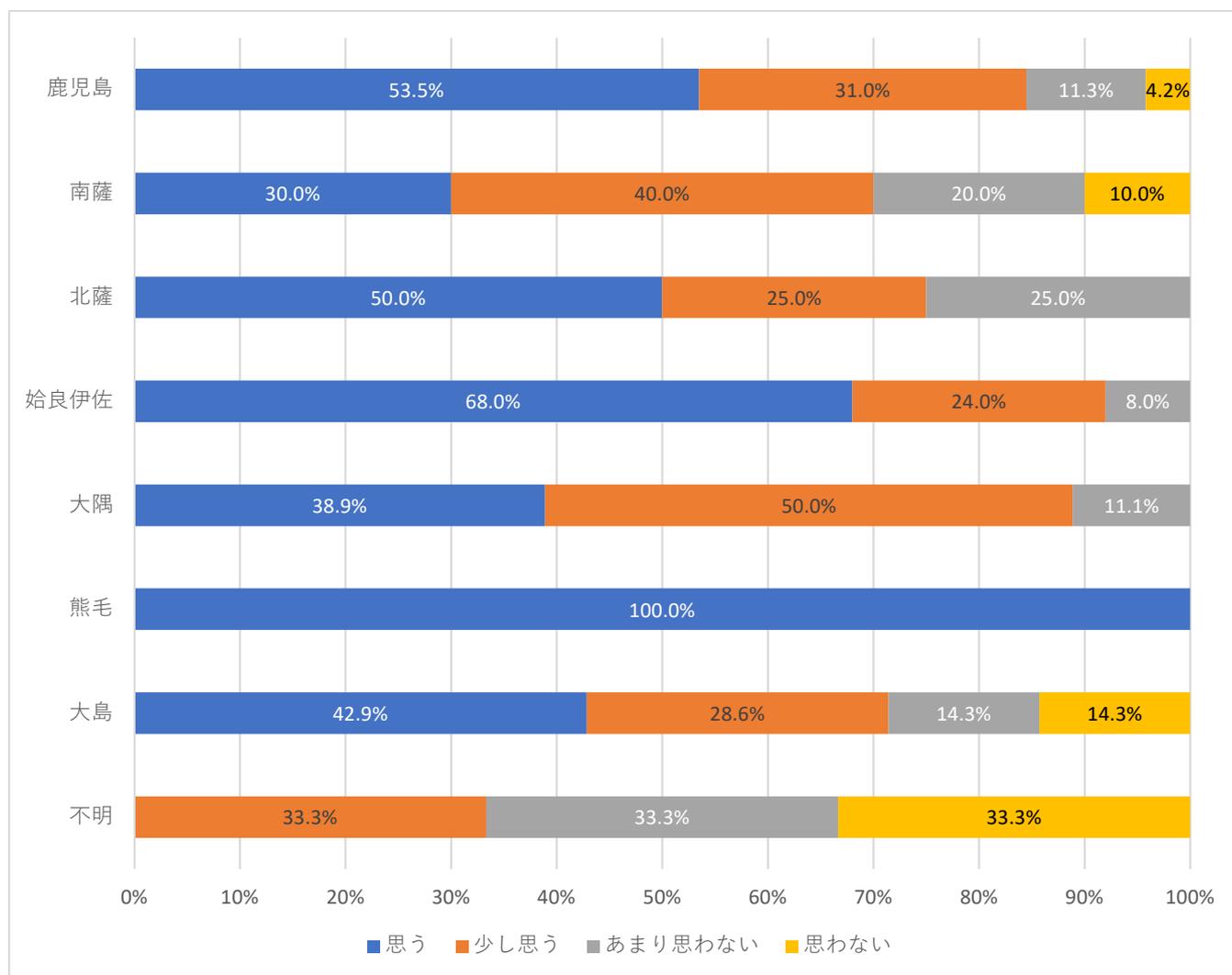


図 2-2-84 「楽にいられる」と圏域との関係

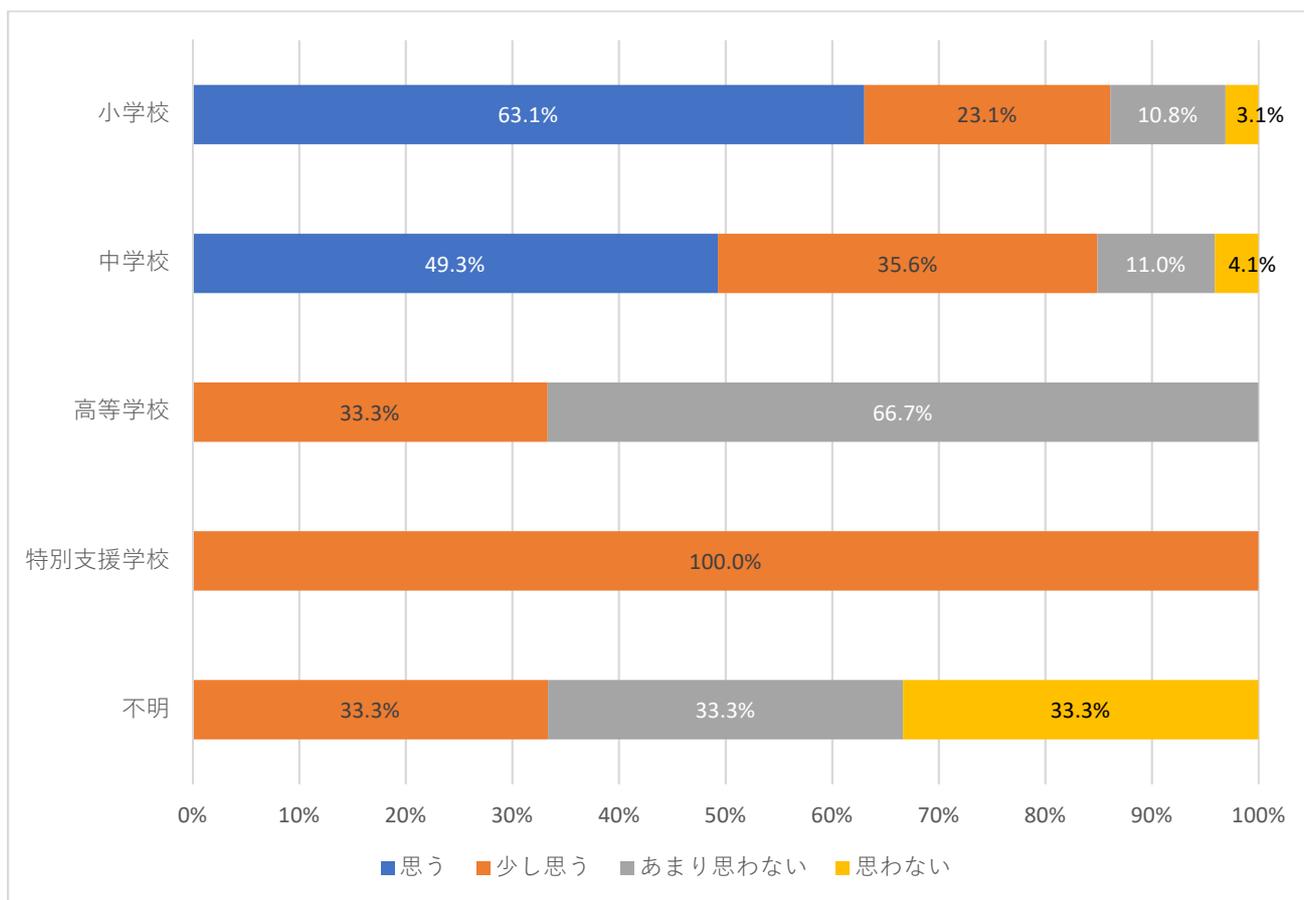


図 2-2-85 「楽にいられる」と校種との関係

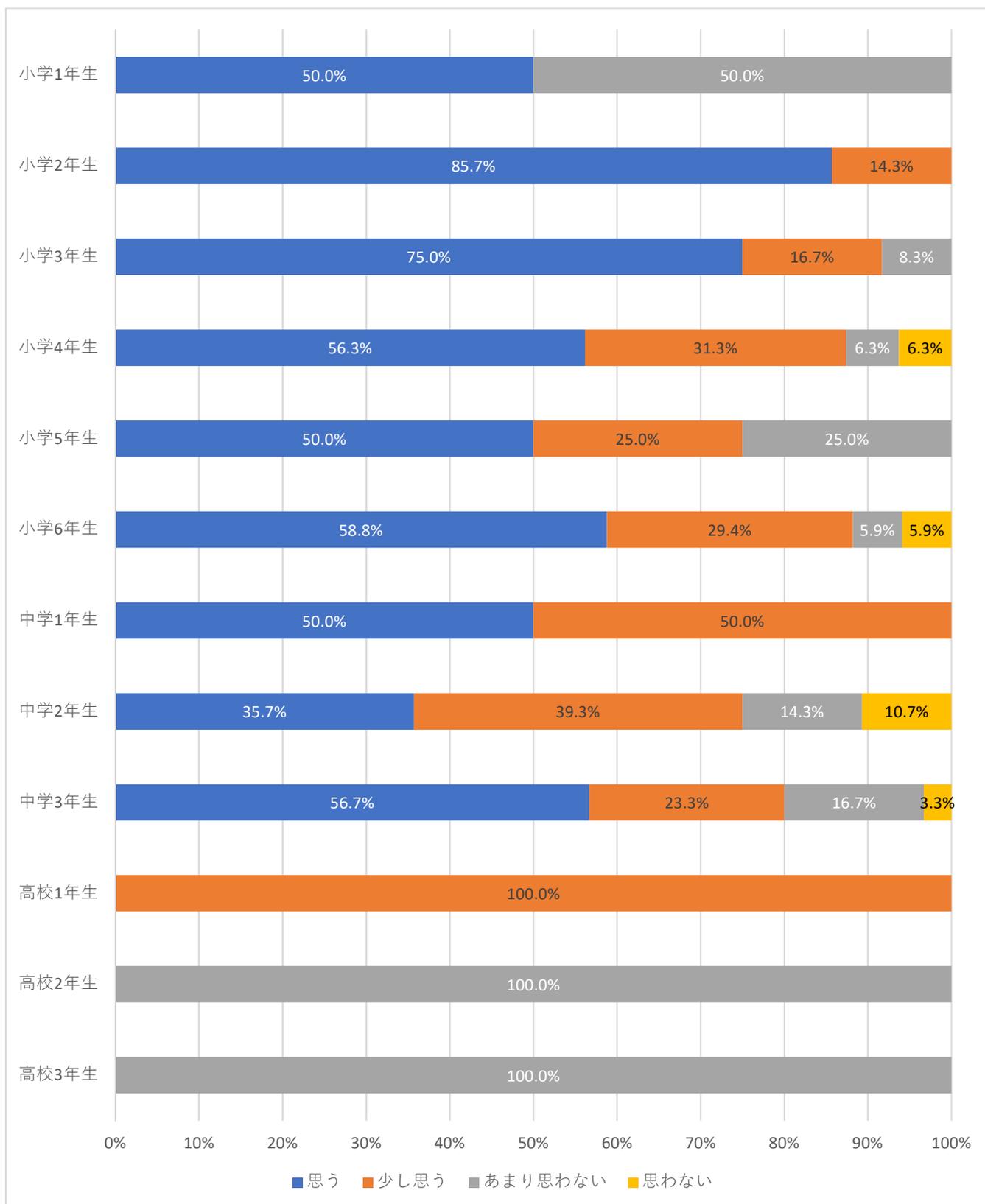


図 2-2-86 「楽にいられる」と学年との関係

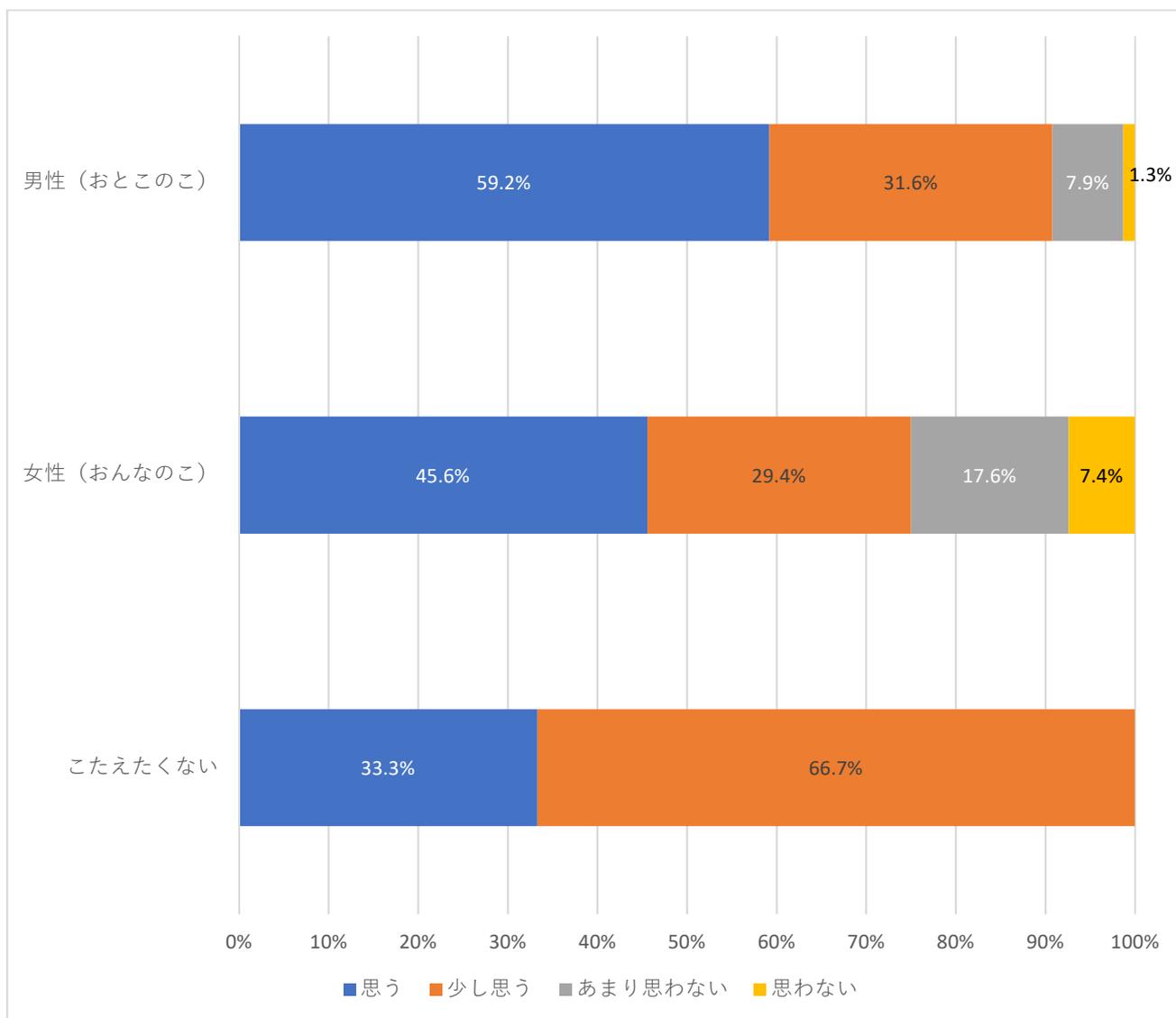


図 2-2-87 「楽にいられる」と性別との関係

8 「安心していただける」について

回答者の多くは「思う」、「少し思う」を選択している一方、高校においては、回答が非常に少ない中ではあるが、「あまり思わない」の値が高かった。

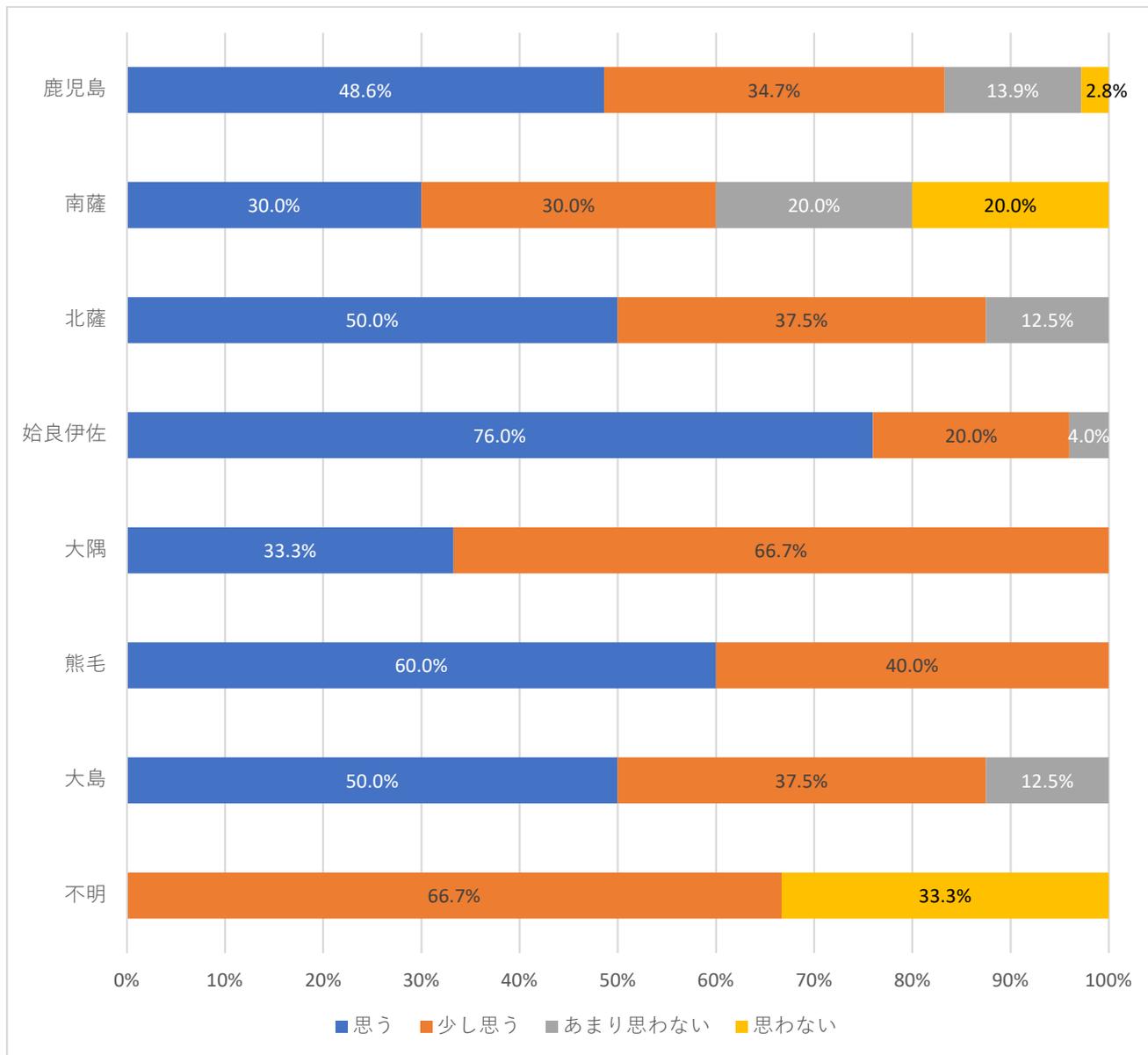


図 2-2-88 「安心していただける」と圏域との関係

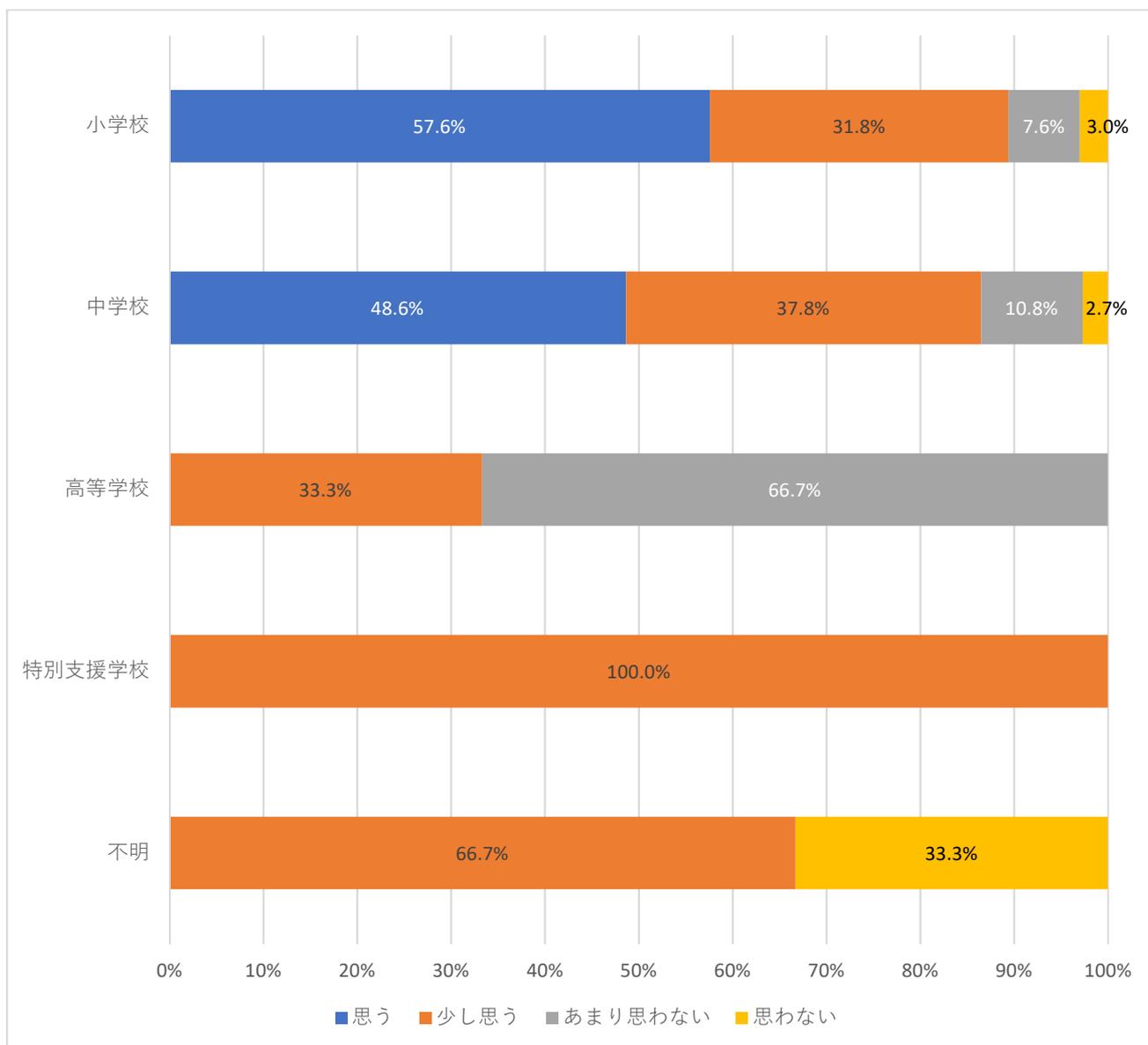


図 2-2-89 「安心していただける」と校種との関係

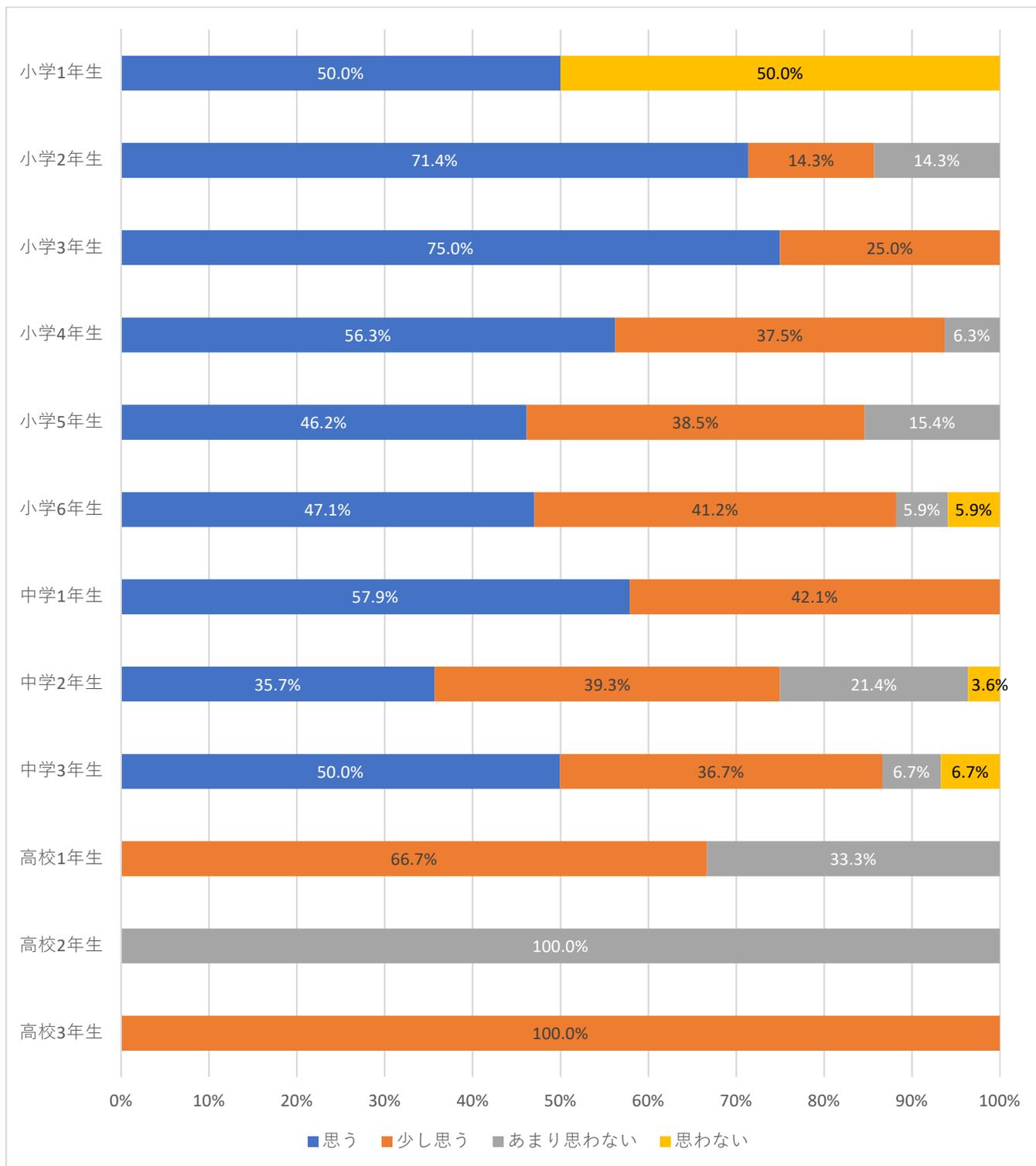


図 2-2-90 「安心してられる」と学年との関係

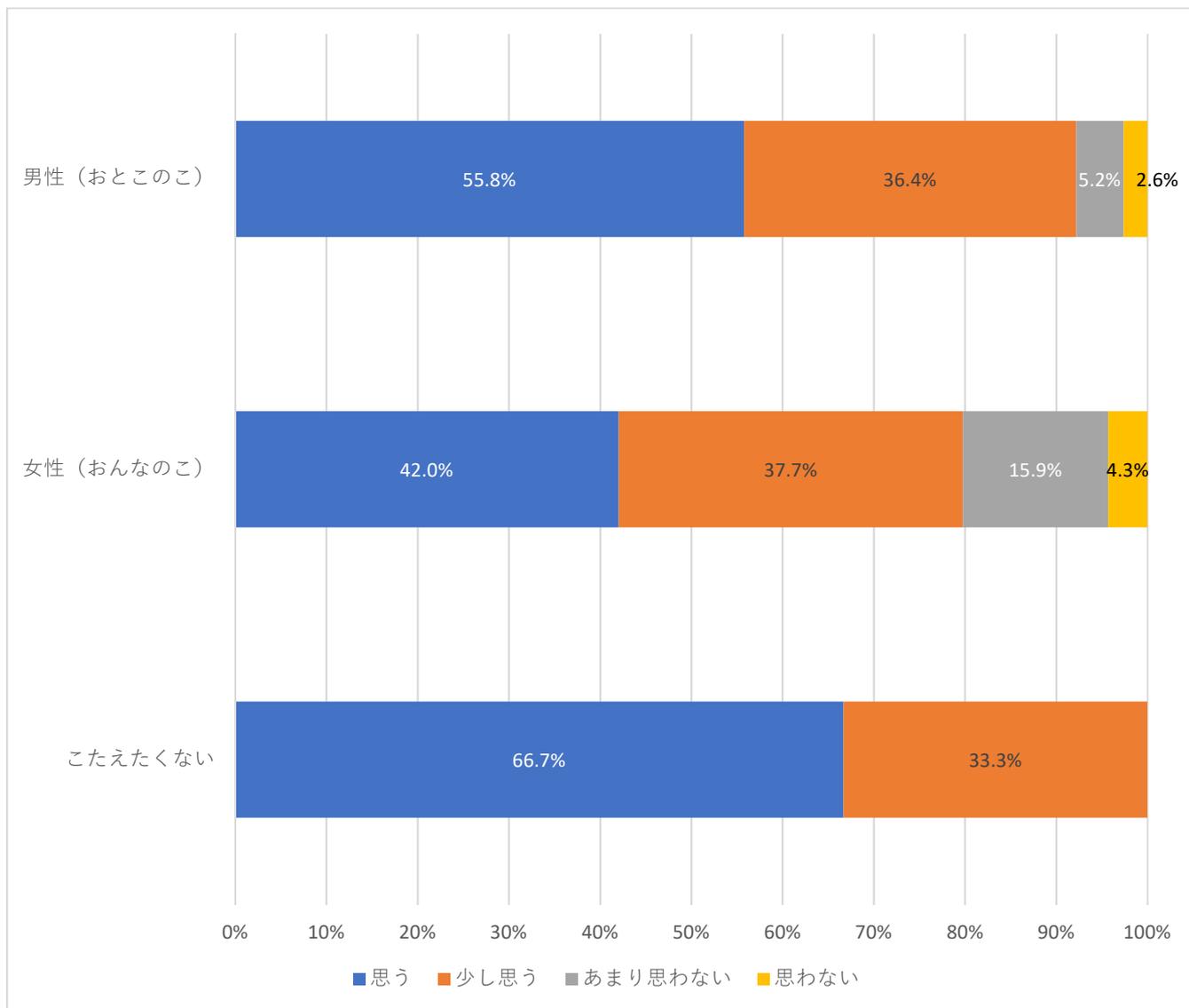


図 2-2-91 「安心していただける」と性別との関係

問 4-1 「あなたが学校に行けなくなった(行かなくなった)きっかけ」について

ここでは、問 4-1 多重回答設問である「あなたが学校に行けなくなった(行かなくなった)きっかけについて」の回答と基本属性ごとにクロス集計を行った。基本属性については、児童生徒の心情を問う質問項目であったことから、主として校種、学年、性別の属性を活用した。

全ての基本属性における傾向として、児童生徒自身は概ね全ての学校種、学年においては、「からだがつかった」、「気持ちが落ち込んだり、イライラしたりした」、「朝起きようとしても起きられなかった」、「学校に行こうとすると不安が強くなった」という心身の不調を強く認識している。

その中でも、特に中学生においては、勉強や学校の決まり、教員や友人との関係といった、環境面へのきっかけが高いことが示唆された。

学年別にみると、小学3年、中学2年、中学3年においては、環境面のきっかけが高い傾向が伺える。

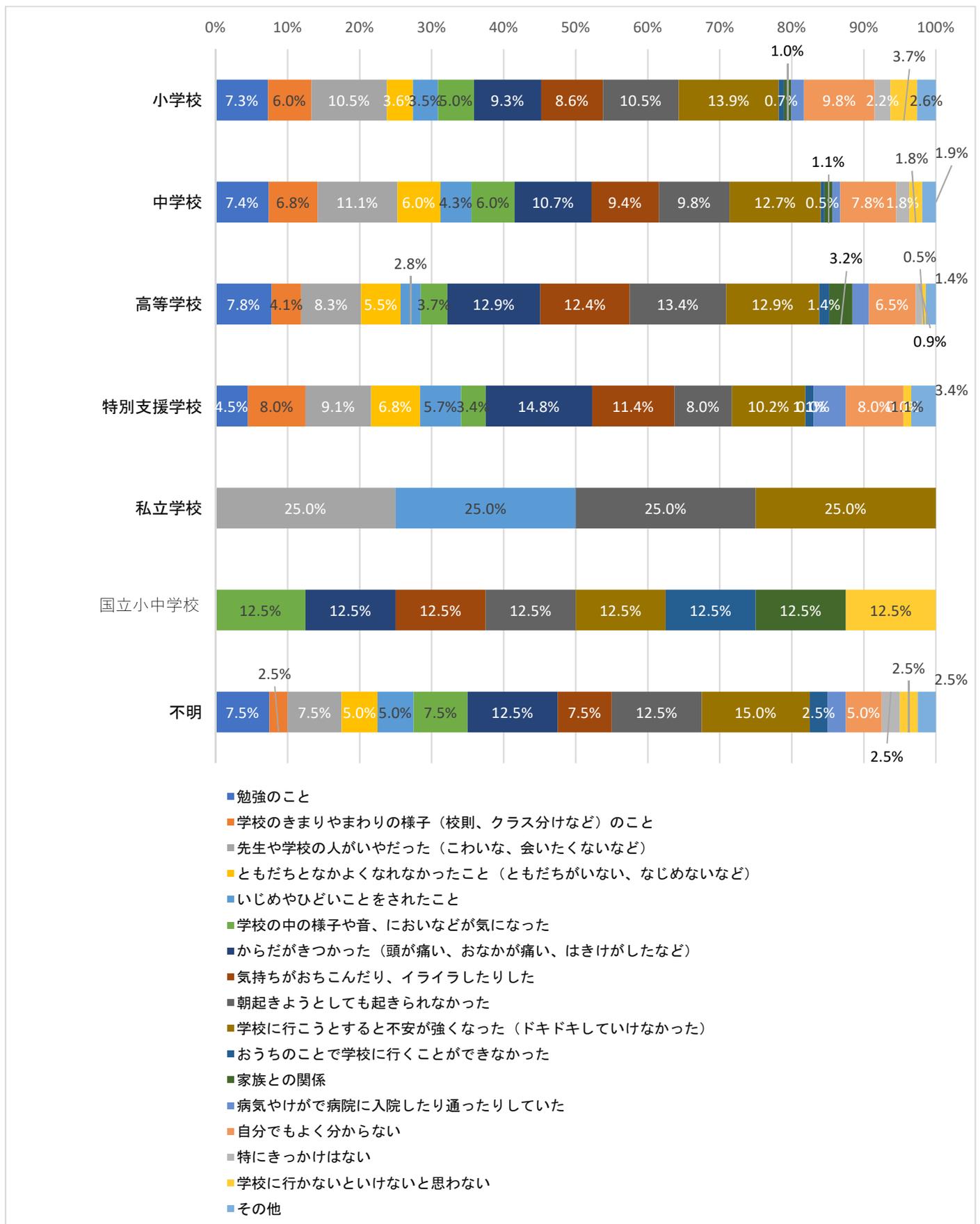


図 2-2-92 学校へ行けなくなったきっかけと校種との関係

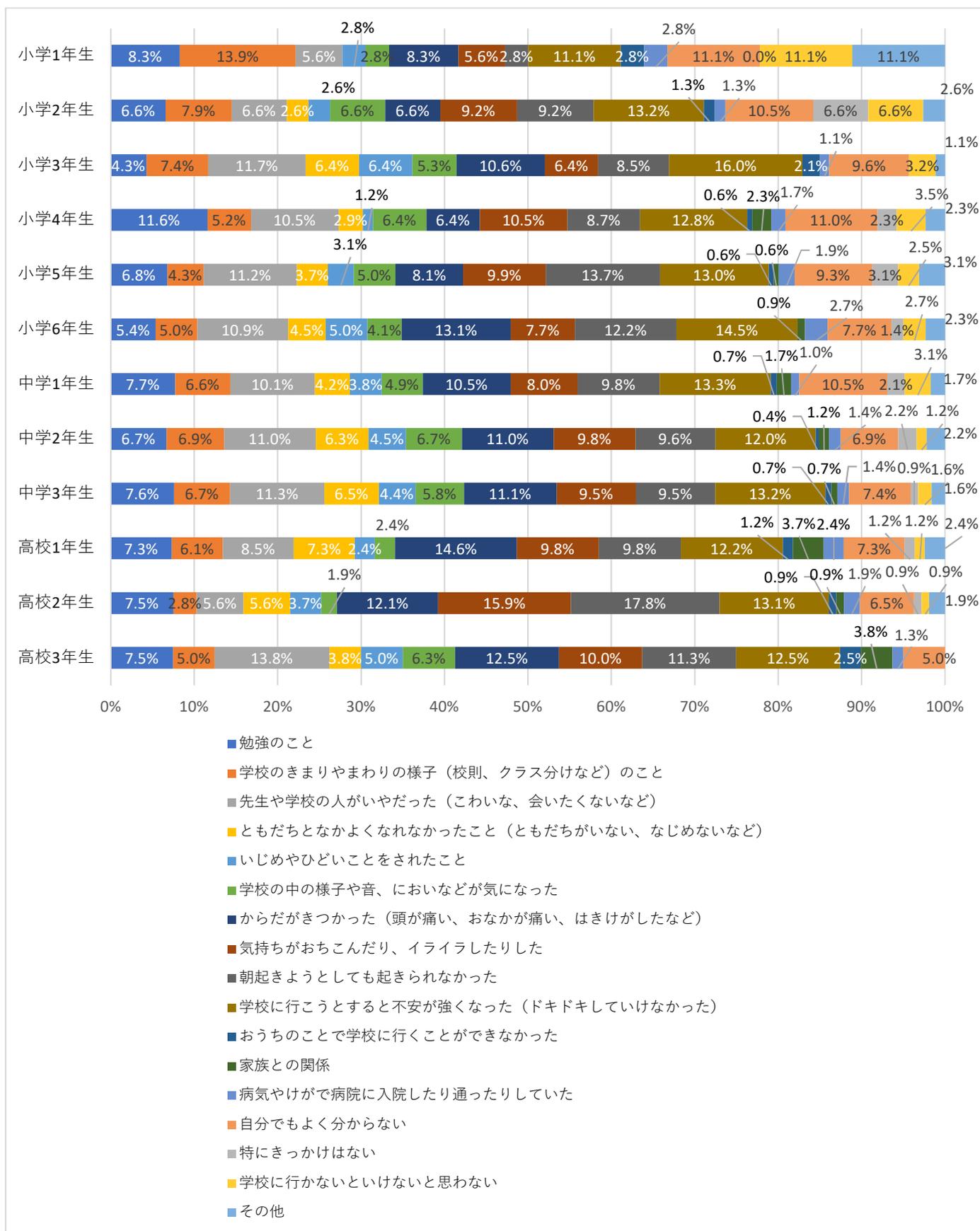


図 2-2-93 学校へ行けなくなったきっかけと学年との関係

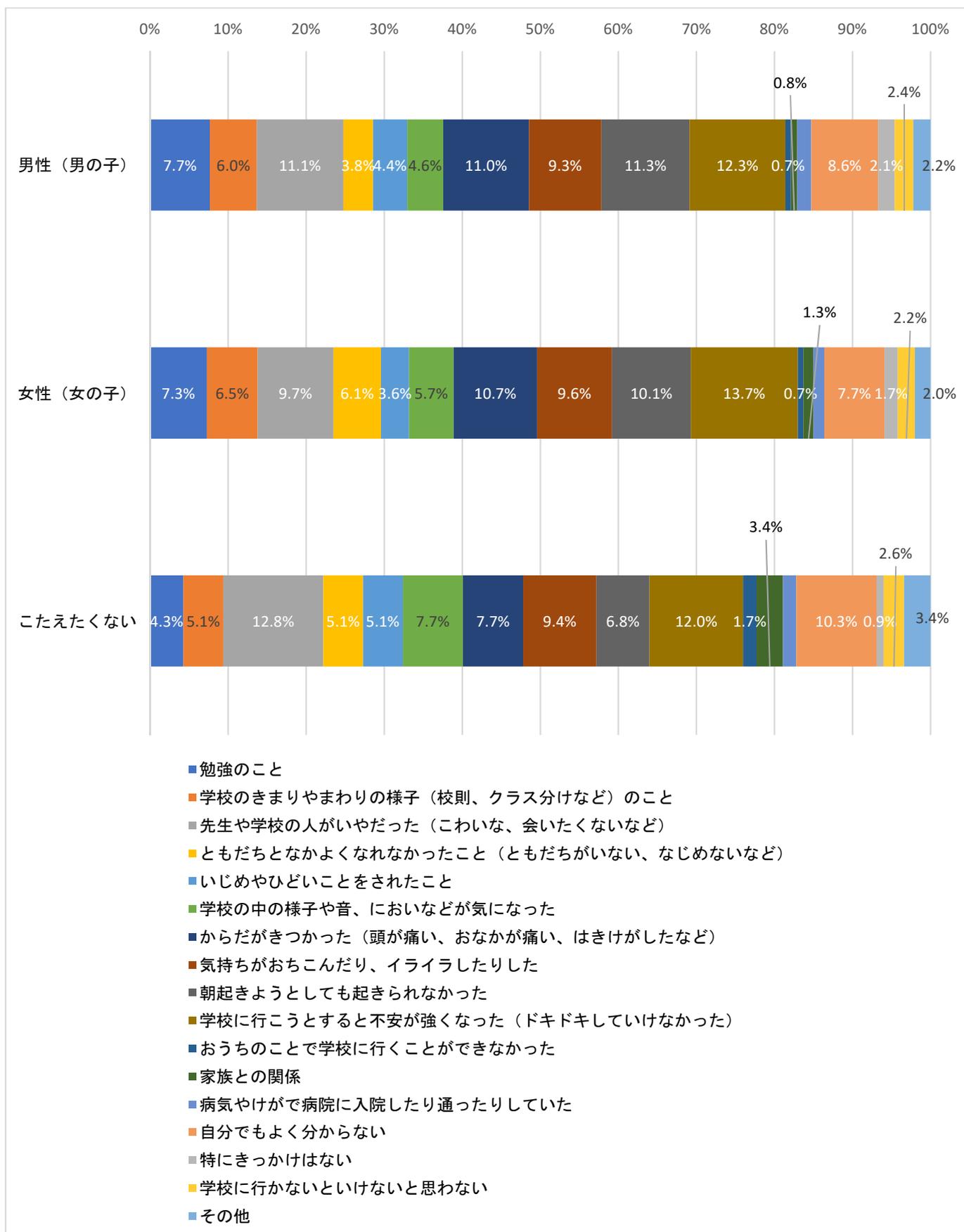


図 2-2-94 学校へ行けなくなったきっかけと性別との関係

問 4-2 「あなたが学校に行けなくなった(行かなくなった)きっかけがあったとき、まわりからどんなお手伝いがあったらよかったと思いますか」について

ここでは、問 4-2 多重回答設問である「あなたが学校に行けなくなった(行かなくなった)きっかけがあったとき、まわりからどんなお手伝いがあったらよかったと思いますか」の回答と基本属性ごとにクロス集計を行った。基本属性については、児童生徒の心情を問う質問項目であったことから、主として校種、学年、性別の属性を活用した。

結果として、上記の問 4-2 の傾向と大きな変化は見られず、「特に思いつかない」、「学校以外の居場所」、「家族への相談」などが求められる傾向がみられた。ただし、小学校低学年時は比較的家族への相談が求められている一方、小学校 4 年生以降は、「特に思いつかない」という回答が多くみられている。

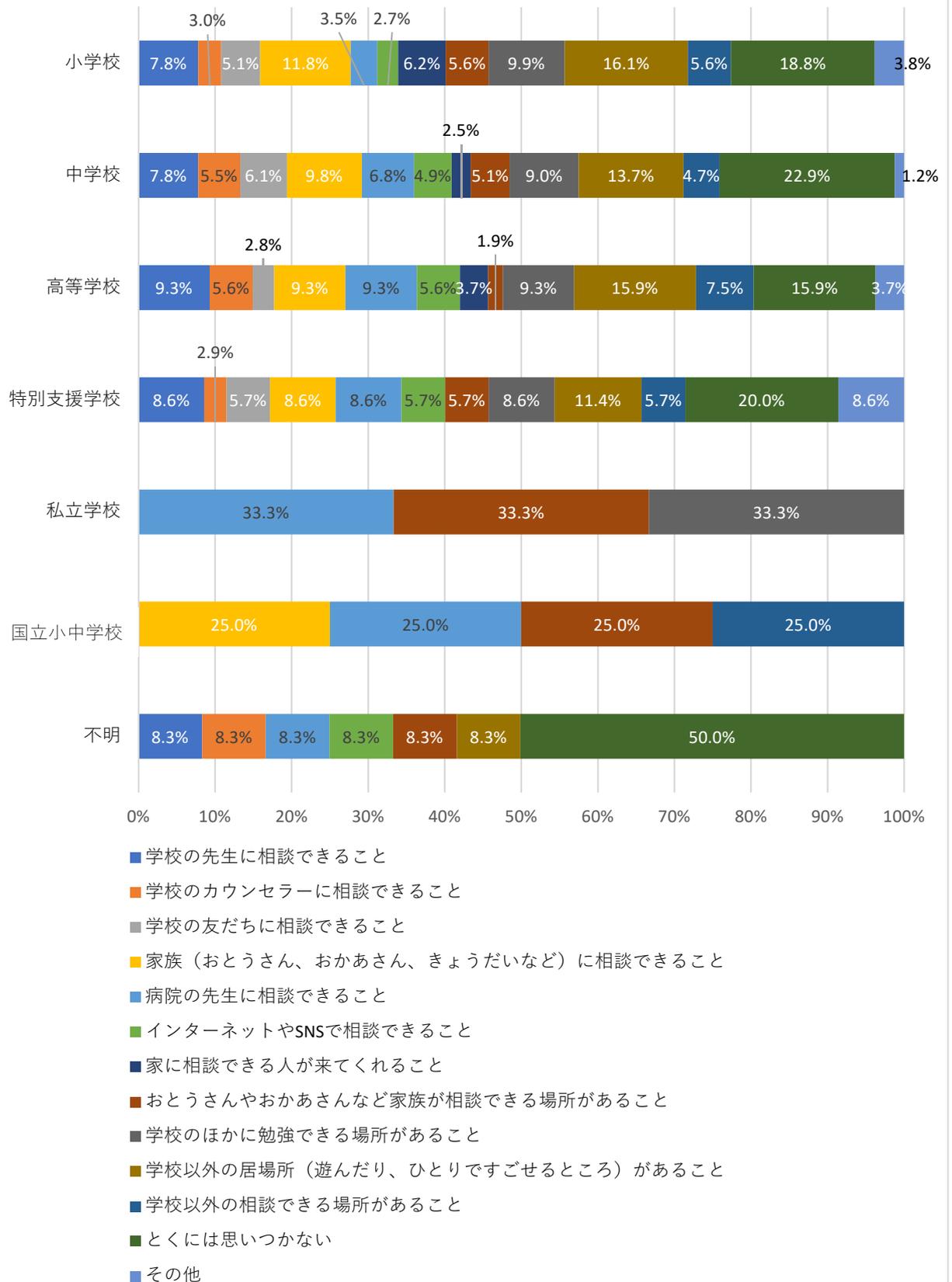


図 2-2-95 周囲からどんな支援があったらよかったかと校種との関係

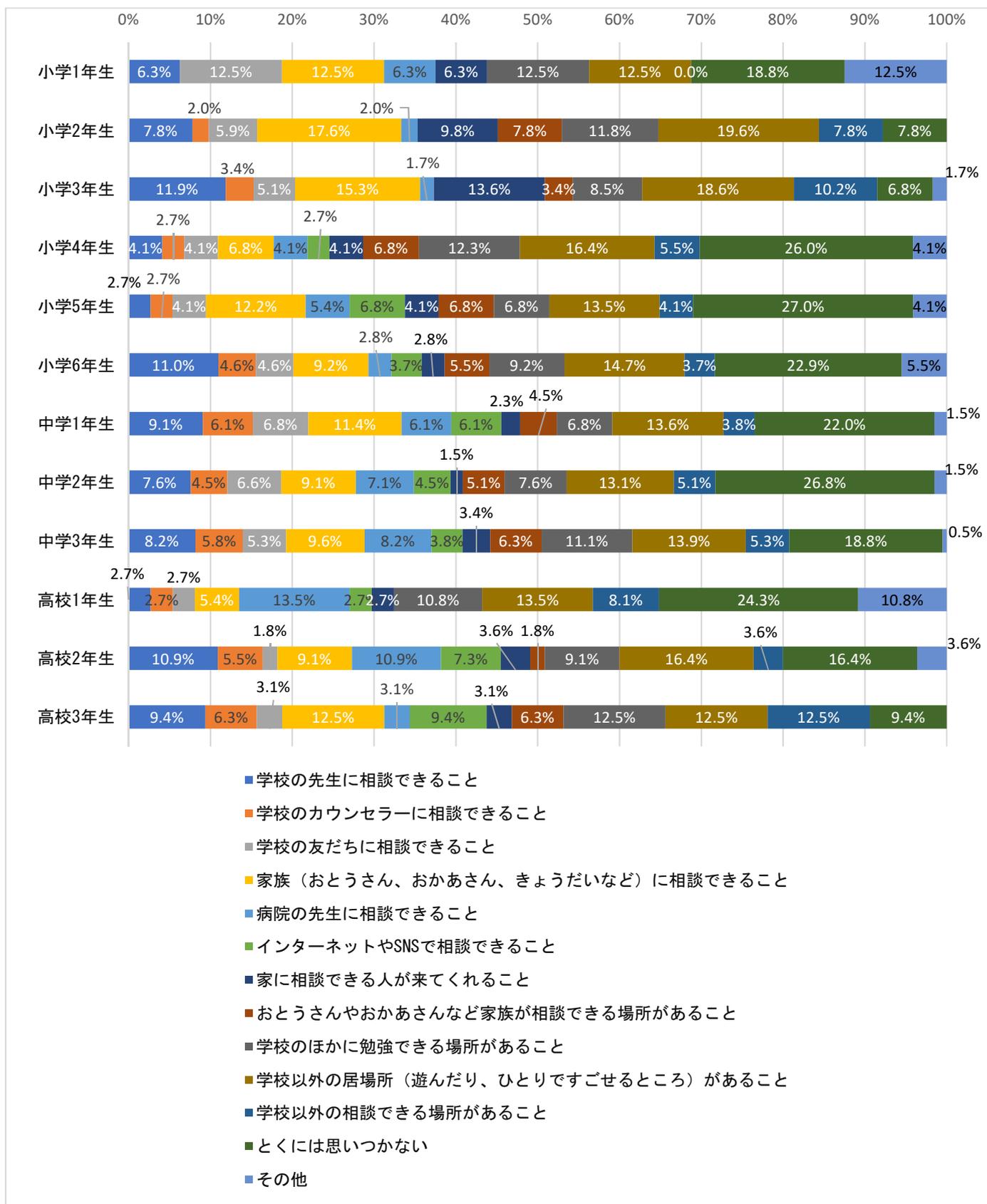


図 2-2-96 周囲からどんな支援があったらよかったかと学年との関係

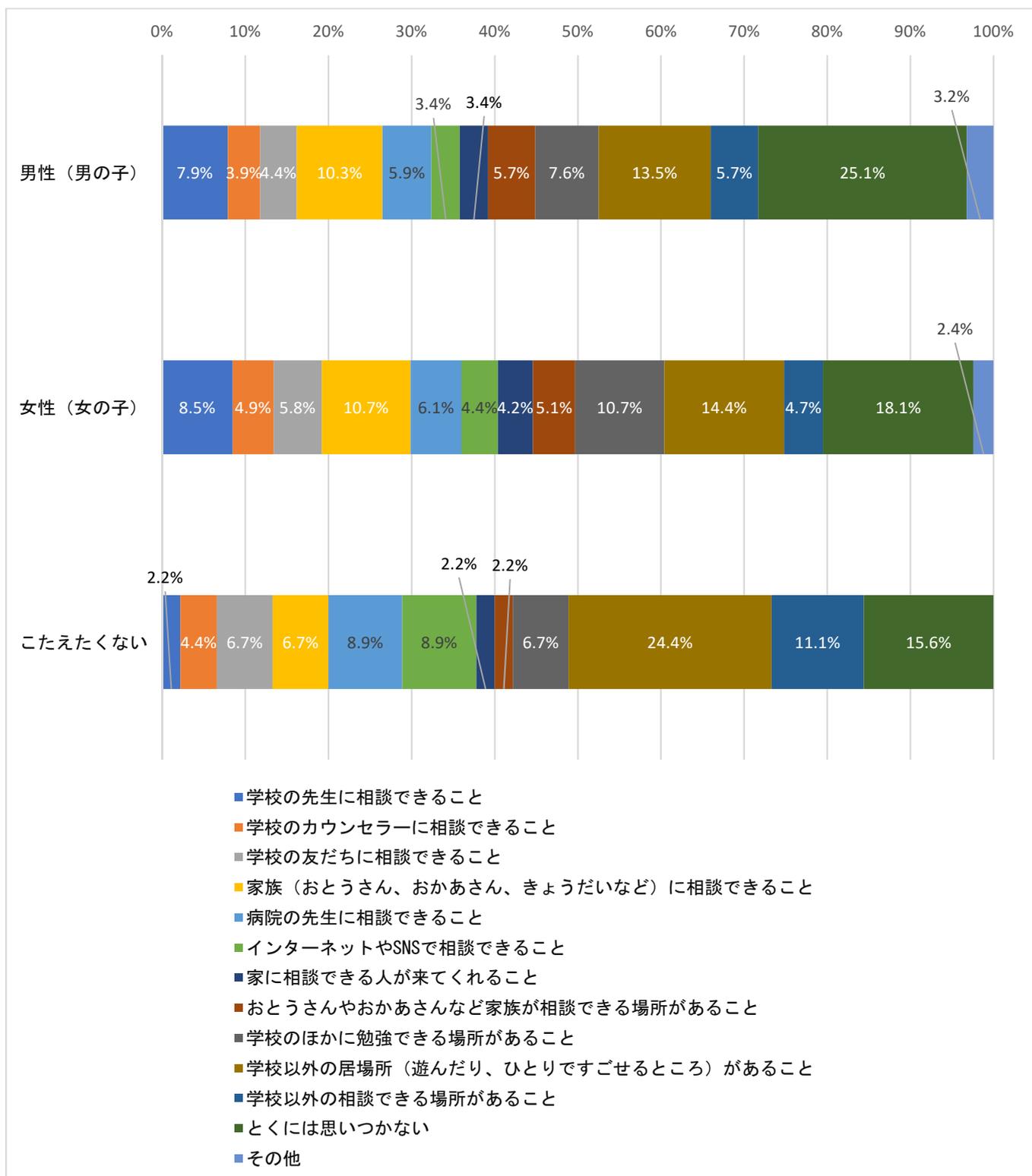


図 2-2-97 周囲からどんな支援があったらよかったかと性別との関係